

平成24年度

年 報



平成25年8月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	・ ・ ・ ・ ・	2
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	7
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	1 2
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	1 6
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	1 9
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	7 5
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	1 0 5
4. 教員組織および委員会一覧	・ ・ ・ ・ ・	1 2 1

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月11日	学位プログラム（学部）の「教育目標」および「到達目標」の作成	学部の学位プログラムの「教育目標」および「到達目標」を作成した。	保健学部門会議資料
平成24年4月11日	早期退職制度の導入	早期退職制度が導入されることになった。	保健学部門会議資料
平成24年7月4日	教員再任審査	平成25年3月31日で任期満了となる教員7名から再任申請があり、7名全員の再任が認められた。	保健学部門会議資料
平成24年7月4日	中期目標・中期計画の実施状況	「中期目標・中期計画」の平成23年度実施状況を作成した。	保健学部門会議資料
平成24年11月07日	保健学専攻博士後期課程における国際コース設置申請	保健学専攻博士後期課程において国際コースを平成25年10月開講を目指して設置申請を行うことを決定した。	保健学部門会議資料 大学院委員会議事録
平成24年11月12日	医学研究院長候補者の選出	次期医学研究院長候補者として片野光男教授（現研究院長）が選出された。	保健学部門会議資料
平成25年2月6日	学位プログラム（大学院）の「教育目標」および「到達目標」の作成	大学院の学位プログラムの「教育目標」および「到達目標」を作成した。	保健学部門会議資料 大学院委員会議事録
平成25年3月5日	看護学分野の講座再編成	看護学分野の講座について、従来の4講座から2講座に再編成することが認められた。	保健学部門会議資料
平成25年3月5日	保健学科本館の仮改修について	保健学部門の施設の集約化、講義室稼働率の向上のために、総合研究棟2階を退去し、本館および基礎研究棟B棟へ移転することが認められた。	保健学部門会議資料
平成25年3月5日	労働契約法の改正にかかわる対応	非常勤職員の保護を目的とした労働契約法の改正にかかわる九州大学の対応が決定した。	保健学部門会議資料

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月	新カリキュラムの実施	今年度（平成24年度）から学部教育カリキュラムが変更となった。	教務委員会 議事録
平成24年4月4日	学部入学式	新入生139名（看護:71、放射:33、検査:35）が入学した。	保健学科 学年暦
平成24年4月6日	大学院入学式	修士29名（看護:7、医用量子:11、検査技術:11）、博士12名（看護:5、医療技術:7）が入学した。	保健学専攻 学年暦
平成24年4月	研究生の受け入れ	Mazen Soufi（シリア）を研究生として受け入れた（医用量子線科学領域、指導教員：有村准教授）。10月にG30アジア保健学コースに入学予定。	保健学部門会議資料
平成24年4月28日、29日	新入生合宿研修	新入生、2年生のリーダーと教員が1泊2日の合宿研修を福岡県立社会教育総合研修センター（糟屋郡篠栗町）にて行った。	学生委員会 議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年6月4日	学生の飲酒運転に係る医学研究院長の訓示	学生の飲酒運転に係る医学研究院長の訓示を行った。 参加者：学部生323名（除1年生），大学院生36名	学生委員会 議事録
平成24年6月8日	就職セミナー	参加：3年生123名 会場：コラボステーションⅠ 福岡県若者しごとサポートセンターから講師を招き、三専攻合同での研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成24年8月24日	修士課程入学試験（春）		保健学専攻 学年暦
平成24年9月7日	博士課程入学試験（春）		保健学専攻 学年暦
平成24年9月26日	保健学部門FD	会場：総合研究棟室102室 「大学病院との連携」 各分野の大学病院との連携について、分野の状況および受け入れ側の状況などについて意見交換を行った。	FD委員会議事録
平成24年10月	修士課程国際コースG30学生の受け入れ	Mazen Soufi(シリア)が入学した（医用量子線科学領域、指導教員：有村准教授）。	大学院委員会 議事録
平成25年1月19日、20日	大学入試センター試験		保健学科 学年暦
平成25年2月2日	入学者選抜個別学力検査（AOⅡ）		保健学科 学年暦
平成25年2月19日	就職セミナー	参加：3年生77名（放射39名、検査38名） 会場：5番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成25年2月20日	保健学部門FD	会場：総合研究棟室102室 「保健学科における基礎教育について～基幹教育、他学部・他学科・他専攻教育など～」 全学教育、専門基礎教育、専門専攻教育、他学部、他学科に関する貢献について意見交換を行った。	FD委員会議事録
平成25年2月25日、26日	入学者選抜個別学力検査（前期）		保健学科 学年暦
平成25年2月25日、26日、27日	入学者選抜個別学力検査（帰国子女・私費外国人）		保健学科 学年暦
平成25年3月26日	卒業式・学位記授与式	学士141名（看護：71、放射：38、検査：32） 修士 27名（看護：9、量子：12、検査：6） 博士 7名（看護：4、技術：3）	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年8月27日	教育の質向上支援プログラム(EEP)セミナー	”Teaching Medical Imaging in English” Robert M Nishikawa, Ph.D. (シカゴ大学 放射線科 カール・バイボーニー 乳腺画像研究所 所長)	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書
平成24年11月7日	高雄医学大学看護学部（台湾）との学術交流協定の締結	高雄医学大学看護学部（台湾）と九州大学大学院医学研究院（担当：保健学部門看護学分野、川本利恵子教授）が部局間の学術交流協定を締結した。	保健学部門会議資料

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年11月26日	保健学国際フォーラム	会場：ナースプラザ福岡 合同講演会「保健学における教育と研究」Prof Chich-Hsiu Hung (Kaohsiung Medical Univ), Prof Seung Jae Huh (Samsung Medical Center), Angela Koh (Khoo Teck Puat Hosp) 分野別企画：学生セッション	保健学国際フォーラム プログラム
	教育の質向上支援プログラム(EEP H23-24)による教員の海外派遣	12名の教員を、台湾・米国に派遣した。 米国：井形幸代助教(10月13日-24日)、杜下淳次教授(11月24日-11月30日)、宮園真美講師・木下由美子助教(2月4日-15日) 台湾：平田 秀紀教授、佐々木雅之教授、熊澤誠志講師、杉島節夫教授、勝田仁講師、外園栄作講師、川本利恵子教授、鳩野 洋子教授(10月15日-16日)	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書
平成25年1月29日	台中大学の訪問団が来学した。	台湾の中国医薬大学より、李信達(Lee, Shin-Da)教授をはじめとする教職員5名、学部1年生11名が表敬訪問。	来訪者名簿

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年5月19日	大学院説明会	大学院受験希望者を対象に、大学院の概要についての説明会を開催した。 参加者：修士課程希望者28名、博士後期課程希望者6名。 会場：総合研究棟1階105およびサイエンスカフェ	保健学部門会議 議事録 入試実施委員会 議事録
平成24年8月6日	オープンキャンパス	将来に受験を考えている高校生を対象にオープンキャンパスを開催した。参加者1,054名。 全体説明会：百年講堂 専攻別企画：保健学科本館にて、専攻ごとに展示・体験コーナー・相談窓口などを企画した。	学生委員会 議事録
平成24年9月8日	保健学公開講座 第10回	会場：コラボステーション I テーマ：セーフティライフ 「災害は自助・共助の精神で」原田博子准教授、「『放射線』を考えるヒント」納富昭弘准教授、「糖尿病にならないために、上手につき合っていくために」勝田仁講師 受講者：49名	保健学公開講座 プログラム
平成25年3月6日	がんプロシンポジウム	各大学における医学物理士について～その役割と展望～ 「東京大学における医学物理士」芳賀昭弘先生(東京大学)、「広島大学における医学物理士養成～県との共同プロジェクト～」小澤修一先生(広島大学)、「放射線治療品質管理を主体とした当院の医学物理士の活動」川田秀道先生(久留米大学)	
	高校への出前講義を実施した。	8月2日：八女高校(熊澤誠志講師) 10月10日：佐世保北高校(加来恒壽教授) 10月19日：東筑高校(川本利恵子教授) 11月12日：春日高校(樗木晶子教授、宮園真美講師) 12月4日：明善高校(杉島節夫教授)	学生係 記録

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年～24年	教育の質向上支援プログラム(EEP) 「国際化と学際化に対応する教育・教材の開発」	今年度が2年目で最終年度である。経費400万円/2年(うち部局負担130万円)	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書
平成21年～25年	文部科学省大学改革推進事業「看護師の人材養成システムの確立」 「看護実践力プロッサム開花プロジェクト」	九州大学病院看護部との共同で、平成21年から5年間の予定で採択された。今年度が4年目。	保健学部門会議資料 「看護実践力プロッサム開花プロジェクト」報告書
平成24年～28年	九州がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(大学改革推進等補助金)	文部科学省の「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」で選定され、九州におけるがん医療に関する指導者リーダーを養成し、がん医療の均てん化を図る取組。がん専門看護師、医学物理士、細胞検査士の育成を行うとともに、シンポジウム開催等を行う。平成24年度は各コースで計16名(0名、12名、4名)を受入れ、計16名(0名、14名、2名)が修了、計5名(1名、4名、0名)が合格した。 H25がんプロ博士課程コース開設を決定した。	保健学部門会議資料 http://www.k-ganpro.com/index.html

6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年3月31日	藤野成美(看護・講師)	退職(佐賀大学・教授へ)	
平成25年3月31日	長家智子(看護・准教授)	退職(佐賀大学・教授へ)	
平成25年3月31日	小坂克子(医用量子線・教授)	退職(国際医療福祉大学・教授へ)	

2. 各分野の活動

◇ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月16日 平成24年5月16日 平成24年6月28日 平成24年8月1日 平成24年9月25日 平成24年10月23日 平成24年11月20日 平成24年12月18日 平成25年1月24日 平成25年2月27日 平成25年3月25日	看護学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月	学部生（第10期）の入学	担任：小野ミツ教授、長家智子准教授、前野有佳里講師、藤田紋佳助教	分野会議議事録
平成25年2月7日	看護学分野FD	新たな学士課程教育の在り方について理解を深めるために「今後の教育の在り方について～基幹教育院の構想と保健学・看護教育について～」をテーマに、基幹教育院長代理の若山正人先生を招いて講演を開催した。（参加者33名）	平成24年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月5日 平成24年5月14日 平成24年6月16日 平成24年7月25日 平成24年9月15日 平成24年10月17日 平成24年11月22日 平成24年12月19日 平成25年1月17日 平成25年2月20日 平成25年3月21日	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する検討会を開催した。	実習委員会議事録
平成24年 通年	臨地実習に関する説明会（九大病院以外）	老年、精神、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
平成24年5月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
平成24年6月11日	実習連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の臨地実習に関して、分野教員、看護部、看護師長、指導者との会議を行った。	実習連絡会議議事録
平成24年6月20日 平成24年9月3日 平成25年1月10日	福岡県地域看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、地域看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に出席した。	分野会議議事録
平成25年1月10日	福岡県地域看護平成27年度実習に向けてのワーキング	平成27年度の福岡県における公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、県内大学で構成しているワーキングに出席した。	分野会議議事録

2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年8月17日	助産師課程選抜試験	看護学専攻3年生の助産師課程志願者について、論文試験と面接を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年10-11月	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
平成24年12月10日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
平成24年2月2日	第3回福岡県助産師教育連絡会議	福岡県下の助産師教育担当者および行政助産師、看護協会助産師職能委員との交流会議	福岡県助産師教育連絡会議議事録
平成24年9月27日	修士課程 看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成25年2月14日	博士後期課程特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年 4回/年	国家試験学内模擬試験（看護師、保健師）	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	看護分野会議議事録
平成25年1月9日	助産師国家試験学内模擬試験	医学部保健学科看護学専攻4年生助産師教育課程選択学生を対象に助産師国家試験の学内模擬試験を行った。	模擬試験資料
平成25年2月	第102回看護師国家試験、第99回保健師国家試験、第96回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験100%、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率だった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月25日-28日	インドネシア大学訪問	インドネシア大学を訪問し、小児医療に関する講演を行い、医療技術提供など含めて交流を行った。	出張報告書
平成24年6月3日-4日	中国 台湾・高雄市高雄医学大学（余幸司（Dr. Hsin-Su Yu）学長）来学	大学間連携協定の打ち合わせ、大学施設見学、視察・交流のために台湾高雄医科大学から、余幸司（Dr. Hsin-Su Yu）学長を招聘した。	地域国際連携推進委員会資料
平成24年6月13日-15日	中国 台湾・高雄市高雄医学大学（Dr. Wang他2名）来学	大学間連携協定の打ち合わせ、大学施設見学、交流のために台湾高雄医科大学からDr. Hsiu-Hung Wang, Dr. Ruey-Hsia Wang, Dr. Mei-Shang Yang を招聘した。	地域国際連携推進委員会資料
平成24年9月30日-10月6日	台湾高雄医学大学訪問	・部局間学術協定・学生交流締結 ・講義の実施 ・大学施設、病院見学	分野会議議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年10月14日-17日	中国 台湾・高雄市 高雄医学大学訪問	E E P 派遣 ・学長との面会、情報交換 ・保健学教育について意見交換 川本教授、大池教授、木下准教授が、交流のために台湾高雄医科大学を訪問し、講義を行った。	E E P 報告書
平成24年11月26日	第7回九州大学保健学国際フォーラム	・国際フォーラム演者Dr. Chich-Hsiu Hungの招待と意見交換 ・Student Meetingによる高雄医学大学看護学生と本学部看護学生との交流 台湾高雄医科大学から教員1名、学生1名を招聘し、講演、交流を行った。(Prof. Chich Hsiu Hung) 看護学専攻学生2年生が student meeting で国際交流に関するプレゼンを行った。	国際フォーラム資料
平成24年1月4日-13日	Dr. Kathleen Nokes, Dorothy Hickey (ニューヨーク市立大学教授) 来学	「九州がんプロフェッショナル養成プラン」の一環で、米国看護教育及び研究の第1人者であるDr. NokesとDorothy Hickey氏を招聘し、特別講演及び研究指導、視察等を行った。	「九州がんプロフェッショナル養成プラン」報告書
平成25年1月29日	台中大学の訪問団が来学	看護学実習室などの見学と対応を行った。	分野会議議事録
平成25年2月4日-17日	E E P 研修 (ニューヨーク市立Hunter Bellevue School of Nursing)	大学院教育の実践及び研究活動の体験、教授法、研究指導法を学ぶことを目的に研修を行った。 (宮園真美講師、木下由美子助教)	出張報告書、E E P 報告書
平成25年3月19日-21日	中国 台湾・高雄市 高雄医学大学	部局間協定を結んだ高雄医科大学看護学分野と Student Meeting Exchange programによる交流として木下義晶准教授、藤田紋香助教、看護学専攻2年生4名が交流のために台湾高雄医科大学を訪問した。	分野会議議事録
平成25年3月27日-30日	University of Indonesia faculty of Nursing 訪問	看護学部を訪問し、九州大学のG30プログラムについて紹介し、交流をはかった。	東アジア環境研究会、特別講演会「東アジア環境学」の構築に向けて、討論会九州大学が取り組む「東アジア環境学」報告書

4. 社会連携 1) 人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年 新人看護師育成プログラム (毎月) 実習指導要項開発プログラム (毎月) 人事交流 通年	看護実践力プロッサム開花プロジェクト	文部科学省大学改革推進事業「看護職キャリアシステム構築プラン、看護実践力プロッサム開花プロジェクト」への情報提供、指導、助言を実施した。(川本利恵子教授、大池美也子教授、宮園真美講師、末次美子助教、金岡麻希助教)。病院からの人事交流者：松本由香氏。	看護実践力プロッサム開花プロジェクト報告書
平成24年-25年	九州大学病院の看護研究コース指導	看護教員が大学病院看護職員の研究指導を実施し、学会発表を目指し活動をしている。	看護研究コース資料
平成24年8月17日-9月28日	九州大学病院プロッサム人事交流	フットケア外来における患者教育に関する研修を行った。	看護実践力プロッサム開花プロジェクト報告書
平成24年 通年	福岡県専任教員養成講習会	専任教員養成課程の講義・演習を行った。	福岡県専任教員養成講習会資料

4. 社会連携 2)看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年6月4日	国立大学保健医療学系代表者協議会	名古屋で開催された国立大学保健医療学系代表者協議会に出席して、臨床と大学教育の連携等について協議を行った。	国立大学保健医療学系代表者協議会報告書
平成24年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：看護基礎教育検討委員会	看護基礎教育検討委員会委員として、基礎教育の課題と取組みに関してをメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成24年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：大学院教育検討委員会	大学院教育検討委員会委員として、大学院教育の充実に関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成24年 通年	医療系代表者協議会組織検討委員会	医療系代表者協議会組織検討委員会委員としてメール会議などに参加し意見交換を行った。	平成24年度組織検討委員会活動報告
平成24年6月2日	全国保健師教育機関協議会定時社員総会	東京で開催された協議会の総会に出席し、会運営のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成24年6月18日	平成24年度 日本看護系大学協議会定時社員総会	東京で開催された総会に出席し、協議会の活動方針や、各委員会の活動計画について検討を行った。	分野会議議事録
平成24年6月22日	平成24年度国立大学助産師教育専任教員会議（佐賀）	助産師教育の各大学から提示された、①臨床教授の助産師教育へにかかわり②教育の多様化における各大学の取り組みの現状と今後の課題について協議した。	分野会議議事録
平成24年6月29日-30日	通算48回全国助産師教育協議会	神戸市で開催された。23年度活動報告、24年度事業計画の協議、助産師国家試験公開問題の作成、医療者教育専門家の役割と能力についての講演後、検討会を行った。	分野会議議事録
平成24年8月11日	九州・沖縄地区助産師教育協議会	九州、沖縄地区の加盟校により全国助産師教育の検討課題および教育、実習の情報交換と教育講演に出席した。	分野会議議事録
平成24年8月23日、24日	第25回全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会	福岡市にて開催された協議会に出席し、保健師教育のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成24年10月24日-26日	平成24年度看護学教育ワークショップ	千葉大学において開催された。「看護学教育における臨床と大学の連携について」の講演の後、臨地実習や継続教育に関するGWを行った。	分野会議議事録
平成24年10月23日	全国保健師教育機関協議会秋季研修会	山口市で開催された秋季研修会に参加し、保健師教育の方法論についての検討を行った。	分野会議議事録
平成24年12月26日	全国保健師教育機関協議会実行委員会	次年度の全国の研修会担当が九州ブロックであるため、研修会のテーマ・運営に関しての話合いを行った。	分野会議議事録
平成25年1月10日	福岡県地域看護リーダー研修会	H27年度からの県内の公衆衛生看護学実習に向け、県内保健師と大学教員との研修会に参加した。	分野会議議事録

4. 社会連携 3)公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年9月8日	九州大学医学部保健学科公開講座「セーフティライフ」講演	地域住民の方を対象にテーマ「災害は自助・共助の精神で」の講演を実施した。 講師：原田准教授	公開講座資料

4. 社会連携 4)がんプロフェッショナル養成プラン

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年1月4日-13日	Dr. Kathleen Nokes, Dorothy Hickey (ニューヨーク市立大学教授)来学	「九州がんプロフェッショナル養成プラン」の一環で、米国看護教育及び研究の第一人者であるDr. NokesとDorothy Hickey氏を招聘し、特別講演及び研究指導、視察等を行った。	「九州がんプロフェッショナル養成プラン」報告書
平成24年5月24日 平成24年7月26日 平成24年10月18日 平成25年2月21日	子どもホスピスネットワークミーティング	開催を主催した(多施設、多職種間で福岡における子どもホスピスの設立に向けての検討および病気を抱える子どもの事例検討を行なっている)。	保健学部門会議資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年5月14日	「eラーニングを導入した看護師等養成所の専任教員養成講習会の実施方法に関する検討会」(厚生労働省)	「eラーニングを導入した看護師等養成所の専任教員養成講習会の実施方法に関する検討会」に構成員として出席し意見交換を行った。	「eラーニングを導入した看護師等養成所の専任教員養成講習会の実施方法に関する検討会」議事録・報告書
平成24年8月17日	第13回九州・沖縄小児看護教育研究会	九州・沖縄小児看護教育研究会を主催した。(大会長：濱田裕子)	九州・沖縄小児看護教育研究会資料

◇ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月11日 平成24年5月14日 平成24年6月7日 平成24年7月5日 平成24年7月11日 平成24年8月9日 平成24年9月11日 平成24年10月9日 平成24年11月12日 平成24年12月12日 平成25年1月16日 平成25年2月14日 平成25年3月5日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成25年 1月28日	小段謙一助教の最終 講義	小段謙一助教の最終講義をおこなった。	分野会議議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月4日	学部生（第11期）の 入学	主担任：納富昭弘、副担任：佐々木雅之	分野会議議事録 学生便覧
平成24年4月20日 平成24年11月21日	臨地実習に関する検 討会。	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、実習施設3か所の指導者による検討会を行った。	臨地実習打合せ会議 議事録
平成24年4月	国家試験出題基準の 変更	今年度から新しい国家試験出題基準が適応されることとなった。	分野会議議事録
平成24年5月2日 平成24年7月30日 平成24年11月7日 平成25年1月8日 平成25年1月30日	国家試験学内模擬試 験	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	分野会議議事録
平成24年5月11日	修士課程 中間発表 会	修士課程大学院生13名の研究の進捗状況について発表会を行った。	分野会議議事録
平成24年6月	eLearningによる国 家試験過去問題ト レーニングシステム の利用開始	熊本大学が作成したシステムを国立大学診療放射線技師教育施設協議会が利用できるようになり、供用が開始された。使用料3万円/校。	分野会議議事録
平成24年8月27日	学生懇親ソフトボ ール大会	学部1～4年生、大学院生の合計50名が参加し、病院地区グラウンドにおいてソフトボールを通じて懇親を深めた。	分野会議議事録
平成24年9月18日 ～19日	九重合宿研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と教員がともに1泊2日の研修を行った。	分野会議議事録
平成24年12月6日 ～7日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録
平成25年1月21日 ～25日	Dr. Denis Remedios (Northwick Park Hospital, London) による大学院講義	医療放射線防護を専門とする先生をG30の国際コースにおける非常勤教員として招聘し、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に最近の医療放射線防護の国際的な状況について英語による講義をして頂いた。	分野会議議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年2月20日 ～21日	先端技術セミナー	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った（7社）。	分野会議議事録
平成25年3月31日	第65回診療放射線技師国家試験	新卒者37名中34名、既卒者2名中2名が合格した。	官報

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月18日	Dr. Maryellen L Giger（シカゴ大学教授）来学	米国の前医学物理学会会長であるシカゴ大学のGiger教授を招聘し、医用量子線セミナーを開催するとともに、大学院生の研究指導を行っていただいた。	分野会議議事録
平成25年3月22日	延世大学訪問	G30の打ち合わせのために、杜下淳次教授、豊福不可依教授が延世大学（韓国）を訪問した。	分野会議議事録
	教育の質向上支援プログラム（EEP H23-24）による教員の海外派遣	米国：杜下淳次教授（11月24日-11月30日） 台湾：平田 秀紀教授、佐々木雅之教授、熊澤誠志講師（10月15日-16日）	教育の質向上支援プログラム（EEP） 成果報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年	診断領域標準センターの業務引き受け	九大病院が請け負っていた診断領域標準センターの業務を引き継ぐことになった。	分野会議議事録
平成24年6月21日	第13回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	広島市にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。 参加：佐々木教授、高橋准教授	分野会議議事録
平成24年6月22日	第57回全国診療放射線技師教育施設協議会	広島市にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。 参加：佐々木教授、高橋准教授	分野会議議事録
平成24年8月11日	日本放射線治療専門放射線技師認定機構統一講習会	開催を後援した。 会場：基礎研究棟B棟大講義室	分野会議議事録
平成24年8月18日	日本放射線技術学会セミナー	開催を後援した。 会場：基礎研究棟B棟411	分野会議議事録
平成24年11月10日	第52回 日本放射線治療研究会	開催を後援した。 会場：基礎研究棟B棟大講義室	分野会議議事録
平成25年1月	学会雑誌における大学院研究室紹介	バーチャルインタビュー大学院・研究室紹介第8回九州大学 VOL68. NO. 1, 日本放射線技術学会（JSRT）誌 2013;68(1):p. 139	日本放射線技術学会誌

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月18日	医用量子線セミナー第6回	「Medical Physicists in U.S.A.」 Dr. Maryellen L Giger（シカゴ大学教授、前医学物理学会会長）	分野会議議事録 医用量子線セミナープログラム

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月18日	医用量子線セミナー 第7回	「Computerized Analysis of Multimodality Breast Images for Diagnosis, Risk Assessment, Prognosis, and Response to Therapy」 Dr. Maryellen L Giger (シカゴ大学教授、医学物理学会会長)	分野会議議事録 医用量子線セミナー プログラム
平成24年6月	教育用CT購入計画	毎年度支給予定の設備費500万円を3回分を前倒し利用してCT購入を希望することとした。設備費は6-9年間は利用できないこととなる。	分野会議議事録 部門会議議事録
平成24年6月14日	医用量子線セミナー 第8回	「研究って何？+留学のすすめ2」 鈴木賢治先生 (シカゴ大学)	分野会議議事録 医用量子線セミナー プログラム
平成24年11月	放射線取扱主任者試験 第一種国家試験	合格者 3年生：10名 4年生：12名 卒業生：4名	官報
平成24年11月24日 25日	第8回九州放射線医療技術学術大会における学生の発表	会場：長崎大学医学部 学部生：22名 院生：2名	学会抄録集
平成24年11月	医学物理士試験	4名が合格した。	分野会議議事録 http://www.k-ganpro.com/index.html
平成25年1月24日	医用量子線セミナー 第9回	「Making the best use of clinical radiology services」 Dr. Denis Remedios (Northwick Park Hospital, London)	分野会議議事録 医用量子線セミナー プログラム
平成24年度	学生筆頭論文数	原著論文：10編 (英文10編) 国際会議報告：17編 (英文9編) *卒業生は在籍時の研究内容についての論文に限る。	

6. 特筆すべき実績、受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年4月	第68回 日本放射線技術学会 総会学術大会	金賞 (三輪建太)	学会抄録集
平成24年4月	第68回 日本放射線技術学会 総会学術大会	銅賞 (甲斐征八)	学会抄録集
平成24年4月	第68回 日本放射線技術学会 総会学術大会	優秀学生賞 (甲斐征八)	学会抄録集
平成24年4月	Radiological Physics and Technology	2011年度土井賞(核医学/MR/Informatics分野) (Magome T, Arimura H, et al.)	学会抄録集
平成24年4月	九州大学学生後援会	学術研究賞 (峠 理沙)	学会抄録集
平成24年6月	59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine	Travel Award (赤松剛)	学会抄録集

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年6月	59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine	Travel Award (三輪建太)	学会抄録集
平成24年6月	59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine	Technologist Oral Nuclear Oncology Presentation Award (赤松剛)	学会抄録集
平成24年6月	医用画像情報学会 (MII) 平成24年度年次 (第163回) 大会	平成23年度内田論文賞 (山下泰生, 有村秀孝他)	学会抄録集
平成24年9月	第40回 日本放射線技術学会 秋季学術大会	座長推薦優秀研究発表賞 (Risa Toge)	学会抄録集

◇ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年 4月4日 平成24年 5月9日 平成24年 6月6日 平成24年 7月4日 平成24年 9月5日 平成24年10月3日 平成24年11月7日 平成24年12月19日 平成25年 1月9日 平成25年 1月28日 平成25年 2月6日 平成25年 3月13日	検査技術科学分野分野会議	分野全員の参加による、分野の運営に関する検討会を開催した	各回議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年 5月 8日 ～9日 平成25年 2月29日	臨地実習に関する検討会。	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、九州大学病院検査部担当者と情報交換会を行った。	議事録
平成24年 9月15日 平成24年11月10日 平成24年12月1日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	国試模擬試験
平成24年 9月25日	博士課程および修士課程 中間発表会	修士課程大学院生6名および博士課程大学院生3名の研究進捗状況について発表会を行った。	研究発表会抄録集
平成24年11月12日 ～13日	研究室紹介	医学部保健学科検査技術科学専攻3年生を対象とした卒業研究に向けての各研究室の詳細について説明会を行った。	各研究室紹介スライド
平成24年12月25日	卒業研究 発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究発表会抄録集
平成24年12月14日	検査技術科学分野FD	基幹教育カリキュラムについて検討するFDを開催した。	
平成25年 2月12日	修士論文最終試験発表会	修士課程大学院生6名の修士論文について発表会を行った。	修士論文発表会抄録集

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 3月 6日 ～9日	国際化拠点整備事業（グローバル30）によるタイ王国からの留学生リクルート活動	国際化拠点整備事業（グローバル30）プログラムによる留学生をリクルートするため、マヒドン大学にて九州大学大学院医学系学府保健学専攻におけるグローバル30プログラムの紹介のためセミナーを開催した（梅村創、勝田仁）。また、日本学術振興会（JSPS）バンコク研究連絡センターを訪問し、グローバル30プログラムによる留学生に対する助成、マヒドン大学サラセミア研究センターおよび同熱帯医学部との今後の研究交流の推進について情報交換を行った。	報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年 9月14日	日本臨床検査教育協議会九州・沖縄ブロック会議	九州・沖縄ブロックに所属する大学・専門学校9校27名（本学分野教員13名含む）の教員が集い教育・実習についてお互いの情報交換を行った。	会議出席者名簿および会議録
平成24年7月1日 ～平成25年3月31日	(株式会社)堀場製作所との共同研究	アジア諸国における貧血診断ネットワーク構築を目指す研究(梅村 創 教授)	共同研究契約書
平成24年 9月26日	福岡臨床検査技師会一般検査部門勉強会	福岡市臨床検査技師会一般検査部門勉強会において小島 夫美子 講師が” 寄生虫卵の検出と鑑別” と題して講義および実習の講師を務めた。	開催案内状

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年10月5日	福山臨床検査センター学内説明会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生ならびに大学院生を対象とした就職説明会を開催した。	開催案内通知

6. 特筆すべき実績、受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《基礎看護》

教授	大池 美也子
准教授	長家 智子
准教授	原田 博子
准教授	橋口 暢子
講師	丸山 マサ美
助教	道面 千恵子
助教	中島 充代

1. 教育活動

1. 大学院講義

大池美也子	
コンサルテーション論(分担)	前期
がん看護特論(分担)	前期
看護学研究方法論Ⅱ(分担)	前期
看護教育論(分担)	前期
看護教育方法開発学Ⅰ(分担)	前期
長家智子	
看護教育論(分担)	前期
保健・医療とIT	前期
看護教育方法開発学Ⅰ(分担)	前期
原田博子	
看護教育論(分担)	前期
看護組織マネジメント	後期
医療と生命倫理(分担)	後期
丸山マサ美	
医療と生命倫理(分担)	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

大池美也子	
保健学特別研究(分担)	通年
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
長家智子	
保健学特別研究(分担)	通年
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期

原田博子	
保健学特別研究(分担)	通年
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
橋口暢子	
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
中島 充代	
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
道面 千恵子	
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期

4. 大学院修士課程修了者

伊藤尚加	看護専門学校における看護教員の看護観に関する質的研究
村井孝子	認定看護管理者の資格を持つ看護部長のキャリア発達の構造

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

大池美也子	前期
看護理論(分担)	前期
看護学概論	後期
コミュニケーション論	後期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期
長家智子	
看護過程論	後期
看護教育・看護管理(分担)	後期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期
原田博子	
看護教育・看護管理(分担)	後期
看護過程論(分担)	後期
医療安全論	後期
看護理論(分担)	後期
チーム医療と災害看護	後期
看護過程論(分担)	後期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期

橋口暢子	
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
看護過程論(分担)	後期
卒業研究	後期
丸山マサ美	
共通コア 人間性	通年
道面千恵子	
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
看護過程論(分担)	後期
卒業研究	後期
中島光代	
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
医療安全論 (分担)	後期
チーム医療と災害看護 (分担)	後期
卒業研究	後期

7. 学部の実験・実習・演習

大池美也子	
生活援助技術 (分担)	前期
症状ケア技術 (分担)	後期
基礎看護学実習 I(分担)	前期
基礎看護学実習 II(分担)	後期
長家智子	
生活援助技術 (分担)	前期
症状ケア技術 (分担)	後期
基礎看護学実習 I(分担)	前期
基礎看護学実習 II(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
原田博子	
生活援助技術 (分担)	前期
症状ケア技術 (分担)	後期
基礎看護学実習 I(分担)	前期
基礎看護学実習 II(分担)	後期
医療安全論	後期
チーム医療と災害看護	後期
総合実習(分担)	前期
橋口暢子	
生活援助技術 (分担)	前期
症状ケア技術 (分担)	後期
基礎看護学実習 I(分担)	前期
基礎看護学実習 II(分担)	後期

総合実習(分担)	前期
道面千恵子	
生活援助技術 (分担)	前期
症状ケア技術 (分担)	後期
基礎看護学実習 I (分担)	前期
基礎看護学実習 II (分担)	後期
総合実習(分担)	前期
中島充代	
生活援助技術 (分担)	前期
症状ケア技術 (分担)	後期
精神看護学実習 (分担)	
基礎看護学実習 I (分担)	前期
基礎看護学実習 II (分担)	後期
医療安全論 (分担)	後期
チーム医療と災害看護 (分担)	後期
総合実習(分担)	前期

8. 卒業論文作成者

小川裕里絵	小川裕里絵「動機づけの視点に基づいた患者教育に関する文献検討」
中井杏	「てんかん成人患者の生活と医療に関する現状と課題」
江頭成美	効果的なプリセプターシップのためのプリセプター支援に関する文献検討
置鮎志津恵	看護師が終末期がん患者とその家族の緩和ケアを行う際に感じる戸惑いと その対応
立花由里恵	がん患者の治療選択の意思決定に関する看護師の関わりについて
大村由紀	ALS在宅療養者・介護者が介護負担軽減のため利用できる社会資源に関 する検討
村山由里子	救急看護で必要なケアとは-患者の心理変化に焦点をあてて-
網田優美	新人看護師の人間関係からおきる精神的ストレスの現状に関する文献研究
大西麻保	臨地実習における教員と臨地実習指導者の連携の現状と問題点に関する 文献研究
瀬井香奈恵	病院で行われている防災訓練の方法とその効果に関する文献検討
水迫祐人	夜勤・交代制勤務が看護職におよぼす影響とその対策について
中村淳美	病棟看護師による転倒予防対策の現状と課題
原希美加	足浴がもたらすリラクゼーション効果に関する研究
古藤紀慧	安定時慢性閉塞性肺疾患患者の病気の受け止めと対処
細井あずさ	行動変容ステージに着目した対象者の行動変容を促すための効果的なア プローチ
砂野紗希	看護師が患者に抱く否定的感情に関する文献検討
鳥飼加奈子	終末期がん患者の希望を支える看護に関する文献検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	患者教育におけるナラティブ・アプローチの構築	大池
2	看護学基礎教育における e-Learning 教材の開発	大池
3	患者教育における看護師の教育的かかわりモデルの開発と検証	大池
4	薬剤等の管理に関する教育プログラムの構築	原田
5	看護学基礎教育における教育教材開発に関する研究	長家
6	インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価	長家
7	看護過程と看護診断の教育に関する研究	長家
8	薬剤等の管理に関する教育プログラムの構築	原田
9	ICT 学習システムを用いた基礎看護技術教育の現状	原田
10	ワーク・ライフ・バランスに関する研究(タイムマネジメント)	原田
11	安全管理・災害管理に関する研究	原田
12	看護師の労働安全に関する研究	原田
13	基礎的看護ケア(身体の清潔の援助)が及ぼす生理・心理的影響に関する研究	橋口
14	療養環境における温熱的快適性に関する研究	橋口
15	高齢者や心疾患患者における体温調節反応および温冷覚閾値に関する研究	橋口
16	九州大学医学部における史料研究—新しい「医の倫理」教育方法論の構築—	丸山
17	患者への教育・指導に対する効果的な関わりについての研究	道面
18	慢性期疾患患者の療養生活への支援に関する研究	道面
19	ICT 学習システムを用いた基礎看護技術教育の現状	道面
21	サイコオンコロジーに関する研究	中島
22	がん患者の意思決定に関する研究	中島
23	統合失調症患者の心理教育に関する研究	中島

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

大池美也子

- 「基盤研究(A)」 「看護の教育的関わりモデル」を活用したアクション・リサーチとモデルによる介入効果, (連携).
- 「基盤研究(C)」 新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築, (分担).
- 「基盤研究(C)」インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価, (分担).

原田 博子

- 「基盤研究(C)」薬剤等の管理に関する研究, (代表).
- 「基盤研究(C)」インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価, (分担).

長家智子

- 「基盤研究(C)」インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価, (代表).
- 「基盤研究(C)」薬剤等の管理に関する研究, (分担) .

橋口暢子

- 「研究活動スタート支援」温熱環境変化に起因する健康リスク低減に向けた患者教育プログラムの開発, (代表) .

道面千恵子

- 「基盤研究(C)」薬剤等の管理に関する研究, (分担) .
- 「基盤研究(C)」インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価, (分担).

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ

長家智子 ・「研究寄付金」, 日総研出版.

5. その他の外部研究資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Mitsuyo Nakashima, Syoji Kuroki, Harumi Shinkoda, Yoshiko Suetsugu, Kazuo Shimada, Tsunehisa Kaku: Information-Seeking Experiences and Decision-making Roles of Japanese Women with Breast Cancer, *Fukuoka Acta Medica*, , 2012年06月.
- Hashiguchi N, Takeda A, Yasuyama Y, Suyama Chishaki A, Tochiara A, Effects of 6-hour exposure to low relative humidity and low air pressure on body fluid loss and blood viscosity, *Indoor Air*. 2013年3月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- 青木芳恵, Oike Miyako: The characteristics of Nurse's presence in Palliative care of Japan by the action research using study meetings , 17th international conference on cancer nursing, 2012年09月11日, Japan.
- Haraguchi M, Wakabayashi H, Hashiguchi N, Tochiara Y, Shirabe S, Tanaka M: Ergonomic study to evaluate efficacy of a new low-radiation cooking system in summer, *Healthy Buildings 2012 10th International Conference*. 2012年7月8-12日 Brisbane, Australia.
- Anita R, Sawatari H, Tsuchihashi-Makaya M, Ohtsuka Y, Miyazono M, Hashiguchi N, Sakurada H, Takemoto M, Nakai S, Mukai Y, Inoue S, Chishaki H, Suyama-Chishaki A : Gender Differences in Quality of Life and Psychological Responses among Implantable Cardioverter-Defibrillator Patients in Japanese Population. , *Quality of Care and Outcomes Research in Cardiovascular Disease and Stroke 2012 Scientific Sessions(QCOR2012)* , 2012年05月09日, United States of America.
- Chishaki H, Tanaka S, Sawatari H, Miyazono M, Hashiguchi N, Anita R, Inoue S, Takemoto M, Ide T, Sunagawa K, Chishaki A: Thermal Therapy: an old but new tool as alternative medicine for patients with heart failure, *11th Mongolian-Japanese Joint Symposium-2012* , 2012年06月05日, Mongolia.

- Rahmawati A, Suyama-Chishaki A, Sawatari H, Hashiguchi N, Miyazono M, Ono J, Kuroda H, Nishizaka M, Ando S: Peculiar sleep position in Down Syndrome patients as a protective mechanism against nocturnal oxygen desaturation, Xth World Congress on Sleep Apnea-WCSA-, 2012年08月29日, Italy.
- Sawatari H, Suyama-Chishaki A, Rahmawati A, Hashiguchi N, Miyazono M, Ono J, Kuroda H, Nishizaka M, Ando S: Nation-wide surveillance about the relationship between sleeping posture and symptoms of SDB among the patients with Down Syndrome, Xth World Congress on Sleep Apnea-WCSA-, 2012年08月29日, Italy.
- Sawatari H, Chishaki A, Kuroda H, Matsuoka F, Anita Rahmawati, Ono J, Hashiguchi N, Miyazono M, Nishizaka M, Ando S: Japan nation-wide survey on sleep disordered breathing and congenital heart diseases in Down's syndrome patients, The 7th Asian Sleep Research Society Congress, 2012年12月01日, Taiwan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演、発表

- 蔵田康子, 大池 美也子, 原田 博子, 長家 智子: インフォームドコンセントに関わる看護師のための教育プログラムの開発, 日本がん看護学会, 2013年02月16日, 金沢.
- 吉川千鶴子, 大池 美也子: チーム医療を目指す医療人育成プログラムの評価, 日本がん看護学会, 2013年02月17日, 金沢.
- 山下千波, 原田広枝, 須崎しのぶ, 川口賀津子, 中島恵美子, 塚原ひとみ, 吉川千鶴子, 長弘千恵, 大池 美也子: 次世代リーダー育成のための早期選抜教育の現状と課題, 第32回日本看護科学学会, 2012年11月30日, 東京.
- 須崎しのぶ, 原田広枝, 山下千波, 川口賀津子, 中島恵美子, 塚原ひとみ, 吉川千鶴子, 長弘千恵, 大池 美也子: 次世代リーダーの成長を促す仕事経験一皮むけた仕事経験の記述分析一, 第32回日本看護科学学会, 2012年11月30日, 東京.
- 道面千恵子, 大池 美也子, 原田 博子, 長家 智子: e-learningを用いた学生の看護技術自己評価と静止画教材の検討, 第38回日本看護研究学会, 2012年07月01日, 沖縄.
- 道面千恵子, 大池 美也子, 長家 智子, 原田 博子: 基礎看護技術教育にe-learning教材を用いた学習システムの検討ー平成23年度における看護学生の評価からー, 第22回日本看護学教育学会, 2012年08月01日, 熊本.
- 大池美也子: 患者教育・看護実践における看護師の経験と学び, 第17回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 平成24年9月29日, 京都.
- 中島充代, 黒木祥司, 新小田晴美, 末次美子, 島田和生, 加未恒壽: 乳がん患者の治療選択における意思決定役割と首尾一貫感覚の関連, 第25回日本サイコオンコロジー学会, 2012年09月21, 22日, 福岡.
- 飯野英親, 小野正子, 前田由紀子, 日高艶子, 竹元仁美, 白水麻子, 松岡緑, 鐵井千嘉, 石原逸子, 高橋清美, 北原悦子, 山住康恵, 北川明, 松浦賢長, 安酸史子: An outreach approach to prevention turnover for newly graduate Japan -An Evaluation of the Caring Island Kyushu-Okinawa Project-International Hiroshima Conference on Caring and Peace, Hiroshima, 2012年3月.
- 橋口暢子: 入浴にともなう事故の現状と対策, 日本人間工学会第53回大会, 2012年6月, 福岡.
- 橋口暢子, 武田 暁, 安山由佳梨, 樗木晶子, 栃原 裕: 6時間の低圧・低酸素循環暴露が生理・心理反応に及ぼす影響, 第51回日本生体医学工学会大会, 2012年05月10日, 福岡.
- 原口まりあ, 橋口暢子, 若林 斉, 周 金枚, 調俊太郎, 田中美花, 栃原 裕: 夏季における低輻射型厨房機器使用時の生理・心理反応 日本人間工学会第53回大会, 2012年6月, 福岡.
- 橋口暢子, 長尾 綾, 樗木晶子, 栃原 裕: 高齢者の入浴習慣の季節差と入浴習慣形成に寄与する要因, 日本生理人類学会第66回大会, 2012年5月, 長崎.

- 原口まりあ, 橋口 暢子, 栃原 裕, 有浦勢二: 大学生協調理作業者の夏期の暑熱対策に関する検討, 人間-生活環境系, 2012年12月1日, 名古屋.
- 橋口暢子, 長尾 綾, 樗木晶子, 栃原 裕: 高齢者の入浴習慣の季節度差と入浴習慣形成に寄与する要因, 第66回日本生理人類学学会, 2012年05月12日, 長崎.
- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, ラハマワティ アニタ, 西坂麻里, 井上修二郎, 竹本真生, 井手友美, 肥後太基, 砂川賢二, 樗木晶子: 遠赤外線下肢加温が慢性心不全患者における循環動態と睡眠に及ぼす影響, 第51回日本生体医学工学会大会, 2012年05月11日, 福岡.
- 澤渡浩之, 樗木晶子, 西坂麻里, アニタ・ラハマワティ, 井手友美, 井上修二郎, 竹本真生, 宮園真美, 橋口暢子, 安藤眞一: 終夜睡眠ポリグラフィによる心不全患者の睡眠障害に対する下肢加温効果の検討, 第32回日本ホルター・ノンインベイスブ心電学研究会, 2012年06月09日, 新潟.
- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, アニタ・ラハマワティ, 西坂麻里, 井上修二郎, 竹本真生, 井手友美, 肥後太基, 砂川賢二, 樗木晶子: 心不全増悪予防を目指した慢性心不全患者における遠赤外線下肢加温療法-血管内皮機能と酸化ストレスに対する効果, 第48回日本循環器予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2012年06月15日, 東京.
- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, 竹本真生, 井上修二郎, 井手友美, 肥後太基, 西坂麻里, 砂川賢二, 安藤眞一, 樗木浩朗, 樗木晶子: 心不全患者における下肢加温の睡眠構築への効果, 第25回九州・山口地区ハイパーサーミア研究会, 2012年08月11日, 北九州.
- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 樗木晶子: 高齢者, 若年者における頸下ドーム型遠赤外線サウナによる温熱反応の比較, 第25回九州・山口地区ハイパーサーミア研究会, 2012年08月11日, 北九州.
- アニタ・ラハマワティ, 樗木晶子, 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 真茅みゆき, 大塚祐子, 竹本真生, 向井 靖, 井上修二郎, 砂川賢二, 樗木浩朗, 櫻田春水: 植込み型除細動器(ICD)患者におけるQOLや心理精神的障害の多施設調査, 第29回日本心電学会学術集会, 2012年10月12日, 千葉.
- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 前野有佳里, 川本利恵子, 中尾久子, 木下由美子, 金岡麻希, 潮みゆき, 孫田千恵, 梶原弘平, 樗木晶子: 慢性心不全患者への脚部遠赤外線加温による生理・心理反応および睡眠に関する研究, 第32回日本看護科学学会学術集会, 2012年12月01日, 東京.
- Sawatari H, Miyazono M, Hashiguchi N, Anita Rahmawati, Inoue S, Takemoto M, Nishizaka M, Ide T, Ando S, Chishaki H, Sunagawa K, Chishaki A: Leg thermal therapy improves sleep quality with amelioration of vascular endothelial function in patients with chronic heart failure, 第77回日本循環器学会学術集会, 2013年03月15日, 横浜.
- Sawatari H, Chishaki A, Kuroda H, Matsuoka F, Anita Rahmawati, Ono J, Hashiguchi N, Miyazono M, Nishizaka M, Ando S: The first national survey of the relationship between sleep disordered breathing and heart diseases in Down syndrome, 第77回日本循環器学会学術集会, 2013年03月15日, 横浜.
- 小野淳二, 樗木晶子, 澤渡浩之, アニタ・ラハマワティ, 黒田裕美, 松岡史生, 宮園真美, 橋口暢子, 西坂麻里, 安藤眞一: ダウン症患者に観察される特徴的な睡眠体位と睡眠呼吸障害との関連性, 第77回日本循環器学会学術集会, 2013年03月15日, 横浜.
- 樗木晶子, 宮園真美, 橋口暢子, 澤渡浩之, 馬場 チエミ, 濱田 正美, 塩汲 望美, 肥後太基, 砂川賢二: 再発予防をめざした虚血性心疾患患者の自己管理意欲を高める退院後介入法の検討, 第48回日本循環器予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2012年06月16日, 東京.
- 樗木晶子, 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, アニタ・ラハマワティ, 竹本真生, 向井 靖, 井上修二郎, 真茅みゆき, 肥後太基, 馬場 チエミ, 砂川賢二: 植込み型除細動器(ICD)患者の不安, 抑うつおよびQOLに関する研究について, 第69回日本循環器心身医学学会総会, 2012年11月17日, 福岡.

f. 学会以外での講演, 発表

- Hashiguchi N, Kaji Y, Tochihara Y: Thermal comfort and safety in the homes of the elderly during winter., International Symposium on Ergonomics and Physiological Anthropology in thermal Environments 2013年3月23日, 福岡.

著作

a. 単行本 なし

b. 総説

- 山下裕美, 大池 美也子, 原田 博子, 長家 智子: がん患者に関わる看護師の「きく」ことについての文献検討, 発達社会学研究, 2012 年 12 月.
- 外山玲子, 大池 美也子, 原田 博子, 長家 智子: 中途採用看護師の現状と課題に関する文献検討, 発達社会学研究, 2012 年 12 月.
- 大池 美也子: 平成 23 年度教務主任養成講習会の意義—看護学教育開発演習に焦点をあてて—, 看護教育, 2012 年 04 月.
- 原田博子: 師長主任業務実践 産労総合研究所看護職の多様な働き方の推進 解説—ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて, Vol.17, No.364, 5-10, 2012.
- 原田博子: タイムマネジメントの考え方と研修の進め方看護人材教育, 隔月 6 回連載 49-54, 日総研出版, 2012 年 6 月 7 月.
- 原田博子: 看護部門と他部門, 多職種との連携における看護管理者の役割, 毎月連載, 師長主任業務実践産労出版, 2012 年 1 月.

c. 解説, 書評など

- 原田博子: 書評, 『質的研究の基礎 グラウンデッド・セオリー開発の技法と手順 第 3 版』, 看護管理, 医学書院, Vol.22 No.7, 578, 2012.

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 大池, 高尾医科大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012 年 10 月～2012 年 10 月.
- 橋口, University Indonesia, Department of Nursing (Indonesia), 大学・研究所訪問, 2013 年 03 月 27-30 日.

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 大池, 21 世紀プログラム委員会委員.
- 原田, 百人部会委員.

2. 部局委員

- 原田, 医系地区部局臨床研究倫理審査委員会.
- 長家, 中期計画委員.
- 長家, アジア遠隔医療開発センター運営会議.

3. 部門・コース内委員

- 大池, 保健学FD・地域国際連携推進委員会委員.
- 大池, 将来計画・点検・評価委員会委員.
- 原田, 看護学隣地実習委員会.
- 道面, 保健学FD・地域国際連携推進委員.
- 中島, 卒業研究委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大池, 九州看護福祉大学, 兼任教員.
- 大池, 福岡大学, 非常勤講師.
- 大池, 九州工業大学, 非常勤講師.
- 大池, 国際医療福祉大学, 非常勤講師.
- 原田, 山口大学経済学部, 非常勤講師.

2. 学協会

- 大池, 福岡県医師会(看護師卒後研修)講師, 国内.
- 大池, 独立法人国立病院機構九州ブロック(実習指導者養成)講師, 国内.
- 大池, 福岡県糖尿病療養指導士研修会講師(面接委員)講師, 国内.
- 大池, 福岡県看護協会臨地実習指導者講習会講師, 国内.
- 大池, 福岡県看護協会(看護職者ファーストレベル)講師, 国内.
- 大池, 福岡県看護専任教員養成講習会講師, 国内.
- 大池, 福岡県教務主任研修講師, 国内.
- 大池, 日本がん看護学会, 評議員, 国内.
- 大池, 福岡県看護協会看護管理者認定委員会副委員長, 国内.
- 大池, 日本がん看護学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 理事, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会九州・沖縄地区地方会, 会長, 国内.
- 大池, 日本医学看護教育学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 査読委員(専任査読者), 国内.
- 大池, 日本看護科学会誌和文誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護医療学会誌, 査読委員, 国内.
- 長家, 日本看護診断学会, 評議員, 国内.
- 長家, 日本循環器看護学会, 理事, 国内.
- 橋口, 日本生理人類学会, 評議員, 国内.
- 橋口, 一般社団法人日本サステナブル建築協会 健康維持増進住宅研究 健康影響低減部会室内熱環境問題検討WG 委員, 国内.
- 原田, 日本看護協会 地域へのワーク・ライフ・バランス普及推進委員会, 委員, 国内.
- 原田, 日本看護倫理学会, 査読委員, 国内.
- 原田, 日本循環器看護学会, 査読委員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 大池, NPO 法人市民ホスピス福岡, 理事.
- 大池, NPO法人花の花, 理事.

5. 公開講座・公開講演会

- 丸山,「医療倫理-患者の権利(概論)-」, 河畔病院. 唐津市, セミナー・研修会.
- 丸山,「医療現場における倫理」, 早良病院. 福岡市, セミナー・研修会.
- 丸山,「医療倫理-患者の権利(各論)-」, 河畔病院. 唐津市, セミナー・研修会.
- 原田, ステップ4研修「ベテラン・中堅ナースに求められるマネジメントとリーダーシップとファシリテーション」 地方独立行政法人 福岡市立病院機構福岡市立こども病院・感染症センター, セミナー・研修会.
- 原田, 平成24年度「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」 三重県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, WLBの基本的な考え方およびWLB施策の導入事例について, 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ 沖縄県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ事業」フォローアップワークショップ, 三重県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 「働き続けられる職場のあり方 パートⅡ」～健康に働き続けられるためのシフトワークのコツを学ぶ～, 多様な勤務形態導入研修会 岡山県看護協, セミナー・研修会.
- 原田, 人的資源活用論認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程, 滋賀県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 看護情報論 看護実践に生かす情報のあり方認定看護管理者教育ファーストレベル課程 , 山口県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 福岡県教務主任養成講習会 看護学教育開発演習, 福岡県保健医療介護部医療指導課, セミナー・研修会.
- 原田, 看護管理皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程 福岡県看護協会, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

看護学分野

《臨床看護》

教授	樗木 晶子
教授	川本 利恵子
教授	中尾 久子
講師	宮園 真美
助教	木下 由美子
助教	金岡 麻希
助教	富岡 明子
助教	梶原 弘平
助教	潮 みゆき
助教	孫田 千恵

1. 教育活動

1. 大学院講義

樗木晶子	
保健医療とソーシャルサポート(分担)	後期
生体情報解析学 I(分担)	前期
健康支援ケアシステム論 I(分担)	後期
川本利恵子	
がん看護特論(分担)	前期
看護研究方法論 I (統計の基礎)	前期
コンサルテーション論	前期
がん医療支援論	前期
健康支援ケアシステム論 I (分担)	前期
健康支援ケアシステム論 II (分担)	前期
中尾久子	
看護倫理(分担)	前期
看護組織・マネジメント論(分担)	後期
医療と生命倫理(分担)	後期
健康支援ケアシステム論 I (分担)	前期
健康支援ケアシステム論 II (分担)	前期
がん看護援助論(分担)	後期
宮園真美	
国際社会とチーム医療(分担)	前期
がん医療支援論(分担)	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

樗木晶子	
看護学特別研究	通年
保健学特別研究	通年
生体情報解析学Ⅱ(分担)	前期
臨床看護学特論(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
川本利恵子	
看護学特別研究	通年
保健学特別研究(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
中尾久子	
保健学特別研究(分担)	通年
看護学特別研究(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
宮園真美	
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
木下由美子	
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
金岡麻希	
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
富岡明子	
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	後期
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	後期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	後期
梶原弘平	
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
潮みゆき	
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年

孫田千恵		
臨床看護学特論Ⅰ(分担)		通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)		通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)		通年

4. 大学院修士課程修了者

塩波望美	心不全の悪化と再入院予防を目的とした電話による看護介入の効果 The effects of the nursing intervention using telephone to prevent from worsening of heart failure and re-hospitalization
佐藤瑠里	これからの看護を担う若者世代の家族感に関する調査 A survey of family values of young nurses who plan to advance their nursing practice
豊福佳代	電子カルテ導入病院における臨床看護師の看護記録の活用状況と重要性に関する認識の検討 Clinical Nurses' Perceptions of Usage of Electronic Medical Record and the Significance of the Overall Nursing Record
山崎啓子	新人看護職員学習状況の TAXONOMY に基づいた構造的把握による指導成果の検討 Outcome of Education for Newly Graduated Nurses through a Systematic Understanding of the Learning Stage based on Bloom's TAXONOMY

5. 大学院博士課程修了者

福田和美	Effects of postoperative delirium of patients on family members and their response 患者の術後せん妄が家族に及ぼす影響と対処
長 聡子	Development of an evaluation scale for the care of cancer patient's families in general wards 一般病棟におけるがん患者の家族ケア実践評価スケールの開発
藤野ユリ子	Effect of Information and Communication Technology on Nursing Performance 情報通信技術 ICT 活用と看護実践能力

6. 学部講義

樗木晶子		
循環機能検査学(分担)		後期
人体の機能と構造 IA		通年
人体の機能と構造 IB		通年
医学入門 ジェンダー学(分担)		前期
性差医学(分担)		前期
医学総論Ⅱ(分担)		前期
成人看護学概論(分担)		前期
臨床医学群循環器(分担)		後期
総合医学Ⅱプライマリケア入門・性差医学入門		前期
川本利恵子		
小人数セミナー		前期
救急蘇生学(分担)		後期
老年看護援助論(分担)		前期
がん看護論(分担)		後期
国際保健学(分担)		後期

医療人類学	前期
中尾久子	
臨床倫理(分担)	後期
インフォームドコンセント(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期
看護倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
社会学(分担)	後期
臨床老年看護学(分担)	後期
宮園真美	
急性期看護論(分担)	後期
周術期看護援助論(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
看護倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期
木下 由美子	
生活指導論(分担)	後期
慢性期看護論(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
看護倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
がん看護論(分担)	後期
老年看護学概論(分担)	前期
周手術期看護援助論(分担)	前期
金岡麻希	
周術期看護援助論(分担)	前期
急性期看護論(分担)	後期
救急蘇生学(分担)	後期
富岡明子	
生活指導論	後期
梶原弘平	
老年看護学概論(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
潮みゆき	
周手術期看護援助論	前期
がん看護論	後期
孫田千恵	
慢性期看護論	前期
生活指導論	後期

7. 学部の実験・実習・演習

樗木晶子	
卒業研究(分担)	通年
生理機能検査学実習(分担)	後期

川本利恵子	
卒業研究(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
中尾久子	
卒業研究(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	通年
宮園真美	
成人・老年看護学実習(急性期)(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
木下由美子	
成人・老年看護学実習(慢性期)(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
金岡麻希	
成人・老年看護学実習(急性期)(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
急性期看護論(分担)	後期
卒業研究(分担)	通年
梶原弘平	
成人・老年看護学実習(慢性期)(分担)	後期
成人・老年看護学実習(急性期)(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
潮みゆき	
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
孫田千恵	
成人・老年看護学実習(慢性期)(分担)	後期
成人・老年看護学実習(急性期)(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年

8. 卒業論文作成者

青屋みか	慢性心不全患者に対する温熱療法が与える影響について
秋山友紀	2型糖尿病患者の生活習慣改善の意欲向上と行動化に対してもっとも効果的な指導方法の検討
原田友香里	植込み型除細動器が適用になった患者の家族の不安とインフォームドコンセントとの関連
西友加里	集中治療室に術後入院下患者のせん妄と家族の面会の関連
藤田みのり	家族の希望で告知が難しいターミナル期の患者への看護介入
平井菜美	日本の終末期医療の現状—人権を尊重した終末期医療をめざして—
長友詩織	在宅療養を望む終末期がん患者の家族に必要な退院支援の検討
西田好美	認知症高齢者の在宅介護者の介護負担感を軽減する支援方法の検討
山田麻央	筋委縮性側索硬化症患者が人工呼吸器の意思決定を行う際の思いに関する研究
川野いち里	がん患者が再発・転移を経験したときに抱く思いと看護支援
溝江麻一夏	神経難病患者の語りに焦点をあてた文献検討
大町衣美	腓頭十二指腸切除術後の合併症により在院期間の延長をきたした患者の心理変化とその支援の検討
橋本理美	脳卒中患者への足部遠赤外線サウナを用いた便秘改善効果
古家由佳	臨床看護師が実践している ERAS (Enhanced Recovery After Surgery: 術後回復強化) プロトコルの現状と、周術期看護の検討
田口絵梨	術中腹臥位の体圧分散に最も有効な除圧用具の研究
緒方愛恵	回復術後患者の早期離床ケア場面の臨床判断に用いる経験的知識—新人看護師とエキスパートナースの違いに焦点をあてて—
木原衣里	人工肛門造設術を受けた患者の人工肛門の受容に影響を与える要因
作田カンナ	ストーマの受容に関する文献研究
中野綾子	がん患者のギアチェンジへの有効な支援についての文献研究
松田彩友美	術後疼痛管理における PCA の有効性の検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

樗木晶子

心疾患や高齢者におけるサウナ(首下温熱装置), 下半身温熱, 足温を用いた温熱効果の検討
睡眠時無呼吸症候群患者における睡眠ケア

フットサウナを用いた心疾患患者におけるQOLと予後の改善を目指した看護ケアの構築

川本利恵子

胃切除術が骨代謝に及ぼす影響と栄養や活動などに与える変化の解明

中尾久子

医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ(がん医療, 看護)

ストレス, ストレス反応および生活行動の関連性

高齢者の身体拘束とQOL

宮園真美

サウナ浴による生理・心理反応

ソーシャルサポートと QOL

木下由美子

直腸がん患者のQOL

金岡麻希

生体肝移植のレシピエントとドナー間の相互作用と両者対象の全人的支援に関する研究

富岡明子

心肺蘇生の立ち会いが患者の家族に与える影響

梶原弘平

認知症高齢者の在宅介護者の支援に関する研究

孫田千恵

睡眠障害とQOLに関する研究

潮みゆき

脳死臓器提供者とその家族に対する看護実践に関する研究

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

樗木晶子

- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(B)」フットサウナを用いた心疾患患者における QOL と予後の改善を目指した看護ケアの構築, (代表)
- 「基盤研究(B)」癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)
- 「挑戦的萌芽研究」睡眠時無呼吸を配慮した心疾患患者における睡眠障害に対する看護ケアの開発, (代表)
- 「基盤研究(C)」地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた頸下型簡易サウナによる看護プログラム, (分担)
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」直腸がん患者の QOL 向上を目指した排便障害セルフケア支援のための介入研究, (分担)

川本利恵子

- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(B)」フットサウナを用いた心疾患患者における QOL と予後の改善を目指した看護ケアの構築, (分担)
- 「基盤研究(B)」癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)
- 「挑戦的萌芽研究」睡眠時無呼吸を配慮した心疾患患者における睡眠時障害に対する看護ケアの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた頸下型簡易サウナによる看護プログラム, (分担)
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」直腸がん患者の QOL 向上を目指した排便障害セルフケア支援のための介入研究, (分担)

中尾久子

- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (代表)
- 「基盤研究(B)」 癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)
- 「挑戦的萌芽研究」 睡眠時無呼吸を配慮した心疾患患者における睡眠障害に対する看護ケアの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」 地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた頸下型簡易サウナによる看護プログラム, (分担)
- 「基盤研究(C)」 直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」 直腸がん患者の QOL 向上を目指した排便障害セルフケア支援のための介入研究, (分担)

宮園真美

- 「基盤研究(C)」 地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, (代表)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた頸下型簡易サウナによる看護プログラム, (分担)
- 「基盤研究(B)」 がん医療看護における倫理症例集作成の試み, (分担),
- 「基盤研究(B)」 がん治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)
- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(C)」 直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」 直腸がん患者の QOL 向上を目指した排便障害セルフケア支援のための介入研究, (分担)

木下 由美子

- 「基盤研究(C)」 直腸がん患者の QOL 向上を目指した排便障害セルフケア支援のための介入研究, (代表)
- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(C)」 地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた頸下型簡易サウナによる看護プログラム, (分担)

金岡麻希

- 若手研究(B)」 生体肝移植ドナーの自尊感情安定を目指した看護モデルの構築, (代表)
- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(C)」 直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」 高齢者の早期退院に向けた頸下型簡易サウナによる看護プログラム, (分担)

富岡明子

- 「基盤研究(B)」 がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)

梶原弘平

- 「研究活動スタート支援」 認知症高齢者の在宅介護者の支援プログラムの開発, (代表)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受け入れ

樗木晶子

- 「医学研究院保健学部門研究資金」日本心臓財団
- 「医学研究院保健学部門研究資金」大日本住友製薬株式会社

5. その他の外部資金の受け入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受け入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Sawatari H, Miyazono M, Hashiguchi N, Maeno Y, Tochihara Y, Chishaki H, Chishaki A: Study on body temperature and hemodynamics of healthy young volunteers under warming below their neck using domed sauna – For establishing a therapeutic modality by heat stress – , *Proceeding of the 31st Congress of the Japanese Society for Holter and Noninvasive Electrocardiology* , III-14 General Session III, s2-41-s2-42, 2012.
- 宮園真美, 橋口暢子, 澤渡浩之, 塩波望美, 濱田正美, 馬場チエミ, 樗木晶子: 多疾患を有する虚血性心疾患患者への退院後介入の検討, *日本循環器看護学会誌* , 8(1):45-46,2012.
- Shamoto A, Chishaki A, Tsuchihashi-Makaya M, Chishaki H, Takemoto M, Mukai Y, Inoue S, Sunagawa K: Bepridil is effective and improves QOL in multidrug-resistant paroxysmal atrial fibrillation, *J Cardiovasc Med.(Hagerstown)* , 13(11): 747-754, 2012.
- Inoue S, Takemoto M, Chishaki A, Ide T, Nishizaka M, Miyazono M, Sawatari H and Sunagawa K: Leg Heating Using Far Infra-red Radiation in Patients with Chronic Heart Failure Acutely Improves the hemodynamics, Vascular Endothelial Function, and Oxidative Stress. , *Internal Medicine* , , 51: 2263-2270, 2012.
- Chishaki H, Chishaki A, Hara N, Ide Y, Ide K, Mandai N, Akazawa K: Increases of body mass index raise systolic blood pressures of Japanese women—a comparative study of blood pressures at a 5-year interval., *Journal of Hypertension* , 30,supple.e58-195, 2012年09月. (査読あり)
- Mandai N, Akazawa K, Hara N, Ide y, Ide K, Chishaki A, Chishaki H: Relationship between the changes of body mass index and the blood pressures in Japanese men: a comparative study of blood pressures at a 5-year interval , *Journal of Hypertension* , 30,Supple.e65-214, 2012年09月. (査読あり)
- Mukai Y, Takemoto M, Inoue S, Chishaki A, Sunagawa K: Clinical outcome after catheter ablation of macroreentrant at associated with surgical atriotomy (Incisional at) , *Journal of Arrhythmia* , 28(suppl.):10:143,2012.
- Nagayama T, Mukai Y, Chishaki A, Inoue S, Takemoto M, Sunagawa K: Early repolarization in patients with idiopathic ventricular fibrillation and brugada syndrome, *Journal of Arrhythmia* , 28,Supple.10:543, 2012年10月. (査読あり)
- Inoue S, Mukai Y, Takemoto M, Katsuki M, Chishaki A, Sunagawa K: Experience of catheter ablation for ventricular electrical storm in patients with severe cardiac dysfunction, *Journal of Arrhythmia* , 28, Supple.10:557, 2012年10月. (査読あり)
- Akiko Suyama Chishaki, Inoue Shujiro, Yasushi Mukai, Kenji Sunagawa: Catheter ablation of the right ventricular tachycardia and/or premature contractions arising from the vicinity of the HIS-BUNDLE., *Journal of Arrhythmia* , 28(suppl.):10:143,2012.
- 田中理子, 米満吉和, 川本利恵子: Reliability and Validity of the Japanese Version of the Behavioral Inventory for Professionalism in Nursing, *インターナショナルNursing Care Research*, 2012年10月. (査読あり)
- 中野正博, 能登裕子, 緒方文子, 川本利恵子: Basic Research on the Assessment of Fractures Caused by the Impact Force of Falling-Ver.1), *インターナショナルNursing Care Research*, 2012年10月. (査読あり)

- 藤野ユリ子, 川本利恵子: The Relationship of ICT Use and Emotional Intelligence for Nurses in their Twenties, *International Nursing Care Research*, 2012年11月. (査読あり)
- Kazumi FUKUDA, Hisako NAKAO: Effects of postoperative delirium of patients on family members and their response, *The Journal of Nursing Investigation*, , 2013年03月. (査読あり)
- 梶原弘平, 小野ミツ: 認知症高齢者の在宅介護者が抱く介護の肯定的な認識と特性に関する研究, *日本認知症ケア学会誌*, , 2012年07月. (査読あり)
- 潮 みゆき, 川本 利恵子: 心停止後および脳死後の臓器提供者への看護実践に対する不全感とその影響要因の検討, *日本救急看護学会*, , 2013年03月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Akiko Suyama Chishaki, Masateru Kawakubo: Evaluation of cardiac mechanical dyssynchrony with longitudinal strain analysis in 4-chamber cine magnetic resonance imaging. , *International Society for Magnetic Resonance in Medicine(ISMRM)*, 2012年05月05日, Australia.
- Anita R, Sawatari H, Tsuchihashi-Makaya M, Ohtsuka Y, Miyazono M, Hashiguchi N, Sakurada H, Takemoto M, Nakai S, Mukai Y, Inoue S, Chishaki H, Suyama-Chishaki A : Gender Differences in Quality of Life and Psychological Responses among Implantable Cardioverter-Defibrillator Patients in Japanese Population. , *Quality of Care and Outcomes Research in Cardiovascular Disease and Stroke 2012 Scientific Sessions(QCOR2012)* , 2012年05月09日, United States of America.
- Chishaki H, Tanaka S, Sawatari H, Miyazono M, Hashiguchi N, Anita R, Inoue S, Takemoto M, Ide T, Sunagawa K, Chishaki A: Thermal Therapy: an old but new tool as alternative medicine for patients with heart failure. , *11th Mongolian-Japanese Joint Symposium-2012* , 2012年06月05日, Mongolia.
- Nakao H, Chishaki A, Nakao F, Miyazono M, Kinoshita Y, Kanaoka M, Tomioka A, Kawamoto R: Expert Nurse's Recognition of Ethical Problems on Cancer Care - A survey at a university hospital in Japan -, *7th International Nurse Practitioner/Advanced Practice Nursing Network Conference*, 2012年08月19日, United Kingdom.
- Rahmawati A, Suyama-Chishaki A, Sawatari H, Hashiguchi N, Miyazono M, Ono J, Kuroda H, Nishizaka M, Ando S: Peculiar sleep position in Down Syndrome patients as a protective mechanism against nocturnal oxygen desaturation , *Xth World Congress on Sleep Apnea-WCSA-* , 2012年08月29日, Italy.
- Sawatari H, Suyama-Chishaki A , Rahmawati A, Hashiguchi N, Miyazono M, Ono J, Kuroda H, Nishizaka M, Ando S : Nation-wide surveillance about the relationship between sleeping posture and symptoms of SDB among the patients with Down Syndrome , *Xth World Congress on Sleep Apnea-WCSA-*, 2012年08月29日, Italy.
- Nakao H, Chishaki A, Kawamoto R, Miyazono M, Kinoshita Y, Kanaoka M, Tomioka A, Magota C, Ushio M: Clinical Ethics Education on Cancer Nursing in Japan, *The 17th International Society of Nurses Cancer Care(ICCN2012)*, 2012年09月09日, Czech Republic.
- Chishaki H, Chishaki A, Hara N, Ide Y, Ide K, Mandai N, Akazawa K: Increases of body mass index raise systolic blood pressures of Japanese women—a comparative study of blood pressures at a 5-year interval., *24th Meeting of the International Society of Hypertension the Future of Cardiovascular Protection.*, 2012年10月01日, Australia.
- Mandai N, Akazawa K, Hara N, Ide y, Ide K, Chishaki A, Chishaki H: Relationship between the changes of body mass index and the blood pressures in Japanese men: a comparative study of blood pressures at a 5-year interval , *24th Meeting of the International Society of Hypertension the Future of Cardiovascular Protection.*, 2012年10月01日, Australia.
- Mukai Y, Takemoto M, Inoue S, Chishaki A, Sunagawa K: Clinical outcome after catheter ablation of macroreentrant at associated with surgical atriotomy (Incisional at) , *The 5th*

Asia-Pacific Heart Rhythm Society Scientific Sessions in Conjunction with 8th Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium. , 2012年10月04日, Taiwan.

- Nagayama T, Mukai Y, Chishaki A, Inoue S, Takemoto M, Sunagawa K: Early repolarization in patients with idiopathic ventricular fibrillation and brugada syndrome., The 5th Asia-Pacific Heart Rhythm Society Scientific Sessions in Conjunction with 8th Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium., 2012年10月05日, Taiwan.
- Inoue S, Mukai Y, Takemoto M, Katsuki M, Chishaki A, Sunagawa K: Experience of catheter ablation for ventricular electrical storm in patients with severe cardiac dysfunction., The 5th Asia-Pacific Heart Rhythm Society Scientific Sessions in Conjunction with 8th Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium, 2012年10月05日, Taiwan.
- Takase S, Mukai Y, Inoue S, Takemoto M, Chishaki A, Sunagawa K: Catheter ablation of the right ventricular tachycardia and/or premature contractions arising from the vicinity of the HIS-BUNDLE., The 5th Asia-Pacific Heart Rhythm Society Scientific Sessions in Conjunction with 8th Asia-Pacific Atrial Fibrillation Symposium, 2012年10月05日, Taiwan.
- Sawatari H, Chishaki A, Kuroda H, Matsuoka F, Anita Rahmawati, Ono J, Hashiguchi N, Miyazono M, Nishizaka M, Ando S: Japan nation-wide survey on sleep disordered breathing and congenital heart diseases in Down's syndrome patients, The 7th Asian Sleep Research Society Congress, 2012年12月01日, Taiwan.
- Nakao H, Chishaki A, Miyazono M, Kinoshita Y, Kanaoka M, Tomioka M, Magota C, Ushio M, Kajiwara K: Nurse's Recognition of Ethical Problems on Cancer Care in Japan -Comparison between University Hospital Nurse and Certified Nursing Students-, The 16th Development International Networking for Nursing Research, 2013年02月21日, Thailand.
- Hisako Nakao, Akiko Chishaki, Rieko Kawamoto, Nakao, Mami Miyazono, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Akiko Tomioka, Chie Magota, Miyuki Ushio : Expert nurse's recognition of ethical problems on cancer care, 7th International Nurse Practitioner/Advanced Practice Nursing Network Conference, 2012年08月20日, United Kingdom.
- Hisako Nakao, Akiko Chishaki, Rieko Kawamoto, Mami Miyazono, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Akiko Tomioka, Chie Magota, Miyuki Ushio: Clinical Ethics Education on Cancer Nursing in Japan, the 17th International Conference on Cancer Nursing (ICCN), 2012年09月12日, Czech Republic.
- Kazumi Fukuda, Hisako Nakao : Experiences of family members of patients who exhibited postoperative delirium, 7th International Nurse Practitioner/Advanced Practice Nursing Network Conference, 2012年08月20日, United Kingdom.
- Hisako Nakao, Akiko Chishaki, Mami Miyazono, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Akiko Tomioka, Chie Magota, Miyuki Ushio, Kohei Kajiwara : Nurse's Recognition of Ethical Problems on Cancer Care in Japan -Comparison between University Hospital Nurse and Certified Nursing Students-, The 16th Development International Networking for Nursing Research, 2013年02月21日, Thailand.

c. 大学・研究機関などの刊行誌

- 川本利恵子, 中尾久子, 宮園真美, 木下由美子, 金岡麻希, 応用心理学会のクロスロード 第5号 [職場探訪]

d. 調査研究報告

- 樗木晶子;平成24年度きらめき報告書 2013年03月

e. 国内学会での講演, 発表

- 河窪正照, 長尾充展, 熊澤誠志, 樗木晶子, 本田 浩, 杜下淳次: 四肢断増像シネ MRI を用いた心臓の機械的同期不全の評価, 第 68 回日本放射線技術学会総会, 2012 年 04 月 12 日, 横浜.
- 岡村 建, 萬代幸子, 藤川 潤, 佐藤 薫, 樗木晶子, 北園孝成: 難治バセドウ病における血漿ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)測定の有用性, 第 85 回日本内分泌学会学術総会, 2012 年 04 月 19 日, 名古屋.
- 橋口暢子, 武田 暁, 安山由佳梨, 樗木晶子, 栃原 裕: 6 時間の低圧・低酸素循環暴露が生理・心理反応に及ぼす影響, 第 51 回日本生体医学工学会大会, 2012 年 05 月 10 日, 福岡.
- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, ラハマワティ アニタ, 西坂麻里, 井上修二郎, 竹本真生, 井手友美, 肥後太基, 砂川賢二, 樗木晶子: 遠赤外線下肢加温が慢性心不全患者における循環動態と睡眠に及ぼす影響, 第 51 回日本生体医学工学会大会, 2012 年 05 月 11 日, 福岡.
- 橋口暢子, 長尾 綾, 樗木晶子, 栃原 裕: 高齢者の入浴習慣の季節度差と入浴習慣形成に寄与する要因, 第 66 回日本生理人類学学会, 2012 年 05 月 12 日, 長崎.
- 澤渡浩之, 樗木晶子, 西坂麻里, アニタ・ラハマワティ, 井手友美, 井上修二郎, 竹本真生, 宮園真美, 橋口暢子, 安藤眞一: 終夜睡眠ポリグラフィによる心不全患者の睡眠障害に対する下肢加温効果の検討, 第 32 回日本ホルター・ノンインバイシブ心電学研究会, 2012 年 06 月 09 日, 新潟.
- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, アニタ・ラハマワティ, 西坂麻里, 井上修二郎, 竹本真生, 井手友美, 肥後太基, 砂川賢二, 樗木晶子: 心不全増悪予防を目指した慢性心不全患者における遠赤外線下肢加温療法—血管内皮機能と酸化ストレスに対する効果, 第 48 回日本循環器予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2012 年 06 月 15 日, 東京.
- 木下由美子, 川本利恵子, 宮園真美, 金岡麻希, 富岡明子, 孫田千恵, 潮 みゆき, 樗木晶子, 中尾久子: 直腸癌患者の術後 6 ヶ月における排便機能障害と HR-QOL 関連要因の検討, 第 38 回一般社団法人 日本看護研究学会学術集会, 2012 年 07 月 07 日, 沖縄.
- 長山友美, 向井 靖, 井上修二郎, 竹本真生, 樗木晶子, 砂川賢二: 特発性心室細動 (Brugada 症候群含む) における早期再分極所見の検討, 第 27 回日本不整脈学会学術大会, 2012 年 07 月 06 日, 横浜.
- 向井 靖, 竹本真生, 井上修二郎, 樗木晶子, 砂川賢二: 発作性心房細動例において頻拍持続下に肺静脈隔離術を行なった場合の術中電気生理学的所見の特徴, 第 27 回日本不整脈学会学術大会, 2012 年 07 月 06 日, 横浜.
- 樗木晶子: 温熱の循環生理学, 第 25 回九州・山口地区ハイパーサーミア研究会, 2012 年 08 月 11 日, 北九州.
- 樗木晶子: 九州大学における男女共同参画の取り組み, 第 84 回日本遺伝学会大会, 2012 年 09 月 25 日, 福岡.
- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, 竹本真生, 井上修二郎, 井手友美, 肥後太基, 西坂麻里, 砂川賢二, 安藤眞一, 樗木浩朗, 樗木晶子: 心不全患者における下肢加温の睡眠構築への効果, 第 25 回九州・山口地区ハイパーサーミア研究会, 2012 年 08 月 11 日, 北九州.
- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 樗木晶子: 高齢者, 若年者における頸下ドーム型遠赤外線サウナによる温熱反応の比較, 第 25 回九州・山口地区ハイパーサーミア研究会, 2012 年 08 月 11 日, 北九州.
- 宮園真美, 澤渡浩之, 小野淳二, 黒田裕美, 濱田正美, 馬場チエミ, 塩汲望美, 樗木晶子: ICD 患者の心理的反応と QOL, 第 9 回日本循環器看護学会学術集会, 2012 年 09 月 23 日, 神戸.
- アニタ・ラハマワティ, 樗木晶子, 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 真茅みゆき, 大塚祐子, 竹本真生, 向井 靖, 井上修二郎, 砂川賢二, 樗木浩朗, 櫻田春水: 植込み型除細動器 (ICD) 患者における QOL や心理精神的障害の多施設調査, 第 29 回日本心電学会学術集会, 2012 年 10 月 12 日, 千葉.
- 大井啓司, 向井靖, 細野彩良, 大賀泰寛, 井上修二郎, 竹本真生, 樗木晶子, 砂川賢二: 虚血性心筋症に伴う VF storm に対してカテーテルアブレーションが有効であった一症例, 日本不整脈学会カテーテル・アブレーション関連秋季大会 2012 第 24 回カテーテル・アブレーション委員会公開研究会, 2012 年 11 月 23 日, 山口.

- 中尾久子, 樗木晶子: 大学における看護倫理教育の取り組み—人権と人間の尊厳について—, 第 24 回日本生命倫理学会年次大会, 2012 年 10 月 28 日, 京都.
- 桑原志実, 向井 靖, 肥後太基, 竹本真生, 井上修二郎, 樗木晶子, 砂川賢二: 肺静脈起源心房頻拍に対してカテーテルアブレーションを施行した 1 例, 日本不整脈学会カテーテル・アブレーション関連秋季大会 2012 第 24 回カテーテル・アブレーション委員会公開研究会, 2012 年 11 月 23 日, 山口.
- 樗木晶子: 心房細動〜この悩ましき存在〜, 第 69 回日本循環器心身医学会総会, 2012 年 11 月 18 日, 福岡.
- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 前野有佳里, 川本利恵子, 中尾久子, 木下由美子, 金岡麻希, 潮みゆき, 孫田千恵, 梶原弘平, 樗木晶子: 慢性心不全患者への脚部遠赤外線加温による生理・心理反応および睡眠に関する研究, 第 32 回日本看護科学学会学術集会, 2012 年 12 月 01 日, 東京.
- Sawatari H, Miyazono M, Hashiguchi N, Anita Rahmawati, Inoue S, Takemoto M, Nishizaka M, Ide T, Ando S, Chishaki H, Sunagawa K, Chishaki A: Leg thermal therapy improves sleep quality with amelioration of vascular endothelial function in patients with chronic heart failure., 第 77 回日本循環器学会学術集会, 2013 年 03 月 15 日, 横浜.
- Sawatari H, Chishaki A, Kuroda H, Matsuoka F, Anita Rahmawati, Ono J, Hashiguchi N, Miyazono M, Nishizaka M, Ando S: The first national survey of the relationship between sleep disordered breathing and heart diseases in Down syndrome., 第 77 回日本循環器学会学術集会, 2013 年 03 月 15 日, 横浜.
- 小野淳二, 樗木晶子, 澤渡浩之, アニタ・ラハマワティ, 黒田裕美, 松岡史生, 宮園真美, 橋口暢子, 西坂麻里, 安藤眞一: ダウン症患者に観察される特徴的な睡眠体位と睡眠呼吸障害との関連性, 第 77 回日本循環器学会学術集会, 2013 年 03 月 15 日, 横浜.
- 樗木 晶子, 宮園 真美, 橋口 暢子, 澤渡 浩之, 馬場 チエミ, 濱田 正美, 塩波 望美, 肥後 太基, 砂川 賢二: 再発予防をめざした虚血性心疾患患者の自己管理意欲を高める退院後介入法の検討, 第 48 回日本循環器予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2012 年 06 月 16 日, 東京.
- 樗木 晶子, 石川 勝彦, 澤渡 浩之, アニタ・ラハマワティ, 宮園 真美, 真茅 みゆき, 櫻田春水, 大塚 祐子, 仲井 盛: 植込み型除細動器(ICD)治療が及ぼす心的外傷後ストレス障害(PTSD)と抑うつにおける性差, 第 69 回日本循環器心身医学会総会, 2012 年 11 月 17 日, 福岡.
- 樗木 晶子, 宮園 真美, 澤渡 浩之, 橋口 暢子, アニタ・ラハマワティ, 竹本 真生, 向井 靖, 井上 修二郎, 真茅 みゆき, 肥後 太基, 馬場 チエミ, 砂川 賢二: 植込み型除細動器(ICD)患者の不安, 抑うつおよび QOL に関する研究について, 第 69 回日本循環器心身医学会総会, 2012 年 11 月 17 日, 福岡.
- 長聡子, 川本利恵子, 高橋泉: 一般病棟に入院するがん患者の家族ケアの実践状況, 第 20 回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会, 2012 年 09 月 08 日・09 日, 帯広
- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 前野有佳里, 木下由美子, 金岡麻希, 梶原弘平, 潮みゆき, 孫田千恵, 川本利恵子, 中尾久子, 樗木晶子: 慢性心不全患者への脚部遠赤外線加温による生理・心理反応および睡眠に関する研究, 第 32 回 日本看護科学学会学術集会, 2012 年 11 月 30 日, 東京.
- 川本利恵子, 中尾久子, 宮園真美, 木下由美子, 金岡麻希: 情報化社会が看護実践力およびコミュニケーションに及ぼす影響, 日本応用心理学会, 2012 年 09 月 22 日, 札幌.
- 田村早苗, 川本利恵子, 大松真弓: 外科的療法を受けたがん患者の悩みや情報ニーズに応じた効果的な情報提供, 第 27 回日本がん看護学会学術集会, 2012 年 02 月 16 日・17 日, 石川県立音楽堂, ANAクラウンプラザホテル金沢, ホテル日航金沢, 金沢.
- 中尾 久子: 医療系学生に対する「薬害」教育への取り組み —看護師の立場から— シンポジウムタイトル: 医療系学生に対する「薬害」教育への取り組み, 日本生命倫理学会第 24 回年次大会, 2012 年 10 月 28 日, 京都.
- 土屋美智子, 山川文子, 中尾久子: 緩和ケアにおける倫理的側面に視点をのいた教育の試み, 第 27 回日本がん看護学会学術集会, 2013 年 02 月 16 日, 金沢.
- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, ラハマワティ アニタ, 西坂麻里, 井上修二郎, 竹本真生, 井手友美, 肥後太基, 砂川賢二, 樗木晶子: 遠赤外線下肢加温が慢性心不全患者における循環動態と睡眠に及ぼす影響, 第 51 回日本生体医学工学会大会, 2012 年 05 月 11 日, 福岡.

- 金岡 麻希: 成人間生体肝移植ドナーの周術期におけるレシピエントに対する思いとそれに伴う行動, 日本移植・再生医療看護学会 第8回学術集会, 2012年10月13日, 京都.

f. 学会以外での講演, 発表

- 樗木晶子: 心房細動における心原性脳塞栓症の発症予防, Embolic Conference in 今治, 2012年07月18日, 今治.

著作

a. 単行本

- (単著)樗木晶子:不整脈学 第2章 7. 性差からみた不整脈 (井上博, 村川裕二編), 2012年09月, 南江堂.
 - (共著)樗木晶子:トートラ人体の構造と機能 第4版, 心臓血管系-血液, 大野忠夫, 黒澤美枝子ら編, 2012年12月, 丸善.
 - (共著)川本利恵子, 中畑高子:術前看護:ナースのための最新術前・術後ケア, 2012年08月, 学研
- (単著)中尾久子 第7章 難病患者の医療・ケア-看護職の立場から, シリーズ 生命倫理学 高齢者・難病患者・障害者の医療福祉, 2012年12月, 丸善.
- (共著)中尾久子(第7章担当), 松田正巳, 川原直人, 大林雅之, 鶴若麻理, 折田国夫, 箕岡真子, 伊藤眞理子, 川口有美子, 徳永哲也, 保条成宏 : 第7章 難病患者の医療・ケア-看護職の立場から, シリーズ 生命倫理学 高齢者・難病患者・障害者の医療福祉, 2012年12月, 丸善出版.
 - (共著)川本利恵子, 中畑高子:術前看護(宮園):ナースのための最新術前・術後ケア, 2012年08月, 学研
 - (共著)木下由美子, 川野易子 監修:術前準備(前日~当日):ナースのための術前・術後ケア, 2012年08月, 学研
 - (共著)木下由美子, 富岡 明子, 孫田 千恵, 潮 みゆき:疾患と看護がわかる看護過程 ナーシングプロセス 大腸がん クリニカルスタディ 34(1), 33-55, 2013-01 メヂカルフレンド社, 2013年02月
 - (共著)金岡麻希:周術期における看護師の役割;ナースのための最新術前・術後ケア, 川本利恵子, 中畑高子編, 2012年08月, 学研
 - (共著)潮みゆき:術前オリエンテーション:ナースのための最新術前・術後ケア. 学研メディカル秀潤社. 2012;21-25, 2012年08月
 - (共著)孫田千恵:周術期における看護師の役割(孫田):ナースのための最新術前・術後ケア, 川本利恵子, 中畑高子編, 2012年08月, 学研

b. 総説

- 樗木 晶子: 不整脈治療における抗不整脈薬の果たす役割, 九州薬学会会報, 2012年08月
- 樗木 晶子: 九州大学病院きらめきプロジェクトの取組から見えてきたもの, 福岡県医報「特集女性医師リーダーを育てる-2020.30に向けて-」福岡県医師会発行, 2012年05月
- 樗木晶子:「うちの取組」-ワーク・ライフ・バランスと人材多様性(diversity)の促進を目指して-, 日本工学会男女共同参画委員会第10号, 2012年05月
- 樗木晶子: Editorial 心房細動 一戸惑いの不整脈-, JPN. J. Electrocardiology, 2012年10月, . (公開)樗木晶子: 医学部学生との交流会, 日本女医会誌, 2013年01月
- 樗木晶子: 心房細動における心原性塞栓症の発症予防, VOICE 飯塚医師会報第128号, 2013年01月
- 樗木 晶子: 循環器疾患を有する高齢患者の治療とケア:不整脈, Heart, 2013年03月
- 宮園真美 橋口暢子 澤渡浩之 塩波望美 濱田正美 馬場チエミ 樗木晶子:多疾患を有する虚血性心疾患患者への退院後介入の検討, 日本循環器看護学会誌, Vol.8 No.1.2012年8月, p45-46
- 宮園真美:循環器ナースのための!ガイドライン読解塾~ガイドラインを理解し, 看護支援に活かす~ 心臓突然死の予知と予防法のガイドライン, Heart, 2013年2月p84-94

c. 解説, 書評など なし

受賞

- 川本利恵子,「日本応用心理学会第79回大会優秀大会発表賞」2012年09月
- 中尾久子,「平成24年度福岡県看護協会会長表彰」,福岡県看護協会,2012年06月
- 中尾久子,「日本応用心理学会第79回大会優秀大会発表賞」2012年09月
- 宮園真美,「日本循環器学会コメディカル賞」2013年03月
- 宮園真美,「日本応用心理学会第79回大会優秀大会発表賞」2012年09月
- 木下由美子,「日本応用心理学会第79回大会優秀大会発表賞」2012年09月
- 金岡麻希,「日本応用心理学会第79回大会優秀大会発表賞」2012年09月

報道

- 樗木,アヴァンティ福岡,「私が27歳の頃」,2012年11月.
- 樗木,朝日新聞,「医師を志す君へ」,2013年03月.
- 樗木,あすばる一ん,「理系分野での女性の活躍を考える」,2012年11月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 樗木, University Indonesia, Department of Nursing (Indonesia), 大学・研究所訪問, 2013年03月~2013年03月
- 川本, 高雄医学大学看護学部 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年04月~2012年04月
- 宮園, Hunter-Bellevue School of Nursing The City University of New York, United States of America (Armenia), 大学・研究所訪問, 2013年02月~2013年02月
- 木下, Hunter-Bellevue School of Nursing The City University of New York, United States of America (Armenia), 大学・研究所訪問, 2013年02月~2013年02月

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員

- 王秀紅 王瑞露 楊美賞, 訪問教授, KAOHSIUNG MEDICAL UNIVERSITY, Taiwan

b. 訪問研究者 なし

c. 留学生の受入れ

Anita Rahmawati 博士課程

d. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 樗木, 九州大学ひまわり保育園運営業務委託業者選定委員
- 樗木, 人員管理委員会ワーキンググループ構成委員
- 樗木, 九州大学基金支援助成事業学生支援選考ワーキンググループ
- 樗木, 九州大学男女共同参画室室長
- 樗木, 総長特別補佐
- 川本, 看護教育運営委員長
- 中尾, 教務委員

- 中尾, 全学教育運営会議
- 中尾, 付属図書館医学分館運営委員
- 中尾, 病院地区教育情報委員

2. 部局委員

- 樗木, 遺伝子治療臨床研究審査専門委員
- 中尾, 付属図書館医学分館運営委員
- 中尾, 病院地区教育情報委員
- 中尾, 医療系統合教育研究センター委員
- 中尾, ヒト ES 細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会
- 木下, 高度先端医療センター100 人部会
- 金岡, 先進医療適応評価委員
- 金岡, 看護実践カブロッサム開花プロジェクト 教育研究推進 WG

3. 部門・コース内委員

- 川本, 副部門長
- 川本, 看護学分野長
- 川本, 保健学部門学生支援会運営委員
- 川本, 総務委員
- 川本, 財務委員
- 川本, 実習委員長
- 川本, 研究推進委員
- 川本, 教員業績評価委員
- 川本, 再任審査委員
- 川本, 人事委員
- 川本, 将来計画, 点検・評価委委員
- 川本, 入試実施委員
- 中尾, 教務委員長
- 中尾, 研究推進委員
- 中尾, 財務委員
- 中尾, 施設・環境委員
- 中尾, 将来計画・点検・評価委員
- 中尾, 実習委員
- 中尾, 臨床看護学講座主任
- 宮園, 広報委員
- 宮園, 実習委員
- 木下, 看護教育運営委員
- 木下, 広報委員
- 木下, 実習委員
- 金岡, 施設・環境委員
- 金岡, 看護学分野施設 WG
- 潮, 看護学分野 FD 委員
- 孫田, 地域・国際連携委員会
- 孫田, 卒業研究委員会

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 中尾, 久留米大学医学研究院修士課程, 非常勤講師.
- 中尾, 久留米大学/認定看護師教育センター, 非常勤講師.
- 中尾, 大分県立看護科学大学/看護研究交流センター, 非常勤講師.
- 中尾, 福岡女学院看護大学, 非常勤講師.
- 宮園, 福岡県看護教員養成講習会, 非常勤講師
- 木下, 福岡県看護教員養成講習会, 非常勤講師
- 金岡, 福岡県看護教員養成講習会, 非常勤講師

2. 学協会

- 樗木, 日本心電学会, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, 理事 (指名理事, 選任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州地方会 男女共同参画委員会九州支部会, その他 (副委員長), 国内.
- 樗木, 心臓性急死研究会, その他 (世話人), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会, その他 (九州地区代議員), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本心電学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, その他 (社員), 国内.
- 樗木, 一般社団法人 日本看護研究学会, その他 (学会誌査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会 九州支部, 幹事, 国内.
- 樗木, 日本心電学会, その他 (編集委員), 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会, その他 (査読委員), 国内.
- 樗木, 日本心電学会, その他 (最優秀論文賞選考委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, 査読委員 (専任査読委員), 国内.
- 樗木, Circulation Journal, 査読委員, 国際.
- 樗木, Journal of Cardiology, 査読委員, 国際.
- 樗木, Internal Medicine, 査読委員, 国際.
- 樗木, PACE, 査読委員, 国際.
- 樗木, Clinical and Experimental Hypertension, 査読委員, 国際.
- 川本, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 川本, 日本看護研究学会, 理事, 国内.
- 川本, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 川本, 日本看護協会, その他 (看護師職能委員会副委員長), 国内.
- 川本, 日本看護協会, その他 (看護職能委員), 国内.
- 川本, 日本応用心理学会, 理事, 国内.
- 川本, 日本看護研究学会雑誌, 編集委員, 国内.
- 川本, 応用心理学研究, 編集委員, 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会, その他 (代議員), 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護倫理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会誌, 査読委員, 国内.
- 中尾, 生命倫理, 編集委員, 国内.
- 中尾, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 宮園, 日本循環器看護学会 広報委員, 国内
- 宮園, 精神保健看護学会 学会実行委員, 国内
- 金岡, 日本移植・再生医療看護学会, 理事, 国内.

3. 官界

- 樗木, 日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員, 日本学術振興会.
- 川本, 北九州市情報公開審査会委員
- 中尾, 福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議, 委員長.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 樗木, 福岡県医師会男女共同参画部会委員会委員長
- 樗木, 福岡県女性医師確保対策検討委員会・委員
- 樗木, 福岡市公務災害補償等認定委員会・委員
- 樗木, 福岡県立福岡女子大学の抜本改革に向けた食・健康コース部会委員
- 樗木, 福津市男女共同参画審議会会長
- 樗木, 福岡県医療審議会 委員
- 樗木, 福岡市男女共同参画推進センターアドバイザーの会 委員

- 樗木, 学校心臓検診心電図判読委員

5. 公開講座・公開講演会

- 樗木, 「バイエル薬品工業のイグザレルト錠に関する講演会で「心房細動における心原性脳塞栓症の発症予防」の招待講演を行なった。」, Embolism Conference in Kagawa(バイエル薬品工業主催). 香川県高松市 JR ホテルエレメント高松, セミナー・研修会.
- 樗木, 「塩野義製薬社内研修会にて「もっとしりたい高血圧と心房細動」の講演を行なった。」, 塩野義製薬社内研修会. 福岡市, セミナー・研修会.
- 樗木, 「長崎県病院薬剤師会平成 24 年度第 3 回学術講演会において「心房細動の治療と心原性脳塞栓症の予防」の講演を行なった。」, 長崎県病院薬剤師会, バイエル薬品工業共催. 長崎市, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「久留米大学医学部第二内科同門会・記念講演会において「医療の中の女性医師支援」の招待講演を行なった。」, 久留米大学医学部第二内科同門会. 久留米市, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「一福岡県医師会 学生との交流会—先輩医師と話そう!!において九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター副センター長として「颯爽と働く未来の女性医師のために」の講演を行なった。」, 福岡県医師会主催, 久留米大学医学部共催. 久留米大学筑水会館(久留米市), 講演会・公開討論.
- 樗木, 「Embolism Conference in 今治において「心房細動における心原性脳塞栓症の発症予防」について特別講演を行なった。」, バイエル薬品株式会社. 今治市, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「第 3 回九州大学病院きらめきプロジェクト講演会において特別講演として「九州大学病院きらめきプロジェクトと女性医師支援」について講演を行なった。」, 九州大学病院・福岡県医師会・NPO 法人九州医療システム研究機構・総合メディカル株式会社・周産期ゆりかごネットプロジェクト. 九州大学医学部, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「福岡不整脈治療セミナー in Fukuoka において, 特別講演者として「もっとしりたい高血圧と心房細動」をテーマに講演を行なった. 不整脈の研究や症例などについて九州大学循環器内科学の他の講演者とともに情報交換を図った。」, 第一三共株式会社 / ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社. 福岡市, セミナー・研修会.
- 樗木, 「佐賀県病院薬剤師会学術研修会において, 特別講演者として「心房細動における新しい血液抗凝固療法」をテーマに講演を行なった. 薬剤師を対象として他の講演者とともに情報交換を図った。」, 佐賀県病院薬剤師会・バイエル薬品株式会社. 佐賀市, セミナー・研修会.
- 樗木, 「飯塚医師会学術講演会において, 特別講演者として「心房細動における心原性脳塞栓症の発症予防」をテーマに講演を行なった. 講演後も参加した飯塚市の医師を対象として心房細動における心原性脳塞栓症の予防について新血液抗凝固薬などの意見交換会を行なった。」, 飯塚医師会・バイエル薬品株式会社. 飯塚市, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「特別講演者として「心原性塞栓症と新しい血液抗凝固薬」をテーマに講演を行なった。」, バイエル薬品株式会社. 長崎県諫早市, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「一般市民を対象とした公開医療講座において「健康長寿」のコツ～健やかに老いるために」をテーマに講演を行なう。」, 就業の安全と健康を考える会. 福岡市, 公開講座.
- 樗木, 「洞薬会 12 月度学術講演会において, 「心原性塞栓症に対する新しい抗凝固療法」について特別講演を行なった。」, 洞薬会(北九州地区勤務薬剤師会)とバイエル薬品株式会社共催. 北九州市小倉北区, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「ブリストル・マイヤーズ株式会社社内研修会において「循環器治療の実際～不整脈治療(心房細動)の抗凝固療法に関して～」の講演を行なった。」, ブリストル・マイヤーズ株式会社. 福岡市, セミナー・研修会.
- 樗木, 「福岡県医師会主催の第 1 回男女共同参画連絡会議において, 福岡県医師会男女共同参画部会委員長として「福岡県女性医師確保対策検討委員会アンケート調査結果から」をテーマに講演を行なった. 講演後も参加された福岡県医師会理事などと意見交換会ならびに交流会を行なった。」, 福岡県医師会. 福岡県医師会館, 講演会・公開討論.
- 樗木, 日医生涯教育協力講座 心房細動と脳梗塞「心原性脳梗塞の予防と最新治療」, 日本医師会・福岡県医師会・日本パーリンガーインゲルハイム株式会社共催. 福岡県医師会館, セミナー・研修会.

- 樗木,「難病講演会「特発性拡張型心筋症について」,福岡市南区保健福祉センター.福岡市,講演会・公開討論.
- 樗木,還暦前後ストレスにご用心「心臓編」,九州大学昭和54年卒業同窓会.福岡市,講演会・公開討論.
- 中尾,「医療現場で生じる倫理的問題とその対応」,周東総合病院.山口県柳井市,セミナー・研修会.
- 中尾,「医療従事者に必要な倫理観と患者の権利擁護」,江津総合病院.島根県江津市,セミナー・研修会.
- 中尾,「手術室での看護倫理についてー求められる倫理観と遭遇する問題について考えてみましょうー」,日本手術看護学会九州地区研修会.福岡市,セミナー・研修会.
- 中尾,「事例を通して考える臨床倫理」,久留米大学病院・医療センター看護部.福岡県久留米市,セミナー・研修会.
- 中尾,「看護現場における倫理的思考と実践」,山口県看護協会,セミナー・研修会.
- 中尾,「看護倫理」,関門医療センター看護部.山口県下関市,セミナー・研修会.
- 富岡,「家族支援」,産業医科大学実務研修センター,eラーニング公開講座.

6. 初等中等教育への貢献

- 樗木,福岡県立春日高等学校における出前授業「医療人としての生きがい」,福岡県立春日高等学校.講演・セミナー等
- 樗木,福岡市立和白中学校における出前セミナー「中学生のためのキャリアデザイン啓発事業」,福岡市立和白中学校.講演・セミナー等
- 川本,「先端医療と看護」,福岡県立東筑高等学校.講演・セミナー等
- 宮園,福岡県立春日高等学校における出前授業「医療人としての生きがい」,福岡県立春日高等学校.講演・セミナー等

看護学分野

《発達看護》

教授	加来 恒壽
准教授	新小田 春美
准教授	濱田 裕子
准教授	木下 義晶
講師	野口 ゆかり
助教	仲道 由紀
助教	藤田 紋佳
助教	末次 美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

加来 恒壽		
先端医療論(がん病態・治療論)		前期
健康支援ケアシステム論 I		前期
発達看護学特論 II		後期
健康支援ケアシステム論 II		後期
新小田春美		
保健学研究論(分担)		前期
母子発達看護特論 I(分担)		前期
濱田裕子		
小児家族看護学		後期
母子発達ケアシステム論 II(分担)		後期
母子発達ケアシステム論 I(分担)		前期
発達看護学特論 III(分担)		前期
感性コミュニケーション概論(分担)		前期
木下義晶		
保健医療とソーシャルサポート(分担)		後期
発達看護学特論 I(分担)		前期
先端医療論(がん病態・治療論)(分担)		前期
野口ゆかり		
発達看護学特論 II(分担)		後期
アジアにおける保健学(分担)		通年
仲道由紀		
発達看護学特論 II(分担)		後期
藤田紋佳		
発達看護特論 I(分担)		前期
末次美子		
発達看護学特論 III(分担)		通年

1. 大学院実験・実習

2. 大学院演習

加来恒壽

健康支援システム論Ⅱ 通年

看護学特別研究 通年

保健学特別研究 通年

新小田春美

母子発達看護論Ⅱ(分担) 前期

母子発達ケアシステム論(分担) 前期

看護学特別研究 通年

濱田裕子

小児・家族コミュニケーション演習 前期

ユーザー感性学 PTL(2) 前期

ユーザー感性学 PTL(5) 後期

母子発達ケアシステム論Ⅱ(分担) 後期

発達看護学特論Ⅲ(分担) 前期

看護学特別研究 通年

木下義晶

保健医療とソーシャルサポート(分担) 後期

発達看護学特論Ⅰ(分担) 前期

3. 大学院修士課程修了者

白水雅子 明暗環境における早産児の行動学的・生理学的反応の分析
ー活動に基づいた睡眠覚醒評価を用いてー

安永朱里 新生児訪問指導事業の活用を高めるための専門職による支援および訪問体制の検討

廣渡加奈子 在宅で医療的ケアを要する子どもを持つ両親の養育体験-幼児期の“小児緩和ケア対象児”に焦点をあてて-

4. 大学院博士課程修了者

中島充代 日本の乳がん女性の情報検索経験と意思決定役割

5. 学部講義

加来恒壽

泌尿器・生殖器(分担) 前期

母性疾病論 前期

母性看護学Ⅱ 後期

臨床医学論Ⅰ 後期

新小田春美

母性看護学Ⅰ(分担) 前期

母性看護援助論(分担) 後期

母性疾病論(分担) 前期

社会学(分担) 後期

濱田裕子		
小児看護学総論		後期
小児看護援助論(分担)		前期
卒業研究(分担)		通年
木下義晶		
小児疾病論Ⅱ		前期
小児疾病論Ⅰ		前期
医学総論(分担)		前期
野口ゆかり		
卒業研究(分担)		通年
全学教育少人数セミナー		後期
助産技術論(分担)		前期
周産期健康教育論(分担)		前期
助産過程論(分担)		前期
基礎助産学(分担)		前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)		前期
医療法律学(分担)		前期
助産管理(分担)		後期
助産診断・技術学(分担)		前期
助産学概論(分担)		前期
地域母子保健(分担)		前期
仲道由紀		
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)		前期
助産診断・技術学(分担)		前期
助産過程論(分担)		前期
基礎助産学(分担)		前期
地域母子保健(分担)		前期
藤田紋佳		
コアセミナー(分担)		前期
小児看護援助論(分担)		前期
末次美子		
母性看護援助論(分担)		後期
母性看護学Ⅰ(分担)		前期
母性看護学Ⅱ(分担)		後期

6. 学部の実験・実習・演習

新小田春美		
卒業研究(分担)		後期
母性看護学実習(分担)		通年
看護学総合実習(分担)		後期
母性看護学演習(分担)		後期
濱田裕子		
小児看護学実習(分担)		通年
卒業研究(分担)		通年

総合実習(分担)	
木下義晶	
小児看護学実習(分担)	後期
卒業研究(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
野口ゆかり	
助産学実習(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
全学教育少人数セミナー	後期
総合実習(分担)	前期
助産技術論(分担)	前期
周産期健康教育論(分担)	前期
助産過程論(分担)	前期
仲道由紀	
助産学実習(分担)	前期
総合実習(分担)	前期
助産技術論(分担)	前期
周産期健康教育論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
藤田紋佳	
卒業研究(分担)	通年
小児看護学実習(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
末次美子	
卒業研究(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
母性看護学実習(分担)	通年
母性看護援助論(分担)	後期

7. 卒業論文作成者

三木尚子	乳幼児の就寝形態の国際比較－添い寝に焦点を当てて－
松川葵	夜泣きの原因と対処行動－夜泣きは防止できるのか－
岩下琴音	先天奇形・染色体異常により予後不良と診断された子どもを持つ母親への支援～母親の実際の体験に焦点を当てて～
榎真奈	小児がんの子どもに対する病気説明
島崎可奈子	小児がんで子どもを亡くした親へのグリーフケア-父親への体験に焦点を当てて-
道脇彩夏	慢性疾患患児の療育行動の管理主体が親から子へ移行する時期における支援
高尾愛	母乳育児を支える父親への保健指導に関する検討
木原怜愛	思春期における男女の性意識・性行動の差にアプローチするための性教育のあり方についての考察
田中見友綺	出産の満足度を高める取り組みのひとつとしてのバースプランの効果的な活用
西ひとみ	思春期における月経痛の対処法とその支援

荒木千恵	無痛分娩を選択した女性の出産体験満足と対児感情に影響を及ぼす因子
佐々木瑛里	不妊治療後に流産・死産を経験した女性の心理と看護援助
庵原由貴	思春期の小児がん患児が主体的に治療に参加するための看護—インフォームド・アセントの観点から—
房崎青生	病気を持つ子どものきょうだいが望む支援
牛島伶奈	排便障害を抱える小児の成長発達過程における QOL
塩崎紀代	在宅療養へ移行する児への NICU/GCU 看護師による退院支援の現状
藤原ゆり	手術に関するプレパレーションの効果
大西夏未	母親の養育態度に影響を与える要因と支援の検討
大前耀子	死産を経験した母親の心理過程
田中はるか	妊娠期の母親役割獲得過程に影響を与える因子と支援について
平塚桜	通常学級に在籍する高機能広汎性発達障害児の困難と支援の現状

8. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	婦人科悪性腫瘍における RCAS1 の発現とその意義	加来
2	婦人科悪性腫瘍における血管新生の臨床的意義	加来
3	婦人科悪性腫瘍における細胞学的研究	加来
4	婦人科悪性腫瘍における臨床病理学的研究	加来
5	新生児の睡眠・覚醒リズムの個人発達と母子交流に関する継続研究	新小田
6	こころの健康科学事業「眠育」の地域啓発	新小田
7	「難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチ-日本型子どもホスピスの探求-」	濱田
8	在宅療養児のトータルケアの視点からの場の提案～地域に根ざした子どもホスピスの可能性を探る～	濱田
9	小児悪性固形腫瘍の oncogenesis における β カテニン遺伝子および WT1 遺伝子の関与	木下
10	小児疾患に対する QOL を考慮した外科治療に関する研究	木下
11	妊娠・分娩・産褥期の母児の健康支援・健康教育に関する研究	野口
12	思春期における健康支援・健康教育に関する研究	野口
13	「祖父母となること」の発達に関する研究	仲道
14	三世代家族における次世代育成支援に関する研究	仲道
15	小児がんの子どもと家族の QOL に関する研究	藤田
16	難病のこどもの居場所に関する研究	藤田
17	生体肝移植を受けた子どもと家族の QOL に関する研究	藤田
18	女性の母親役割獲得過程に関する研究	末次
19	母子相互作用に関する研究	末次

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

加来恒壽

- 「基盤研究(C)」子宮頸部扁平上皮癌およびLSIL・HSIL・ASCの核クロマチン分布の定量的解析(代表)
- 「基盤研究(C)」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究(分担)

新小田春美

- 「基盤研究(C)」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究(代表)
- 「挑戦的萌芽研究」睡眠・覚醒リズムと身体機能・能力の関係を解明し高齢者を健康的日常活動へと導く研究(分担)

濱田裕子

- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチー日本型子どもホスピスの探求ー(代表)

木下義晶

- 「基盤研究(C)」小児固形悪性腫瘍におけるGLYPICAN3をターゲットとした分子標的治療(代表)
- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチー日本型子どもホスピスの探求ー(分担)
- 「基盤研究(C)」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究(分担)

仲道由紀

- 「若手研究(B)」養育期の家族における家族機能と祖父母の心理的発達に関する縦断研究(代表)

藤田紋佳

- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチー日本型子どもホスピスの探求ー(分担)

「若手研究(B)」生体肝移植を受けた子どもと家族のQOLを高める看護援助に関する研究(代表)

末次美子

- 「若手研究(B)」低出生体重児と母親の関係性発達支援プログラムの開発(代表)
- 「基盤研究(C)」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究(分担)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

加来恒壽

- 「臨床病態医学研究所 地域医療における細胞診断の意義」

濱田裕子

- 「勇美記念財団 在宅医療助成 在宅療養児のトータルケアの視点からの場の提案～地域に根ざした子どもホスピスの可能性を探る～」

6. 受託研究員・研修員の受入れ ※※システムに対応項目なし※※

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Yoshihiro Ohishi, Shuichi Kurihara, Tadahisa Takeuchi, Murasaki Aman, Tsunehisa Kaku, Hiroaki Kobayashi, Norio Wake, Yoshinao Oda: E-cadherin nuclear staining is useful for the diagnosis of ovarian adult granulosa cell tumor, Human Pathology, 2012年06月.
- Mitsuyo Nakashima, Syoji Kuroki, Harumi Shinkoda, Yoshiko Suetsugu, Kazuo Shimada and Tsunehisa Kaku: Information-Seeking Experiences and Decision-Making Roles of Japanese Women with Breast Cancer, Fukuoka Acta Med, 2012年06月.
- Yoshihiro Ohishi, Shuichi Kurihara, Murasaki Aman, Tadahisa Takeuchi, Hiroko Imamura, Tsunehisa Kaku, Hiroaki Kobayashi, Norio Wake, Yoshinao Oda: "Piling up" clea cells in müllerian-type mucinous and mixed cell-type borderline tumor do not represent concomitant clear cell neoplasms, Human Pathology, 2012年10月.
- Hagiwara Tomoko, Tsunehisa Kaku, Hiroaki Kobayashi, Norio Wake, Saito Toshiaki: Well-Differentiated Villoglandular Adenocarcinoma of the Uterine Cervix: Assessment of Cytological Features by Histological Subtypes, ACTA CYTOLOGICA, 2013年01月.
- 永田真理子, 仲道由紀, 野口ゆかり, 平田伸子: 産後1ヵ月時・4ヵ月時点の母親の育児生活肯定的感情に影響する要因, 母性衛生, 2012年07月.
- 藤田 紋佳, 濱田裕子: NICU・GCUにおける小児看護学実習の取り組み, 九州小児看護教育研究会誌, 2012年12月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kinoshita Y, Yosue R, Souzaki R, Kohashi K, Oda Y, Taguchi T. Blastemal predominant type of Wilms tumor has a poor biology compared with other conventional types: a report from a single institution. 7th SIOP ASIA, April 21-24, Yogyakarta, Indonesia
- Kinoshita Y, Suminoe A, Inada H, Yagi M, Yanai F, Zaizen Y, Nishi M, Inomata Y, Kawakami K, Matsufuji H, Suenobu S, Handa N, Kohashi K, Hara T, Oda Y, Taguchi T New strategy is necessary for blastemal predominant type of Wilms tumor: a report from the Study Group for Pediatric Solid Tumors in the Kyushu Area, Japan. 45th PAPS, June 4-6, Shanghai, China

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

濱田裕子, 京極新治: 在宅療養児のトータルケアの視点からの場の提案～地域に根ざした子どもホスピスの可能性を探る～2011年度勇美記念財団在宅医療助成 報告書, 2012年8月31日

e. 国内学会での講演, 発表

- 矢幡秀昭, 麻生桂愛, 八木裕史, 井上貴史, 兼城英輔, 河野善明, 奥川馨, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫: 3mm 以内の頸部間質浸潤に留まる子宮頸部腺癌 I b1 期の術式は単純子宮全摘出術で十分か, 第 64 回日本産婦人科学会学術講演会, 2012 年 04 月 15 日, 神戸.
- 安武伸子, 河野善明, 井上貴史, 兼城英輔, 奥川馨, 矢幡秀昭, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫: 卵巣甲状腺腫は術前に画像診断可能か?, 第 69 回九州連合産科婦人科学会, 2012 年 05 月 13 日, 鹿児島.
- 遠峯由希恵, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 杉島節夫, 小林裕明, 小田義直, 加来恒壽: 子宮内膜癌症例に出現した扁平上皮への分化を示した細胞の細胞像と病理学的所見の検討, 第 53 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2012 年 06 月 02 日, 千葉.
- 小林裕明, 長山利奈, 井上貴史, 兼城英輔, 河野善明, 奥川馨, 矢幡秀昭, 園田顕三, 加来恒壽, 和氣徳夫: 術前と術中の情報からリンパ節郭清を省略できる子宮体癌症例をどの程度抽出できるかに関する検討, 第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2012 年 07 月 19 日, 東京.
- 安武伸子, 河野善明, 今村紘子, 井上貴史, 兼城英輔, 奥川馨, 矢幡秀昭, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫, 大石善丈, 小田義直: 広範な扁平上皮への分化を伴った子宮留膿症合併子宮体癌の一例, 第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2012 年 07 月 19 日, 東京.
- 萩原聖子, 園田隆徳, 中野龍治, 加来恒壽, 松隈敬太: 境界悪性傍卵巣腫瘍の 3 例, 第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2012 年 07 月 20 日, 東京.
- 加来 恒壽, 村上京子, 村上俊雄: 当院の乳がん検診の分析と乳癌ハイリスク因子の検討, 2012 年 10 月 14 日, 山形.
- 渡邊 壽美子, 加来 恒壽, 田宮貞史, 杉島 節夫, 大喜 雅文, 坂梨史典, 山口将太, 鷺山和幸, 金城 満, 岩坂 剛: 膀胱注入療法に伴う核クロマチン分布の経時的変化—RD 療法と PMC 分類の比較—, 第 53 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2012 年 06 月 03 日, 千葉.
- 渡邊 壽美子, 加来 恒壽, 田宮貞史, 杉島 節夫, 大喜 雅文, 坂梨史典, 山口将太, 鷺山和幸, 金城 満, 岩坂 剛: 膀胱注入療法に伴う核クロマチン分布の経時的変化—RD 療法と PMC 分類の比較—, 第 53 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2012 年 06 月 03 日, 千葉.
- 新小田 春美, 末次 美子, 加来 恒壽: 母子の睡眠・生活リズム調査と睡眠健康教室による「眠育」の地域実践活動, 第 53 回日本母性衛生学会学術集会, 2012 年 11 月 16 日, 福岡.
- 高野政志, 加来 恒壽: 中央病理判定に基づく臨床研究: 卵巣, 第 51 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2012 年 11 月 09 日, 新潟.
- 木下義晶, 家入里志, 田口智章: 総排泄腔, 総排泄腔外反症の長期経過例における問題点. 第 111 回日本外科学会, 2012 年 4 月 12 日, 千葉.
- 木下義晶, 手柴理沙, 永田公二, 濱田裕子, 京極新治, 田口智章: 小児外科医がかかわる小児在宅医療. 第 49 回日本小児外科学会, 2012 年 5 月 14 日, 横浜.
- 木下義晶, 宗崎良太, 林田真, 田口智章: VUR 症例における DUR の検討. 日本小児泌尿器科学会, 2012 年 7 月 4 日, 岡山.
- 木下義晶, 手柴理沙, 江角元史郎, 永田公二, 田口智章: 当科における腹壁破裂の治療戦略. 日本周産期新生児医学会, 2012 年 7 月 7 日, 大宮.
- 木下義晶, 宗崎良太, 古賀友紀, 住江愛子, 三好きな, 孝橋賢一, 小田義直, 原寿郎, 田口智章: 小児腎腫瘍に対する術前化学療法 of 検討, 第 54 回日本小児血液・がん学会, 2012 年 11 月 30 日, 横浜.

- 木下義晶, 宗崎良太, 古賀友紀, 住江愛子, 三好きな, 孝橋賢一, 小田義直, 原寿郎, 田口智章: JWITS 設立後の当施設における MRTK5 例の検討, JWITS 研究会, 2013 年 1 月 26 日, 東京.
- 藤田 紋佳, 濱田 裕子, 木下 義晶: NICU/GCU における小児看護学実習の取り組み, 第 13 回九州・沖縄小児看護教育研究会, 2012 年 08 月 17 日, 福岡.
- 野口 ゆかり, 仲道 由紀, 中村登志子, 森永沙織, 白水綾, 平田伸子: 母体(非妊時・分娩時)体格と分娩所要時間, 分娩時出血量および児出生時体重との関連, 第 53 回日本母性衛生学会学術集会, 2012 年 11 月 16 日, 福岡.
- 仲道由紀, 齊藤ひさ子, 平田伸子, 野口ゆかり: 幼児期の孫をもつ祖父母の心理的発達に影響を及ぼす要因, 第 26 回日本助産学会学術集会, 2012 年 05 月 02 日, 札幌.
- 仲道由紀, 野口ゆかり, 平田伸子: 助産学実習における分娩介助技術到達度と課題—分娩介助評価得点からの分析—, 第 53 回日本母性衛生学会学術集会, 2012 年 11 月 17 日, 福岡.

f. 学会以外での講演, 発表

- 新小田 春美, 末次美子, 加来恒壽, 樗木晶子: 九州大学 100 周年研究発表記念事業『眠育 in 九州大学100年まつり』, 眠育シンポジウムのビデオ上映・眠育セミナー・眠育教材の紹介・育児相談, 2012 年 05 月 13 日, 福岡.
- 濱田裕子: 福岡子どもホスピスプロジェクト出展: 病気の子どもの生活支援☆きり☆博覧会; 日本育療学会小規模研修 in 関西, 2013 年 2 月 9 日, 大阪.

著作

a. 単行本

- 野島佐由美編 濱田裕子他 17 名: (共著) 家族看護選書第 3 巻 第 2 章状況や疾患に応じた子どもと家族へのケア-小児リハビリテーションにおける家族看護-, 第 3 章 障害をもつ子どもと家族へのケア-障害のある子どもをもつ家族のつながり-父親役割に焦点を当てて-, 2012 年 05 月, 日本看護協会出版会.
- 濱田裕子, 幸松美智子編著: 藤田 紋佳, 濱田 裕子, 木下 義晶, 幸松美智子, 三国久美, 中河亜希, 益守かつき, 日沼千尋, 宗村弥生, 田中克枝, 川島美保, 廣渡加奈子, 鈴木千恵子, 三宅一代: (共著) 改訂第 2 版 場面でまなぶ小児看護学, 2012 年 10 月, メディカ出版.
- 新小田 春美, 神山 潤, 加藤 則子, 内村 直尚, 加来 恒壽, 樗木 晶子, 末次 美子, 西岡 和男, 浅見 恵梨子, 大久保 一郎, 松本 一弥, 南部 由美子: 財団法人 精神・神経科学振興財団編_こころの健康と病気, 夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的観察と「眠育」介入, 45-68, 2013 年 3 月.

b. 総説

- 新小田 春美: お母さんに教えてあげたい 眠育ですくすく子育て 第 1 回 睡眠による生体リズムの仕組みを知ろう, PERINATAL CARE, 2012 年 05 月.
- 新小田 春美: お母さんに教えてあげたい 眠育ですくすく子育て 第 2 回 成長・発達による睡眠・覚醒リズムの特徴を知ろう, PERINATAL CARE, 2012 年 06 月.
- 新小田 春美: お母さんに教えてあげたい 眠育ですくすく子育て 第 3 回 妊娠期から産後の睡眠事情を知ろう, PERINATAL CARE, 2012 年 07 月.
- 新小田 春美: お母さんに教えてあげたい 眠育ですくすく子育て 第 4 回 親子の睡眠・生活習慣から見た, 乳幼児の心身発達を考えよう, PERINATAL CARE, 2012 年 08 月.
- 新小田 春美, 池田 洋子, 境 トモエ, 福本 弘子: お母さんに教えてあげたい 眠育ですくすく子育て 第 5 回 乳幼児の成長発達から見た睡眠習慣の推移: 調査からわかった母親の声, PERINATAL CARE, 2012 年 09 月.
- 末次美子, 新小田 春美: お母さんに教えてあげたい 眠育ですくすく子育て 第 6 回 親子で取り組む眠育活動, PERINATAL CARE, 2012 年 10 月.

- 新小田 春美, 坂口 翠: お母さんに教えてあげたい 眠育ですくすく子育て 第7回 災害時の睡眠トラブルについて考えよう, PERINATAL CARE, 2012年11月.
- 新小田 春美, 池田 洋子, 境 トモエ, 福本 弘子: お母さんに教えてあげたい 眠育ですくすく子育て 最終回 交代制勤務, 時差ぼけの睡眠事情から看護職の健康を考えよう, PERINATAL CARE, 2012年12月.
- 藤田 紋佳, 中村伸枝, 佐藤奈保: 肝移植後の子どもと家族の生活の質(QOL)評価に関する文献検討, 日本小児看護学会誌 22(1), 2013年03月.

c. 解説, 書評など

- 加来恒壽, 渡邊壽美子, 大石善丈: 子宮体がん 生検病理診断, 日本臨床 70 巻増刊号, 2012年06月.
- 加来恒壽, 渡邊壽美子, 大石善丈: 卵巣癌の病理組織学, 日本臨床 70 巻増刊号, 2012年06月.

受賞 なし

報道

- 加来, KBC 九州朝日放送「とっっても健康ランド」, 「子宮頸がん」, 2012年07月.
- 濱田, 朝日新聞, 「H24.5.5, こどもホスピスプロジェクトの一環として, 病気や障がいのある子どもと家族を招いて, こどもの日にフランスのクリニックラウンを招いてのイベントを企画運営し, 病気や障害があっても豊かに育ちあえる社会を目指しているプロジェクトの紹介と活動がとりあげられた。」, 2012年05月.
- 濱田, 朝日新聞, 西日本新聞, 福岡子どもホスピスプロジェクトが難病の子どもとご家族を対象にしたイベントを海の中道マリンワールドと共催した, 様子がとりあげられた。2012年09月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし

2. 受託研究

- 加来, 地域医療における細胞診断の意義, 臨床病態医学研究所, 2007年01月～2013年04月.

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 濱田, SIOP(United Kingdom), 国際会議, 2012年09月～2012年09月(2週間未満),
- 木下, 高雄医学大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2013年03月～2013年03月(2週間未満)
- 野口, Pyeongtaek University(Korea), 国際会議, 2012年10月～2012年10月(2週間未満).
- 藤田, 高雄医学大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2013年03月～2013年03月(2週間未満)

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員

- 稲田池田美穂ナージャ, Brazil.

b. 訪問研究者

- 稲田池田美穂ナージャ, Brazil.

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 加来, 学生委員会委員.
- 加来, 学生生活・修学相談室相談員.
- 新小田, 臨床研究センター業務支援(プロトコール審査委員).
- 濱田, 情報環境利用委員.

2. 部局委員

- 新小田, 馬出地区安全・衛生委員会.
- 濱田, 教務委員.
- 野口, 助産師教育教務主任(平成24年度学内助産師教育管理担当・平成24年度全国国立大学法人助産師教育専任教員会議国立大学法人会議出席・平成24年度全国助産師教育協議会総会・学術集会出席).

3. 部門・コース内委員

- 加来, 研究推進委員会委員.
- 新小田, 臨床実習指導者会議 保健学科代表委員
- 新小田, 九州大学病院臨床指導者研修会講師
- 濱田, 卒業研究実行委員会委員長.
- 野口, 実習委員会委員.
- 野口, 看護学分野カリキュラムWG.
- 仲道, 卒業研究実行委員会委員.
- 藤田, 施設環境委員会看護学分野ワーキンググループ.
- 藤田, 実習委員会委員.
- 藤田, 学生委員会委員.
- 末次, 地域国際連携推進委員.
- 末次, 看護実践カブロッサム開花プロジェクト 運営実行委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 加来, 佐賀大学, 非常勤講師.
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック 実習指導者養成講習会, 非常勤講師.
- 濱田, 産業医科大学・産業保健学部, 非常勤講師
- 木下, 原看護専門学校, 非常勤講師
- 仲道, 香蘭女子短期大学 ライフプランニング総合学科, 非常勤講師.
- 仲道, 平成24年度 福岡県看護協会 助産師職能研修 助産師実習指導者コース 実習指導の実際, 非常勤講師.
- 藤田, 福岡医療福祉大学, 非常勤講師.

2. 学協会

- 加来, 日本臨床細胞学会, 細胞診専門医委員会委員, 学術団体.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 教育委員会委員, 学術団体.
- 加来, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本婦人科腫瘍学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会九州連合会, 理事(編集委員長), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 福岡県支部長, 国内.
- 加来, 日本婦人科腫瘍学会, 理事, 国内.
- 加来, 福岡産科婦人科学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本母性衛生学会, 評議員, 国内.

- 加来, 日本臨床細胞学会, 細胞診専門医委員会委員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 教育委員会委員, 国内.
- 加来, 日本細胞診断学推進協会, 代議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 国際交流委員担当理事, 国内.
- 加来, International Journal of Clinical Oncology, 編集委員, 国際.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 日本助産学会, 代議員, 国内.
- 新小田, 日本母性衛生学会, 評議員, 国内.
- 新小田, 日本助産学会, 査読, 国内.
- 新小田, 日本応用心理学会, 査読, 国内.
- 新小田, 日本母性衛生学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 日本看護教育学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 福岡県看護連盟, 地区(福岡県 5 支部)施設代表, 国内.
- 濱田, 日本家族看護学会, 評議員, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, 査読委員, 国内.
- 濱田, 高知女子大学看護学会, 査読委員, 国内.
- 木下, 日本小児泌尿器科学会, 評議員, 国内.
- 木下, 日本小児外科学会, 運営委員(教育委員), 国内.
- 野口, 日本助産学会, 査読委員, 国内.
- 野口, 九州大学助産師同窓会, 役員, 国内.
- 野口, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 仲道, 九州大学助産師同窓会 役員, 国内.
- 仲道, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 藤田, 九州大学助産師同窓会 役員, 国内.
- 藤田, 日本外来小児科学会第 23 回学術集会, 実行委員, 国内.
- 末次, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.

3. 官界

- 加来, 「福岡県社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員」, 社会保険診療報酬支払基金福岡支部.
- 新小田, 日本看護協会, 社会経済対策委員, 国内.
- 新小田, 福岡県助産師会, 広報委員 ホームページ担当.
- 新小田, 福岡県看護協会, 社会経済福祉委員会, 国内.
- 野口, 福岡市助産師会, 副会長, 国内.
- 野口, 福岡県看護協会, 推薦委員, 国内.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 加来, 第 53 回日本母性衛生学会 プログラム企画員
- 新小田, 第 53 回日本母性衛生学会 プログラム委員
- 新小田, 平成 24 年度福岡県看護協会 助産師職能研修 助産師臨床実習指導者研修会講師
- 新小田, 平成 24 年度九州大学病院 臨床指導者研修会講師
- 濱田, 「九州大学病院 小児医療センター看護師, NICU 看護師, GCU 看護師への研究指導」
- 野口, 「妊婦体験学習コーナー担当, 赤ちゃん人形抱っこ体験, 育児, 女性よろず相談」, ハートフルフェスタ福岡実行委員会, 福岡市助産師会, (技術指導).
- 野口, 「九州大学助産師同窓会みのり会 総会・特別講演会の企画・運営・庶務担当 平成 24 年度同窓会特別講演テーマ:「産科医療補償制度」, 九州大学助産師同窓会みのり会, 講演会企画運営担当.
- 野口, 「福岡市助産師会 研修会企画運営担当・「いま, 後輩助産師に伝えたいこと」・運営・管理・ニュースレターの作成」, 福岡市助産師会. 福岡市, セミナー・研修会.

- 野口, 平成 24 年度エコチル調査九州大学サブユニットセンター関係者として環境発達医学研究センター運営委員会およびエコチル調査九州大学会議運営委員会に参加. 2012.4.26
- 仲道, 平成 24 年度公益社団法人日本助産師会 九州・沖縄地区研修会 実行委員, 2012.10.26-27
- 藤田, 「九州大学病院 小児医療センター看護師, NICU 看護師, GCU 看護師への研究指導」

5. 公開講座・公開講演会

- 野口, 「糸島市男女共同参画センターラポール 企画大人女史のための応援講座講演 これからの私のプロデュース担当 第 1 回 「リプロダクティブヘルス/ライツ女性のココロとカラダを考える」, 糸島市男女共同参画センターラポール, 講演会 2013.2.26.

6. 初等中等教育への貢献

- 加来, 「子宮頸がん予防-HPV ワクチンと検診」, 長崎県立佐世保北高校. 講演ミナー等.
- 仲道, いのちの授業, 「ぼくたち, わたしたちはどうやって生まれてきたんだろう」, 杉の子保育園, 2013.3.

看護学分野

《地域・精神看護》

教授	鳩野 洋子
教授	小野 ミツ
講師	藤野 成美
講師	寺岡 佐和
講師	前野 有佳里
助教	木村 一絵
助教	木原 深雪
助教	重松 由佳子

1. 教育活動

1. 大学院講義

鳩野洋子		
看護学研究方法論Ⅱ(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅰ(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
小野ミツ		
ヘルスサイエンス論(分担)		前期
アジアにおける保健学(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅰ(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
前野有佳里		
アジアにおける保健学(分担)		前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

鳩野洋子		
保健学特別研究(分担)		通年
小野ミツ		
保健学特別研究(分担)		通年

4. 大学院修士課程修了者 なし

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

鳩野洋子		
看護研究入門(分担)		前期
公衆衛生学(分担)		前期
健康教育論(分担)		前期
疫学・保健統計(分担)		後期
地域看護学概論(分担)		後期

小野ミツ		
グループ組織化論(分担)		前期
健康と社会(分担)		後期
健康政策論		後期
寺岡佐和		
在宅看護概論		前期
地域看護学概論(分担)		後期
産業看護論	カリキュラム変更による科目の廃止に伴い、 旧カリキュラムの在學生4名を対象に講義	
藤野成美		
精神看護学概論(分担)		前期
地域精神保健学(分担)		前期
健康と社会(分担)		後期
精神看護援助論(分担)		後期
前野有佳里		
保健福祉行政論(分担)		前期
健康教育論(分担)		前期
地域看護学概論(分担)		後期
木村一絵		
グループ組織化論(分担)		前期
健康と社会(分担)		後期
重松由佳子		
健康教育論(分担)		前期
健康と社会(分担)		後期
地域看護学概論(分担)		後期

7. 学部の実験・実習・演習

鳩野洋子		
地域看護診断論(分担)		前期
地域看護学実習(分担)		通年
卒業研究(分担)		通年
小野ミツ		
コアセミナー(分担)		前期
地域看護技術学(分担)		前期
在宅看護技術論(分担)		後期
在宅看護学実習(分担)		通年
総合実習(分担)		前期
卒業研究(分担)		通年
寺岡佐和		
地域看護技術学(分担)		前期
在宅看護技術論(分担)		後期
在宅看護学実習(分担)		通年
総合実習(分担)		前期
卒業研究(分担)		通年

藤野成美	
精神看護学実習	通年
総合実習 (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
前野有佳里	
地域看護学実習(分担)	通年
総合実習 (分担)	前期
地域看護技術学(分担)	前期
地域看護診断論(分担)	前期
コアセミナー (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
木村一絵	
地域看護技術学(分担)	前期
在宅看護技術論(分担)	後期
在宅看護学実習(分担)	通年
総合実習 (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
重松由佳子	
地域看護診断論(分担)	前期
地域看護学実習(分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年

8. 卒業論文作成者

金嶋杏子	介護認定度の悪化に関連する要因
吉永美左都	認知症高齢者へのバリデーションによる効果についての研究
今泉友理佳	認知症高齢者に対する能動的音楽療法に期待される効果と評価方法の検討
河野亜衣紗	認知症高齢者を在宅介護する家族介護者への看護職の支援方法の検討—介護負担感要因と介護継続要因から—
藤澤明日香	認知症患者の自宅退院を阻害する要因の検討
松田優美	認知症高齢者の在宅療養を破たんさせる要因について—家族介護者に関する文献検討から—
三浦美希	在宅で生活をする認知症高齢者を持つ家族の介護負担感を軽減する介入
宮野原美恵	高齢者の口腔乾燥に焦点を当てた評価項目の検討—適切な口腔ケアに向けて—
大賀祥子	新人看護師のリアリティショックの要因に関する検討—リアリティショックにつながる具体的事象に焦点をあてて—
木藤千夏	非定形うつ病患者の家族が抱えるストレスについての検討—Hill の ABCX モデルを用いての分析—
久貫希	感情労働が看護師に及ぼす影響に関する文献の検討
黒木あゆ美	高齢者施設において看護・介護職員が受ける不快な経験と支援のあり方の検討
菅真理子	単身で生活している精神障害者の支援についての文献検討—リカバリー促進プログラムである ACT の実践報告より—
田中るみ	自殺予防対策を推進する為の看護職の役割—フィンランドと日本の先駆的取り組み・秋田県事例との比較から—
山下琴恵	震災時、認知症高齢者が継続的支援を受けるために保健師が行うマネジメントに関する検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

小野ミツ	新入生合宿研修(新入生担任として参加)
前野有佳里	新入生合宿研修(新入生担任として参加)

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	地域保健従事者の住民からの暴力の実態とその予防体制に関する研究	鳩野
2	高齢者虐待の実態と虐待防止, 早期発見に関する研究	小野
3	配偶者看取り後の独居高齢者の QOL 構築プロセスと 地域ケアシステムの国際(日本・フィンランド・スウェーデン)比較研究	小野
4	高齢者の予防訪問の有用性と効果的な運用に関する国際(日本・フィンランド・デンマーク・スウェーデン)比較研究	小野
5	被高齢者虐待防止に関わる保健福祉職員の集団的・個別化プログラムの開発	小野
6	認知症高齢者の QOL に関する研究	寺岡
7	地域生活へ移行する統合失調症者に対するアドヒアランス・セラピーの介入に関する質的研究	藤野
8	精神障害者の地域生活を支援する市町村保健師のケアマネジメント指標の開発	前野
9	育児支援に関する研究	木村
10	幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムに関する研究	木村
11	薬物依存症の回復過程に影響を及ぼす要因	木原
12	司法精神看護学の確立に向けての研究	木原
13	地域保健におけるパートナーシップに関する研究	重松

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」保健師のリーダーシップ能力尺度の開発と評価, (代表)
- 「基盤研究(C)」地区活動を強化するコミュニティ・エンパワメントモデルの開発, 野(分担)
- 「基盤研究(C)」地域保健分野で活動する NPO のアセスメント指標の開発, (分担)
- 「基盤研究(B)」活動の必要性和成果を意志決定者に「見せる公衆地衛生看護技術」の構築, (分担)
- 「基盤研究(C)」精神障害者の地域生活を支援する市町村保健師のケアマネジメント指標の開発, (分担)
- 「基盤研究(B)」対人援助職の実践力養成過程の分析とバーンアウト予防の学際的研究, (分担)

小野 ミツ

- 「基盤研究(C)」在宅高齢者における介護予防に向けたフットケアプログラムの検証および提唱, (分担)
- 「基盤研究(B)」地域看護職者による高齢者全数の予防訪問の実施方法と効果, (分担)
- 「基盤研究(B)」在宅高齢者における転倒予防プログラム介入のランダム化比較試験, (分担)
- 「萌芽研究」高齢者用日本文化型カード式回想法の開発, (分担)

寺岡 佐和

- 「若手研究(B)」介護保険施設における認知症の三次予防に効果的な園芸療法プログラムの作成方法の研究, (代表)

藤野成美

- 「基盤研究(C)」身体合併症ケア能力強化のための精神科看護師実践プログラムの開発とその評価, (代表)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」精神障害者の地域生活を支援する市町村保健師のケアマネジメント指標の開発, (代表)
- 「基盤研究(C)」地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, (分担)

木村 一絵

- 「基盤研究(C)」地域保健分野で活動するNPOのアセスメント指標の開発, (分担)

重松 由佳子

- 「基盤研究(C)」地域保健分野で活動するNPOのアセスメント指標の開発, (代表)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部資金の受入れ

藤野成美

「日本精神科看護技術協会 精神科看護師の看護実践能力向上に向けた教育プログラム構築に関する研究」

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 谷垣静子, 岡本玲子, 小寺さやか, 俵志江, 岩本里織, 草野恵美子, 鳩野洋子: 大学院における保健師等のコンピテンシーを高める学習創出型プログラムの検討—保健師等の経験 10 年以上の受講生の学習過程を通して—, 保健の科学, 2012 年 09 月.
- Christen Erlingsson, Mitsu Ono, Akiko Sasaki, Britter-Inger Saveman: An international collaborative study comparing Swedish and Japanese nurses' reaction to elder abuse, *Journal of Advanced Nursing*, 2012, 68(1), 56–68.
- 梶原 弘平, 小野 ミツ: 認知症高齢者の在宅介護者が抱く介護の肯定的な認識と特性に関する研究, 日本認知症ケア学会誌, , 2012 年 07 月.
- 小野 ミツ, 佐々木: 在宅高齢者の介護者の介護負担感, 抑うつ, および不適切対応のリスク要因, 高齢者虐待防止研究, 2013 年 03 月.
- 寺岡 佐和, 小西美智子, 原田春美, 小野 ミツ, 宮腰由紀子: 認知症高齢者を対象とした園芸活動が認知機能および心理社会的機能に及ぼす影響の検討, 広島大学保健学ジャーナル, 2013 年 03 月.
- 寺岡 佐和, 小西美智子, 原田春美, 小野 ミツ, 宮腰由紀子: 認知症高齢者を対象とした園芸活動が認知機能および心理社会的機能に及ぼす影響の検討, 広島大学保健学ジャーナル, , 2013 年 03 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Yoko Hatono, Hiroko Suzuki, Naoko Masaki: The development of a scale that measures role function of municipal public health nurse supervisors(Tokatsu Hokenshi), The 9th International Conference with the Global Network of WHO Collaborating Centers for Nursing and Midwifery, 2012 年 07 月 01 日, Japan.
- Ryoko Gasawa, Reiko Okamoto, Yoko Hatono, Saori Iwamoto, Emiko Kusano, Keiko Koide, Maki Nakagawa: The scales of expertise, occupational factors, and learning factors related to the hope of going on to a graduate school for public health nurses, International Collaboration for Community Health Nursing Research(ICCHNR, 2013 年 01 月 13 日, United Kingdom.
- Maki nakagawa, Reiko Okamoto, Yoko Hatono, Saori Iwamoto, Emiko Kusano, Keiko Koide, Ryoko Gasawa: The scales of expertise, occupational factors, and learning factors related to an experience in presenting a paper at an academic conference, International Collaboration for Community Health Nursing Research(ICCHNR, 2013 年 01 月 13 日, United Kingdom.
- Reiko Okamoto, Yoko Hatono, Fusami Nagano, Saori Iwamoto, Emiko Kusano, Keiko Koide: Creation of an action Evaluation Scale for Showing the Necessity of Health Care Projects and Examination of Related Factors, International Collaboration for Community Health Nursing Research(ICCHNR, 2013 年 01 月 14 日, United Kingdom.
- Yoko Hatono, Reiko Okamoto, Fusami Nagano, Saori Iwamoto, Emiko Kusano, Keiko Koide: The Development of an Action Evaluation Scale for Showing Results in Healthcare Activity and the Examination of its Related Factors, International Collaboration for Community Health Nursing Research(ICCHNR, 2013 年 01 月 14 日, United Kingdom.
- Emiko Kusano, Reiko Okamoto, Yoko Hatono, Fusami Nagano, Saori Iwamoto, Keiko Koide: Professional competency and learning behavior associated with the use of theory in public health nurse activity, International Collaboration for Community Health Nursing Research(ICCHNR, 2013 年 01 月 14 日, United Kingdom.

- Yukako Shigematsu, Yoko Hatono, Hitoe Kimura, Narumi Fujino : Skills of Public Health Nurses to interact with community-based Non-Profit Organizations for Children and Child Care, The 5th International Conference on Community Health Nursing Research, 2013年03月13日, United Kingdom.
- Narumi Fujino, Akiko Inagaki, Hiroaki Anbo, Reiko Tomimori, Yukako Shigematsu: A Qualitative Study on the Interference of Adherence Therapy for the Schizophrenic Patients who are Transferring to Their Community Life, The 5th International Conference on Community Health Nursing Research, 2013年03月14日, United Kingdom.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 小野ミツ, 佐々木明子: 介護者の高齢者にとる心理的距離, 2012年09月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 鳩野洋子, 鈴木浩子, 真崎直子: 市町村統括保健師に求められる役割・機能-保健師が捉える項目の妥当性とその役割・機能の実践状況, 第15回日本地域看護学会学術集会, 2012年06月24日, 東京.
- 茅野裕美, 岡本玲子, 小出恵子, 鳩野洋子, 岩本里織, 草野恵美子, 福川京子, 長野扶佐美: 行政保健師の専門性発展力と職業要因・学習要因の関連, 第15回日本地域看護学会学術集会, 2012年06月24日, 東京.
- 伊藤直人, 梶木繁之, 平良素生, 永田昌子, 前野有佳里, 鳩野洋子, 曾根智史, 森晃爾: 保健指導サービスの質に関する第三者評価制度の開発, 第85回日本産業衛生学会 2012年6月2日, 2012年06月02日, 名古屋.
- 伊藤直人, 梶木繁之, 鳩野洋子, 前野有佳里, 曾根智史, 森晃爾: 特定保健指導の質の管理システムに対する第三者評価(第1報)~評価マニュアルの作成~, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月27日, 山口.
- 梶木繁之, 伊藤直人, 鳩野洋子, 前野有佳里, 曾根智史, 森晃爾: 特定保健指導の質の管理システムに対する第三者評価(第2報)~被評価組織の認識~, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月27日, 山口.
- 鳩野洋子, 前野有佳里, 梶木繁之, 伊藤直人, 平良素生, 曾根智史, 森晃爾: 自治体における特定保健指導の第三者評価モデル事業の試み, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月27日, 山口.
- 木村一絵, 鳩野洋子, 重松由佳子: 幼児の問題行動の減少を目指した子育てプログラムの検討, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月26日, 山口.
- 西林直美, 近藤千穂, 青木美紀子, 鹿野由紀, 村上照代, 前野有佳里, 鳩野洋子: 介護予防をきっかけとした地域づくりのための調査報告, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月28日, 山口.
- 前野有佳里, 鳩野洋子: 24条通報対応に関わる保健師の現状, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月26日, 山口.

- 茅野裕美, 岡本玲子, 小出恵子, 鳩野洋子, 岩本里織, 草野恵美子, 福川京子, 長野芙佐美: 保健師のプロフェッショナルとしての自信度と専門性発展力・職業要因・学習要因の関連, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月27日, 山口.
- 鈴木浩子, 鳩野洋子, 眞崎直子: 市町村統括保健師の配置状況とその特性, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月28日, 山口.
- 鎌田久美子, 岡島さおり, 海法澄子, 松井通子, 松本珠実, 三井尚美, 大場エミ, 佐伯和子, 田高悦子, 多田敏子, 鳩野洋子, 藤丸知子, 横山美江: 新カリキュラムに対応した公衆衛生看護実習指導方法第1報, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月28日, 山口.
- 海法澄子, 鎌田久美子, 岡島さおり, 松井通子, 松本珠実, 三井尚美, 佐伯和子, 田高悦子, 多田敏子, 鳩野洋子, 藤丸知子, 横山美江, 大場エミ: 新カリキュラムに対応した公衆衛生看護実習指導方法第2報, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月28日, 山口.
- 島田美喜, 南平直宏, 鳩野洋子, 尾島俊之, 曾根智史, 増田和茂, 野尻孝子, 岡崎恵子, 柳川洋, 岩室紳也: 市町村における地域診断の現状と課題, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月28日, 山口.
- 尾島俊之, 島田美喜, 南平直宏, 鳩野洋子, 曾根智史, 増田和茂, 野尻孝子, 岡崎恵子, 柳川洋, 岩室紳也: 市町村におけるアセット(地域資源)の活用状況とその効果, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月28日, 山口.
- 久保善子, 鳩野洋子: 心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援に関する産業保健師の役割, 第71回日本公衆衛生学会, 2012年10月26日, 山口.
- 鳩野洋子, 前野有佳里, 近藤千穂, 西林直美: ソーシャルサポートネットワークによる地域高齢者の類型化と生活状況, 第1回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2013年01月13日, 東京.
- 米澤洋美, 平野かよ子, 松浦美紀, 鳩野洋子, 佐野信也, 中板育美: 住民からの暴力の予防にむけた組織体制整備のあり方の検討, 第1回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2013年01月13日, 東京.
- 鈴木浩子, 鳩野洋子, 眞崎直子: 市町村統括保健師の役割意識・自信と影響要因との関係性の検討, 第1回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2013年01月13日, 東京.
- 長野扶佐美, 岡本玲子, 鳩野洋子, 小出恵子: 活動の必要性と成果をみせる行動に影響した保健師の努力経験, 第1回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2013年01月13日, 東京.
- 小野ミツ, 石川勝彦, 佐々木明子, 金藤亜希子: 認知症高齢者を介護する家族介護者の心理的負担を軽減する社会的ネットワーク, 第13回日本認知症ケア学会, 2012年05月19日, 浜松.
- 石川勝彦, 小野ミツ, 佐々木明子, 金藤亜希子: 認知症高齢者を介護する家族介護者の介護ストレス評価を左右する社会的ネットワーク, 第13回日本認知症ケア学会, 2012年05月19日, 浜松.
- 田村朱里, 佐々木明子, 田沼寮子, 森田久美子, 小野ミツ, 勝田恵子: 通所介護での認知症高齢者のその人らしさを尊重するケアの看護職者・介護者の特徴, 日本地域看護学会第15回学術集会, 2012年06月23日, 東京.
- 小野ミツ, 石川勝彦, 佐々木明子, 金藤亜希子: 在宅高齢介護者のコーピングスキルに影響を及ぼす社会的ネットワーク, 日本地域看護学会第15回学術集会, 2012年06月23日, 東京.
- 佐々木明子, 田沼寮子, 森田久美子, 小野ミツ, 山崎恭子: フィンランドにおける高齢者からみた予防訪問の効果, 日本地域看護学会第15回学術集会, 2012年06月23日, 東京.

- 小野ミツ, 佐々木明子, 金藤亜希子, 石川勝彦:在宅高齢介護者の QOL の実態と支援のあり方についての検討.第 16 回日本在宅ケア学会学術集会, 2012 年 03 月 18 日,神奈川.
- 小野ミツ, 石川勝彦, 佐々木明子, 金藤亜希子:在宅における高齢者虐待発生リスクを高める高齢者・介護者の介護状況因子とその関連, 日本高齢者虐待防止学会, 2012 年 07 月 14 日, 神戸.
- 小野ミツ, 佐々木明子, 石川勝彦, 影山佳奈, 西尾美登里: 投影法を用いた在宅高齢者への介護状況と虐待リスクの検討-高齢者との心理的距離測定を試み-, 第17回日本在宅ケア学会学術集会, 2013 年 03 月 09 日, 水戸.
- 寺岡 佐和, 小西美智子, 小野 ミツ, 原田春美, 宮腰由紀子: 園芸活動がもたらす認知症高齢者対象の唾液中クロモグラニン A の変動, 第 9 回広島保健学会学術集会・第 13 回広島保健福祉学会学術大会合同学会, 2012 年 09 月 30 日, 広島.
- 前野 有佳里, 野元 由美, 高木 幸子, 久保 陽子, 川口 貞親:市町村における保健師の在日外国人に対する保健活動の現状【第 1 報】母子保健活動を中心に, 多文化間精神医学会, 2012.09, 福岡.
- 野元 由美, 前野 有佳里, 高木 幸子, 久保 陽子, 川口 貞親:市町村における保健師の在日外国人に対する保健活動の現状【第 2 報】 成人および高齢者への保健活動の実際と課題, 多文化間精神医学会 2012.09 福岡.
- 宮園 真美, 澤渡 浩之, 橋口 暢子, 前野 有佳里, 川本 利恵子, 中尾 久子, 木下 由美子, 金岡 麻希, 潮 みゆき, 孫田 千恵, 梶原 弘平, 樗木 晶子:慢性心不全患者への脚部遠赤外線加温による生理・心理反応および睡眠に関する研究, 日本看護科学学会学術集会, 2012.11.
- 澤渡 浩之, 宮園 真美, 橋口 暢子, 前野 有佳里, 栃原 裕, 樗木 浩朗, 樗木 晶子首下ドーム型サウナ使用時の深部体温と血行動態の検討 定量的温熱負荷メニューの構築をめざして, 心電図, 2012.05.

学会以外での講演, 発表 なし

著作

単行本

小野 ミツ

- 佐々木明子, 小野ミツ, 佐々木明子, 寺岡佐和, 木村一絵, 他: (共著) 2013 年版 保健師国家試験問題 解答・解説, 2012 年 04 月 メヂカルフレンド社.
- 小野ミツ, 佐々木明子: (共著) 新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度2 公衆衛生学, 2013 年 01 月, メヂカルフレンド社.

前野 有佳里

- 前野有佳里 他: (共著) 2013 年度版 保健師国家試験問題 解答と解説, 2012 年 04 月, 医学書院.

寺岡 佐和

- 佐々木明子, 小野ミツ, 木村一絵, 寺岡佐和, 他: (共著) 2013 年版 保健師国家試験問題 解答・解説, 2012 年 04 月 メヂカルフレンド社.

木村 一絵

- 佐々木明子, 小野ミツ, 木村一絵, 寺岡佐和, 他: (共著) 2013 年版 保健師国家試験問題 解答・解説, 2012 年 04 月 メヂカルフレンド社.

a. 総説

鳩野 洋子

- 鳩野洋子, 則行修子, 山本美奈, 江良真由美, 仲恵美, 大江朋恵, 初山喜子, 前野有佳里, 梶木繁之: PDCA サイクルを回して特定保健指導の質の向上を 福岡県豊前市における特定保健指導・質の管理システムシステム導入の取り組み, 保健師ジャーナル 2012; 68(5):402-406, 2012 年 04 月 .
- 鳩野洋子, 渡邊優子, 栗原せい子, 島田美喜: 統括保健師に求められるもの, 地域保健 2012;43(7):16-41, 2012 年 07 月 .
- 前野有佳里, 鳩野洋子: 精神保健福祉法第 24 条通報対応の現状と課題, 保健師ジャーナル 2013;69(3):209-215, 2013 年 03 月 .

前野有佳里

- 前野有佳里, 鳩野洋子: 精神保健福祉法第 24 条通報対応の現状と課題, 保健師ジャーナル 2013;69(3):209-215, 2013 年 03 月 .

b. 解説, 書評など なし

受賞 なし
報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

藤野成美

藤野, 精神科看護師の看護実践能力向上に向けた教育プログラム構築に関する研究, 日本精神科看護技術協会, 2011 年 02 月~2013 年 03 月.

2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし
2. 外国人研究者の受入れ
 - a. 訪問教授・研究員 なし
 - b. 訪問研究者 なし
3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 鳩野, 全学教務委員会委員.

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

- 鳩野, 大学院委員会委員長.
- 鳩野, 実習委員会委員
- 小野, 研究推進委員会委員.
- 小野, 財務委員会委員.
- 小野, 人事委員会委員.
- 小野, 広報委員会委員・委員長.
- 寺岡, 施設ワーキンググループ.
- 木村, 卒業研究委員会委員.
- 木村, 地域国際連携推進委員会委員.
- 重松, 広報委員会委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 小野, 広島大学大学院医学部, 非常勤講師.

2. 学協会

- 鳩野, 日本地域看護学会, 評議員, 編集委員会委員, 表彰論文選考委員会委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生学会, 評議員, 編集委員会委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護科学学会, 代議員, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 評議員, 倫理審査委員会委員 国内.
- 鳩野, 日本在宅看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 小野, 日本地域看護学会, (評議員・査読委員), 国内.
- 小野, 日本高齢者虐待防止学会(理事・査読委員), 国内.
- 小野, 日本在宅ケア学会(評議員, 査読委員), 国内.
- 小野, 日本老年看護学会(査読委員), 国内.
- 小野, 日本看護教育学会(査読委員), 国内

3. 官界

- 鳩野, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡県地域保健従事者人材育成検討委員会 委員長」, 福岡県.
- 鳩野, 「福岡市介護予防教室運営業務委託事業者選定委員会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市地域保健部会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「粕屋町国保モデル事業運営委員会委員」, 粕屋町.
- 鳩野, 科学研究費委員会専門委員, 日本学術振興会.
- 小野, 科学研究費委員会専門委員, 日本学術振興会.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 鳩野, 教育と医学, 編集委員, 国内.
- 寺岡, 「看護学系教育機関のテレビ会議による情報交換の実施」, 九州大学病院, 2012 .
- 寺岡, 「 Blossam 開花プロジェクトの一環として, 病院看護師の研究指導」, 九州大学, 2012.

5. 公開講座・公開講演会

- 鳩野,「福岡市係長研修—管理者の役割と施策化」,福岡市,セミナー・研修会.
- 鳩野・前野,「福岡市中堅後期保健師研修—ケアシステムの開発」,福岡市,セミナー・研修会.
- 鳩野・前野,「事業の見直しと評価」,久留米市,セミナー・研修会.
- 鳩野,「PDCA サイクルにもとづく事業の展開—事業評価を中心に」,福岡県,セミナー・研修会.
- 小野,「高齢者虐待に関する処遇困難事例への対応」,地域包括支援センター・保健福祉センター・九州大学,セミナー・研修会.
- 小野,「看護と介護」,財団法人メンタルケア協会・産業大学,セミナー・研修会.
- 小野,「最後まで安心して暮らせる地域づくり」,福岡県人権啓発情報センター・クローバープラザ,セミナー・研修会.
- 小野,「安心して暮らせる地域づくり ～高齢者虐待防止の視点から～」,福岡市筥松公民館・福岡市筥松公民館,セミナー・研修会.
- 小野,「メンタルケアの手法論」,財団法人メンタルケア協会・ももちパレス(福岡市早良区),セミナー・研修会.
- 小野,「看護と介護」,財団法人メンタルケア協会・ももちパレス(福岡市早良区),セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

教授	大喜 雅文
教授	豊福 不可依
准教授	高橋 昭彦
准教授	有村 秀孝
准教授	納富 昭弘
助教	小段 謙一

1. 教育活動

1. 大学院講義

大喜 雅文	
医用画像情報科学論 (分担)	前期
保健・医療とIT (分担)	前期
量子線理工科学 I (分担)	前期
豊福 不可依	
量子線理工科学 I (分担)	前期
基礎量子力学(分担)	後期
先端医用量子線工学論	後期
高橋 昭彦	
基礎電磁波論	前期
量子線理工科学 I (分担)	前期
有村 秀孝	
量子線治療科学論	後期
保健・医療とIT (分担)	前期
医学物理情報理論	前期
量子線理工科学 I (分担)	

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

大喜 雅文	
医用画像情報科学演習 (分担)	通年
量子線理工科学 II (分担)	通年
有村 秀孝	
量子線治療科学演習	後期
納富 昭弘	
量子線治療科学演習	前期

4. 大学院修士課程修了者

- 青木 道朗 三次元形状計測装置(Kinect)の基礎的精度検証とリアルタイム患者モニタリングシステムへの応用 Evaluation of a Three-Dimensional Shape Measurement Device (Kinect) and its Application to Patient-Position Monitoring
- 垣内 玄雄 粒子線治療における患者セットアップエラーに頑強なビーム方向決定法の開発 Development of a method for determination of robust beam directions against patient setup errors in particle therapy
- 中西 大樹 反跳陽子位置分布に基づく中性子エネルギー測定における応答関数の評価に関する研究

5. 大学院博士課程修了者

- 川路 康之 Influence of readout process on presampled modulation transfer function in computed radiography system
- 馬込 大貴 Computer-aided treatment planning system for high precision radiotherapy based on similar cases in radiotherapy treatment planning databases

6. 学部講義

- 大喜 雅文
- | | |
|--------------|----|
| 医療統計学 (分担) | 前期 |
| 現代物理学概論 (分担) | 前期 |
| 医用情報解析学 (分担) | 前期 |
| 基礎医療統計 (分担) | 後期 |
| 放射線医学入門 (分担) | 前期 |
- 豊福 不可依
- | | |
|--------------|----|
| 放射線診断物理学 | 後期 |
| X線 CT 画像技術学 | 前期 |
| 放射線物理学 | 前期 |
| 放射線医学入門 (分担) | 前期 |
- 高橋 昭彦
- | | |
|--------------|----|
| 電磁気学 | 前期 |
| 医用電気電子工学 I | 前期 |
| 電磁気学 | 後期 |
| 医用電気電子工学 II | 後期 |
| 医用光学 | 前期 |
| 放射線医学入門 (分担) | 前期 |
- 有村 秀孝
- | | |
|------------------|----|
| 医用情報解析学 (分担) | 前期 |
| 放射線治療機器学 (分担) | 前期 |
| コンピュータ支援診断学 (分担) | 前期 |
| 品質管理論 (分担) | 後期 |
| 放射線医学入門 (分担) | 前期 |
| 医用画像処理学 I | 後期 |
- 納富 昭弘
- | | |
|----------------|----|
| 放射線計測学 II (分担) | 前期 |
| 放射線計測学 I (分担) | 後期 |

放射線治療機器学 (分担)	前期
放射線医学入門 (分担)	前期
小段 謙一	
放射線診断機器学 (分担)	後期
放射線医学入門 (分担)	前期

7. 学部の実験・実習・演習

大喜 雅文	
卒業研究 (分担)	通年
情報処理演習 I (分担)	後期
豊福 不可依	
卒業研究 (分担)	通年
放射線計測学実験(分担)	後期
放射線機器学実験(分担)	後期
高橋 昭彦	
卒業研究 (分担)	通年
医用電気電子工学実験 II (分担)	前期
医用電気電子工学実験 I (分担)	後期
有村 秀孝	
卒業研究 (分担)	通年
医用画像処理学演習	前期
放射線計測学実験	後期
放射線治療技術学実習	後期
納富 昭弘	
卒業研究 (分担)	通年
放射性同位元素検査学・実習 (分担)	前期
放射線計測学実験 (分担)	後期
放射線治療技術学実習 (分担)	
小段 謙一	
卒業研究 (分担)	通年
放射性同位元素検査学・実習	前期
放射線機器学実験(分担)	後期
医用電気電子工学実験 II (分担)	前期
放射線計測学実験(分担)	後期

8. 卒業論文作成者

松井 健紘	シェーグレン症候群の超音波画像診断におけるテクスチャー解析
原 久美子	細胞診のための画像解析:細胞核像の抽出と特徴計測の自動化
堤 祥伍	症例データベースと DICOM サーバの連携システムの構築
倉田 貴行	GPU による単純 X 線シミュレーション画像作成の計算速度の高速化
佐藤 周作	3D 距離画像計測システム(Kinect)の局面形状被写体に対する時間応答特性
福吉 涼平	X 線撮影における骨と南部組織の成分分離～二重管電圧法と被写体厚測定法の検討～
竹口 明宏	DICOM サーバと連携した Web アプリケーションの開発:LROC 解析用アプリケーション
野中 歩美	局所特徴量を用いた類似画像の検索法の基礎的検討

- 岩崎あゆみ 高精度放射線治療における距離画像を用いた患者セットアップエラーの検出方法開発
- 龍 宏美 iBooks Author を用いた医用画像処理のデジタルテキストの基礎的検討
- 長瀬 圭将 陽子線治療計画における GPU を用いた線量分布計算の高速化
- 井上 弘規 反跳陽子位置分布に基づく中性子エネルギー評価システムに用いるコンバータの特性比較
- 佐藤 絢香 ポリエチレン内張り型反跳陽子比例計数管の γ 線に対する時間応答特性
- 中村 祐一 線量分布測定用プラスチックシンチレーションファイバー検出器への MPPC の応用
- 野崎大樹 マイクロデンシトメータを用いた MTF の自動測定システムの開発 ～スリット像の濃度分布及び LSF 波形の自動形成に関する考察～
- 高井 剛 マイクロデンシトメータを用いた MTF の自動測定システムの開発 ～ノイズ低減のための最適パラメータの自動設定に関する考察～

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | |
|---|----|
| 1 医療系教育における e-Learning システムの構築とその評価 | 大喜 |
| 2 医用画像処理による診断支援 | 大喜 |
| 3 3次元形状計測の放射線医学利用 | 豊福 |
| 4 レーザー生成プラズマによる短波長光源の開発とその応用 | 高橋 |
| 5 光生体計測の計算機シミュレーションに関する研究 | 高橋 |
| 6 モンテカルロシミュレーションの核医学応用に関する研究 | 高橋 |
| 7 アルツハイマー病検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発 | 有村 |
| 8 多発性硬化症のためのコンピュータ支援診断システムの開発 | 有村 |
| 9 高精度放射線治療計画支援システムの開発 | 有村 |
| 10 放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発 | 有村 |
| 11 医療応用の為の放射線計測技術ならびに線量評価技術の基礎的研究・新しい中性子線量評価技術の開発 | 納富 |
| 12 減弱データによる X 線スペクトルの算出 | 小段 |
| 13 低次多項式による誤差の少ない補間法の研究 | 小段 |
| 14 マイクロデンシトメータを用いた MTF 自動測定法の開発 | 小段 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

豊福 不可依

- 「基盤研究(C)」3次元形状計測を利用した定量的X線撮影法の開発, (代表), 800 千円.

有村 秀孝

- 「基盤研究(C)」類似症例検索に基づく高精度 3 次元放射線治療計画支援システムの開発, (代表), 0 千円.
- 「基盤研究(C)」アルツハイマー病発症前診断のためのマルチパラメトリック MRI の開発(代表吉浦敬), (分担), 0 千円.

- 「基盤研究(C)」機能画像を用いた低リスク肺癌高精度放射線治療法の開発(代表塩山善之), (分担), 0 千円.
- 「基盤研究(C)」3次元形状計測を利用した定量的X線撮影法の開発(代表豊福不可依), (分担), 0 千円.
- 「挑戦的萌芽研究」サイバーナイフ治療におけるマシンビジョンシステムを用いた位置認識システムの開発(代表中村和正), (分担), 0 千円.
- 「新学術領域研究」治療計画計算解剖モデルに基づく粒子線治療支援システムの開発, (代表), 3000 千円.
- 「特別研究員奨励費」放射線治療計画データベースに基づく高精度治療計画支援システムの開発(日本学術振興会 DC1 馬込大貴), 有村(代表受入教員), 0 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

有村 秀孝

- 「研究助成・応用分野(B) / 「高次元画像情報に基づく次世代型コンピュータ支援放射線治療システムの開発」公益財団法人大川情報通信基金, 1000 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ

有村 秀孝

- 「株式会社 NTT データ <http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2012/102600.html> 次世代医用クラウドシステムによる脳卒中に関する統合診断支援プラットフォームの構築」, 4000 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Y. Kawaji, F. Toyofuku, T. Ideguchi, and Y. Higashida, Influence of Readout Process on Presampled MTF in Computed Radiography System, *Optical Engineering*, 51(11), 113202, November 2012.
- Kuwazuru J, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Magome T, Yamashita Y, Ohki M, Toyofuku F, Korogi Y.: Automated Detection of Multiple Sclerosis Candidate Regions in MR Images: False-Positive Removal with Use of an ANN-controlled Level Set Method, *Radiological Physics and Technology*, , 2012 年 07 月. (査読あり)
- Michinobu Matsuyama, Junji Morishita, Hiroshi Akamine, Shogo Tokurei, Hidetake Yabuuchi, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto and Masafumi Ohki: Effect of ambient lighting on liquid-crystal displays with different types of surface treatment, *Radiological Physics and Technology*, Published online: 28 September 2012, 2012 年 09 月. (査読あり)
- Hidetaka Arimura, Itano W, Shioyama Y, Matsushita N, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Yamagami A, Hiroshi Honda, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Computerized estimation of patient setup errors in portal images based on localized pelvic templates for prostate cancer radiotherapy, *Journal of Radiation Research*, , 2012 年 11 月. (査読あり)
- Magome T, Hidetaka Arimura, Shioyama Y, Mizoguchi A, Magome T, Tokunaga C, Nakamura K, Hiroshi Honda, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Computer-aided beam arrangement based on similar cases in radiation treatment planning databases for stereotactic lung radiation therapy, *Journal of Radiation Research*, in Press, 2013 年 02 月. (査読あり)
- Tanaka N, Yano Y, Hidetake Yabuuchi, Akasaka Tsutomu, Masayuki Sasaki, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Basic imaging properties of an indirect flat-panel detector system employing irradiation side sampling (ISS) technology for chest radiography: comparison

with a computed radiographic system, *Radiological Physics and Technology*, , 2013 年 01 月. (査読あり)

- Tanaka N, Naka K, Saito A, Junji Morishita, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Yoshiharu Higashida: Investigation of optimum anti-scatter grid selection for digital radiography: physical imaging properties and detectability of low-contrast signals, *Radiological Physics and Technology*, , 2013 年 01 月. (査読あり)
- Tokunaga C, Hidetaka Arimura, Takashi Yoshiura, Tomoyuki Ohara, Yamashita Y, Kobayashi K, Magome T, Nakamura Y, Hiroshi Honda, Hideki Hirata, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku: Automated Measurement of Three-dimensional Cerebral Cortical Thickness in Alzheimer's Patients Using Localized Gradient Vector Trajectory in Fuzzy Membership Maps, *Journal of Biomedical Science and Engineering*, , 2013 年 03 月. (査読あり)
- Atsumi K, Shioyama Y, Arimura H, Terashima K, Matsuki T, Ohga S, Yoshitake T, Nonoshita T, Tsurumaru D, Ohnishi K, Asai K, Matsumoto K, Nakamura K, Honda H.: Esophageal Stenosis Associated with Tumor Regression in Radiation Therapy for Esophageal Cancer: Frequency and Prediction, *International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics*, 1;82(5):1973-80, 2012 年 04 月. (査読あり)
- Kawata H, Arimura H, Suefuji H, Ohkura S, Saida Y, Nashiki K, Hayashida K, Kawahara T, Ohishi A, Hayabuchi N.: Automated Estimation of Number of Implanted Iodine-125 Seeds for Prostate Brachytherapy based on Two-View Analysis of Pelvic Radiographs, *Journal of Radiation Research*, 53(5):742-52, 2012 年 09 月. (査読あり)
- Arimura H, Itano W, Shioyama Y, Matsushita N, Magome T, Yoshitake T, Anai S, Nakamura K, Yoshidome S, Yamagami A, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Computerized estimation of patient setup errors in portal images based on localized pelvic templates for prostate cancer radiotherapy, *Journal of Radiation Research*, 1;53(6):961-72, 2012 年 11 月. (査読あり)
- Chiaki Tokunaga, Arimura Hidetaka, Yoshiura Takashi, Tomoyuki Ohara, Yasuo Yamashita, Kouji Kobayashi, Taiki Magome, Yasuhiko Nakamura, Honda Hiroshi, Hirata Hideki, Sasaki Masayuki, Toyofuku Fukai: Automated Measurement of Three-dimensional Cerebral Cortical Thickness in Alzheimer's Patients Using Localized Gradient Vector Trajectory in Fuzzy Membership Maps., *Journal of Biomedical Science and Engineering*, , 2013 年 03 月. (査読あり)
- Daiki Nakanishi, Akihiro Nohtomi, Ryoji Tanaka and Genichiro Wakabayashi : A Method of Neutron-Energy Evaluation based on the Position Distribution of Recoil Protons, *Progress in Nuclear Science and Technology* (to be published). 2013 年 2 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kakiuchi G, Arimura H, Shioyama Y, Minohara S, Mizoguchi A, Honda H, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H: Automated determination of robust beam directions against patient setup errors based on electron density spatial distribution in hadron particle therapy, World Congress Medical Physics and Biomedical Engineering (WC2012), 2012 年 05 月 30 日, China.
- Y Murakami, A Shiraishi, T Sumi, T Nakamura, M Ohki: Wavelet Analysis of Ultrasound Image for the Diagnosis of Sjögren's Syndrome, American Association of Physicists in Medicine(AAPM), 2012 年 07 月 29 日, United States of America.
- Magome T, Hidetaka Arimura, Shioyama Y, Mizoguchi A, Tokunaga C, Nakamura K, Hiroshi Honda, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Similar-case-based optimization of beam arrangements in stereotactic body radiation therapy, American Association of Physicists in Medicine(AAPM), 2012 年 07 月 31 日, United States of America.

- Kakiuchi G, Hidetaka Arimura, Minohara S, Mizoguchi A, Nakamura K, Hiroshi Honda, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Hideki Hirata: Development of automated determination method of robust beam directions against patient setup errors based on spatial distribution of electron density in particle therapy, American Association of Physicists in Medicine(AAPM), 2012年07月31日, United States of America.
- Matsushita N, Hidetaka Arimura, Shioyama Y, Magome T, Nakamura K, Umezu Y, Yoshitake T, Anai S,, Yoshidome S, Hiroshi Honda, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Automated Estimation Method of Patient Setup Errors Using Simulated Portal Images for Prostate Cancer Radiotherapy, American Association of Physicists in Medicine(AAPM), 2012年07月29日, United States of America.
- Magome T, Hidetaka Arimura, Shioyama Y, Mizoguchi A, Tokunaga C, Nakamura K, Nakamura Y, Hiroshi Honda, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Computer-assisted determination of the usable beam arrangement from similar treatment plans in stereotactic body radiotherapy (p.101-107),Workshop of Image-Guidance and Multimodal Dose Planning in Radiation Therapy, MICCAI 2012, 2012年10月05日, France.
- Hidetaka Arimura, Kakiuchi G, Shioyama Y, Minohara S, Mizoguchi A, Nakamura K, Nakamura Y, Hiroshi Honda, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Hideki Hirata: Computerized determination of robust beam directions against patient setup errors in hadron particle therapy, MICCAI 2012, 2012年10月05日, France.
- Nakamoto T, Hidetaka Arimura, Shioyama Y, Mizoguchi A, Nakamura K, Yoshidome Y, Hirose T, Anai S,, Hiroshi Honda, Umezu Y, Nakamura Y, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Hideki Hirata: Computerized monitoring of a lung tumor motion in four-dimensional dose distribution in stereotactic body radiation therapy, International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA2012), 2012年11月16日, Korea.
- Jin Ze, Arimura H, Shioyama Y, Fukuta M, Magome T, Kakiuchi G, Nakamura K, Honda H, Hirata H, Toyofuku F.: Computer-aided radiotherapy: extraction of bronchial regions in treatment planning CT images, World Congress Medical Physics and Biomedical Engineering (WC2012), (Beijing), 2012年05月30日, China.
- Kakiuchi G, Arimura H, Shioyama Y, Minohara S, Mizoguchi A, Honda H, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Automated determination of robust beam directions against patient setup errors based on electron density spatial distribution in hadron particle therapy, World Congress Medical Physics and Biomedical Engineering (WC2012), (Beijing), IFMBE Proceedings Vol.39, 1772-1775, 2012年05月30日, China.
- Kakiuchi G, Arimura H, Shioyama Y, Minohara S, Mizoguchi A, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Computerized decision making method of robust beam directions against patient displacements in particle therapy based on power spectral analysis, The 6th S. Takahashi Memorial Symposium (Hiroshima), 2012年07月19日, Japan.
- Shioyama Y, Magome T, Nakamura K, Arimura H, Yoshitake T, Sasaki T, Ohga S, Shinoto M, Asai K, Honda H.: Predictive Role of Mean Electron Density in Gross Tumor Volume for Local Control in Stage I Non-Small-Cell Lung Cancer Treated with Stereotactic Body Radiotherapy, The S. Takahashi Memorial Symposium (Hiroshima), 2012年07月19日, Japan.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Mizoguchi A, Tokunaga C, Nakamura K, Honda H, Ohki, Toyofuku F, Hirata H.: Similar-case-based optimization of beam arrangements in stereotactic body radiation therapy (p.3908), AAPM2012 (Charlott), 2012年07月31日, United States of America.

- Kakiuchi G, Arimura H, Shioyama Y, Minohara S, Mizoguchi A, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Development of automated determination method of robust beam directions against patient setup errors based on spatial distribution of electron density in particle therapy (p3965), AAPM2012 (Charlott), 2012年08月01日, United States of America.
- Matsushita N, Arimura H, Shioyama Y, Magome T, Nakamura K, Umezu Y, Yoshitake T, Anai S, Yoshidome S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Automated Estimation Method of Patient Setup Errors Using Simulated Portal Images for Prostate Cancer Radiotherapy (p3658), AAPM2012 (Charlott), 2012年07月29日, United States of America.
- Arimura H, Jin Z, Kakiuchi G, Magome T, Shioyama Y, Nakamura K.: Computational Image-Assisted Radiation Treatment Planning, Progress in Radiology 2012 (Tokyo), 2012年09月07日, Jordan.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Mizoguchi A, Tokunaga C, Nakamura K, Nakamura Y, Honda H, Ohki, Toyofuku F, Hirata H.: Computer-assisted determination of the usable beam arrangement from similar treatment plans in stereotactic body radiotherapy (p.101-107), Workshop of Image-Guidance and Multimodal Dose Planning in Radiation Therapy, MICCAI 2012 (Nice), 2012年10月05日, France.
- Arimura H, Kakiuchi G, Shioyama Y, Minohara S, Mizoguchi A, Nakamura K, Nakamura Y, Honda H, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Computerized determination of robust beam directions against patient setup errors in hadron particle therapy (p.82-87), Workshop of Image-Guidance and Multimodal Dose Planning in Radiation Therapy, MICCAI 2012 (Nice), 2012年10月05日, France.
- Arimura H.: Computer-aided Neuroradiology Based on Magnetic Resonance Image Analysis, Machine Perception and Robotics (MPR2012) (Fukuoka), 2012年10月17日, Japan.
- Nakamoto T, Arimura H, Shioyama Y, Mizoguchi A, Nakamura K, Yoshidome Y, Hirose T, Anai S, Honda H, Umezu Y, Nakamura Y, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Computerized monitoring of a lung tumor motion in four-dimensional dose distribution in stereotactic body radiation therapy., International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA2012), (Korea), 2012年11月16日, Korea.
- Aoki M, Kozono K, Ohno M, Kamikawa Y, Arimura H, Toyofuku F.: Evaluation of a Kinect-based Patient Positioning Assistance System for Temporal Subtraction, Radiological Society of North America 2012 (RSNA), CHICAGO, 2012年11月28日, United States of America.
- Arimura Hidetaka: Computer-Assisted Particle Therapy System Based on Computational Anatomy Models for Treatment Planning, Computational Anatomy for Computer-aided Diagnosis and Therapy (Osaka University), 2013年02月23日, Japan.
- Dakiki Nakanishi, Akihiro Nohtomi, Ryoji Tanaka and Genichiro Wakabayashi : A Method of Neutron-Energy Evaluation based on the Position Distribution of Recoil Protons, ICRS-12 & RPSD-2012, September 2-7, 2012, Nara Prefectural Public Hall, Nara, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 垣内玄雄, 有村秀孝, 塩山善之, 蓑原伸一, 溝口明日実, 中村和正, 本田 浩, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: 粒子線治療計画における電子密度分布に基づいたビーム方向自動決定法の開発, 第103回日本医学物理学会学術大会, 2012年04月15日, 横浜.

- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 溝口明日実, 徳永千晶, 中村和正, 本田 浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: 肺定位放射線治療計画支援のための類似症例に基づくビーム方向自動決定法の開発, 第 103 回日本医学物理学学会学術大会, 2012 年 04 月 15 日, 横浜.
- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦 敬, 徳永千晶, 桑水流純平, 馬込大貴, 門司 晃, 小林幸次, 古閑省一, 中村泰彦, 大屋信義, 本田 浩, 大喜 雅文, 豊福不可依: MR 脳血流マップ画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, 医用画像情報学会 MII 平成 24 年度年次(第 163 回)大会, 2012 年 06 月 02 日, 金沢.
- 津田規吏, 田中延和, 井手口忠光, 納富昭弘, 大喜雅文, 橋田昌弘, 杜下淳次: 福島第一原子力発電所事故に伴い CR 画像に出現した黒点の分析, 日本放射線技術学会第 68 回総会学術大会, 2012 年 04 月 14 日, 横浜.
- 松井健紘, 村上雄一, 大喜雅文, 中村卓: シェーグレン症候群の超音波画像診断のためのテクスチャー画像解析, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎大学医学部記念講堂・良順会館・ボンペ会館.
- 堤祥伍, 竹口明宏, 大喜雅文: 症例データベースと DICOM サーバとの連携システムの試作, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 25 日, 長崎大学医学部記念講堂・良順会館・ボンペ会館.
- Tokunaga C, Hidetaka Arimura, Takashi Yoshiura, Yamashita Y, Kobayashi K, Magome T, Hiroshi Honda, Hideki Hirata, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki: ファジィマンバシップマップの局所勾配ベクトル軌道を用いたアルツハイマー病患者の大脳皮質厚自動測定方法の開発, 第 31 回日本医用画像工学会大会 JAMIT2012, 2012 年 08 月 04 日, .
- 溝口明日実, 有村 秀孝, 塩山善之, 仲本宗泰, 吉留郷志, 廣瀬貴章, 穴井重男, 本田 浩, 梅津芳幸, 平田 秀紀, 大喜 雅文, 中村和正, 豊福 不可依: 放射線治療における EPID に基づいた 4 次元線量分布自動推定法の開発, 医用画像情報学会(MII)平成 24 年度秋季第 164 回大会, 2012 年 10 月 13 日, .
- 仲本宗泰, 有村 秀孝, 塩山善之, 溝口明日実, 中村和正, 吉留郷志, 廣瀬貴章, 穴井重男, 本田 浩, 梅津芳幸, 中村泰彦, 豊福 不可依, 大喜 雅文, 平田 秀紀: EPID に基づいた肺定位放射線治療における 4 次元線量分布自動推定法の開発, 日本放射線腫瘍学会第 25 回学術大会, 2012 年 11 月 23 日, .
- 垣内玄雄, 有村 秀孝, 塩山善之, 蓑原伸一, 溝口明日実, 吉留郷志, 中村和正, 本田 浩, 豊福 不可依, 大喜 雅文, 平田 秀紀: 粒子線治療における電子密度投影画像のパワースペクトルを用いたビーム方向最適化法の開発, 医用画像情報学会(MII)平成 24 年度春季(第 165 回)大会, 2013 年 02 月 02 日, .
- 牧村哲也, 鳥居周一, 岡崎功太, 中村大輔, 高橋昭彦, 岡田龍雄, 新納弘之, 村上浩一: レーザープラズマ放射極端紫外(EUV) 光による微細加工, 2012 年秋季第 73 回応用物理学会学術講演会, 2012 年 09 月 11 日, 愛媛大学・松山大学.
- 白石仁志, 中島彰吾, 鬼塚泰裕, 高橋昭彦, 山下泰生, 佐々木雅之: PET スキャナのモンテカルロシミュレーションコードの開発, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎大学医学部 記念講堂/良順会館/ボンペ会館.
- 中島彰吾, 白石仁志, 鬼塚泰裕, 高橋昭彦, 山下泰生, 佐々木雅之: 90Y-PET 画像のモンテカルロシミュレーション, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎大学医学部 記念講堂/良順会館/ボンペ会館.
- 杉浦伸彦, 鳥居周一, 牧村哲也, 岡崎功太, 中村 大輔, 高橋 昭彦, 岡田 龍雄, 新納弘之, 村上浩一: 3 次元マイクロ金型作製のためのレーザープラズマ軟 X 線による PMMA の微細加工, 2013 年秋季第 73 回応用物理学会学術講演会, 2013 年 03 月 29 日, 神奈川大学.

- 仲本宗泰, 有村秀孝, 徳永千晶, 荒木翔, 小坂克子, 梅尾理, 高橋昌哉: UTE シーケンスで撮像されたマウスの MR 画像における肺の 3 次元 T2*マッピング方法の開発(p.235), 第 103 回日本医学物理学会学術大会(横浜), 2012 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜.
- 松下矩正, 有村秀孝, 塩山善之, 廣瀬貴章, 梅津芳幸, 中村和正, 馬込大貴, 吉留郷志, 本田浩, 豊福不可依, 平田秀紀: 前立腺癌放射線治療のための患者セットアップエラーの自動測定法の開発 (p.105), 第 103 回日本医学物理学会学術大会(横浜), 2012 年 04 月 12 日, パシフィコ横浜.
- 垣内玄雄, 有村秀孝, 塩山善之, 蓑原伸一, 溝口明日実, 中村和正, 本田 浩, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: 粒子線治療計画における電子密度分布に基づいたビーム方向自動決定法の開発(p.258), 第 103 回日本医学物理学会学術大会(横浜), 2012 年 04 月 15 日, パシフィコ横浜.
- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 溝口明日実, 徳永千晶, 中村和正, 本田 浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: 肺定位放射線治療計画支援のための類似症例に基づくビーム方向自動決定法の開発(p.183), 第 103 回日本医学物理学会学術大会(横浜), 2012 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜.
- Jin Ze, Arimura H, Shioyama Y, Fukuta M, Magome T, Kakiuchi G, Nakamura K, Honda H, Hirata H, Toyofuku F.: Development of an automated method for segmentation of bronchial regions in planning CT images (p.237), 第 103 回日本医学物理学会学術大会(横浜), 2012 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜.
- 有村秀孝: 画像工学から見た放射線治療における画像融合と検証の可能性(p.82), 第 103 回日本医学物理学会学術大会(横浜), 2012 年 04 月 15 日, パシフィコ横浜.
- 有村秀孝: MR 画像解析に基づく脳疾患のためのコンピュータ支援診断システムの研究開発, 第 51 回日本生体医工学会大会(福岡), 2012 年 05 月 12 日, 福岡国際会議場.
- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦 敬, 徳永千晶, 桑水流純平, 馬込大貴, 門司 晃, 小林幸次, 古閑省一, 中村泰彦, 大屋信義, 本田 浩, 大喜 雅文, 豊福不可依: MR 脳血流マップ画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, 医用画像情報学会 MII 平成 24 年度年次(第 163 回)大会, (金沢), 2012 年 06 月 02 日, 金沢大学.
- 仲本宗泰, 有村秀孝, 塩山善之, 溝口明日実, 中村和正, 吉留聡, 廣瀬貴章, 穴井重男, 本田浩, 梅津芳幸, 中村泰彦, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: 放射線治療における EPID を用いた 4 次元線量分布自動推定法の開発, 第 25 回日本高精度放射線外部照射研究会(広島), 2012 年 07 月 21 日, 広島国際会議場.
- 徳永千晶, 有村秀孝, 吉浦敬, 山下泰生, 小林幸次, 馬込大貴, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: フェジイマンバシッパマップの局所勾配ベクトル軌道を用いたアルツハイマー病患者の脳皮質厚自動測定方法の開発,(p.22), 第 31 回日本医用画像工学会大会 JAMIT2012, (札幌), 2012 年 08 月 04 日, JA 北海道厚生連 札幌厚生病院.
- 奥好史, 有村秀孝, 平木嘉幸, 馬込大貴, 吉留郷志, 西郷康正, 池田睦, 福島昇, 伊藤宗一郎, 中條政敬, 平田秀紀: 子宮頸がん腔内照射治療における 2 次元と 3 次元治療計画の比較(p184-185), 第 104 回医学物理学会 JSMP(つくば), 2012 年 09 月 15 日, つくば国際会議場.
- Jin Z, Arimura H, Kuwazuru J, Shioyama Y, Magome T, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Sasaki, M Hirata H.: Automated Contouring of Tumor Regions in Treatment Planning CT Images Using PET/CT Images Based on a Localized Level Set Method (p133-134), 第 104 回医学物理学会 JSMP(つくば), 2012 年 09 月 15 日, つくば国際会議場.
- 溝口明日実, 有村秀孝, 塩山善之, 仲本宗泰, 吉留郷志, 廣瀬貴章, 穴井重男, 本田浩, 梅津芳幸, 平田秀紀, 大喜雅文, 中村和正, 豊福不可依: 放射線治療における EPID に基づいた 4 次元線量分布自動推定法の開発, 医用画像情報学会(MII)平成 24 年度秋季第 164 回大会(仙台), 2012 年 10 月 13 日, 東北大学医学部.

- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 溝口明日実, 徳永千晶, 中村和正, 本田浩, 中村泰彦, 豊福不可依, 平田秀紀: 類似症例に基づくビームアングルの最適化方法の開発, 日本放射線腫瘍学会第 25 回学術大会(東京), 2012 年 11 月 23 日, 東京国際フォーラム.
- 仲本宗泰, 有村秀孝, 塩山善之, 溝口明日実, 中村和正, 吉留郷志, 廣瀬貴章, 穴井重男, 本田浩, 梅津芳幸, 中村泰彦, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: EPID に基づいた肺定位放射線治療における 4 次元線量分布自動推定法の開発, 日本放射線腫瘍学会第 25 回学術大会(東京), 2012 年 11 月 23 日, 東京国際フォーラム.
- 野中歩美, 有村秀孝, 馬込大貴, 塩山善之, 中村和正, 本田浩, 平田秀紀: 肺定位放射線治療計画支援のための SIFT(scale-invariant feature transform)特徴量を用いた類似画像の検索法の開発, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会(長崎), 2012 年 11 月 25 日, 長崎大学医学部.
- 長瀬圭将, 有村秀孝, 塩山善之, 中村和正, 垣内玄雄, 神沢聡, 本田浩, 平田秀紀: 陽子線治療計画における GPU を用いた線量計算高速化, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会(長崎), 2012 年 11 月 25 日, 長崎大学医学部.
- 岩崎あゆみ, 有村秀孝, 中村和正, Mazen Soofi, 塩山善之, 本田浩, 平田秀紀: 高精度放射線治療における TOF 距離画像センサーを用いた患者セットアップエラーの検出方法の開発, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会(長崎), 2012 年 11 月 25 日, 長崎大学医学部.
- 有村秀孝, 徳永千晶, 吉浦敬, 山下泰生, 小林幸次, 馬込大貴, 本田浩, 平田秀紀.: ファジィメンバシップ画像における局所勾配ベクトル軌道を用いた三次元大脳皮質厚自動測定方法の開発, 平成 24 年度日本生体医工学会九州支部学術講演会(鹿児島), 2012 年 12 月 15 日, 鹿児島大学.
- Jin Z, Arimura H, Shioyama Y, Kuwazuru J, Magome T, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Hirata H, Sasaki M.: Computer-aided Delineation of Lung Tumor Regions in Treatment Planning CT Images and PET/CT Images Using Localized Level Set Approach, 電子情報通信学会 研究会(沖縄), 2013 年 01 月 24 日, 沖縄ぶんかテンプス館.
- 垣内玄雄, 有村秀孝, 塩山善之, 蓑原伸一, 溝口明日実, 中村和正, 本田浩, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: 粒子線治療における電子密度投影画像のパワースペクトルを用いたビーム方向最適化法の開発, 医用画像情報学会(MII)平成 24 年度春季(第 165 回)大会(北九州), 2013 年 02 月 02 日, 九州工業大学工学部.
- 中西大樹, 納富昭弘, 田中亮治: 反跳陽子位置分布に基づく中性子エネルギー測定における応答関数の評価, 第 103 回日本医学物理学会学術大会, 2012 年 04 月 15 日, 神奈川県 横浜市.
- 納富 昭弘, 長峰周治, 佐藤絢香, 若林源一郎, 豊福 不可依: ポリエチレン内張型反跳陽子比例計数管のパルス立ち上がり時間による n/γ 弁別, 第 104 回日本医学物理学会, 2012 年 09 月 15 日, 茨城県 つくば市.
- 若林源一郎, 納富 昭弘, 中西大樹, 藤淵俊王: NaI シンチレータの自己放射化測定にもとづく高感度中性子検出(1), 応用物理学会, 2013 年 03 月 30 日, 神奈川工科大学.
- 納富 昭弘, 八尋絵莉子, 中西大樹, 若林源一郎, 藤淵俊王, 梅津芳幸, 福永淳一, 長峰周治, 中村泰彦: NaI シンチレータの自己放射化測定にもとづく高感度中性子検出(2), 応用物理学会, 2013 年 03 月 30 日, 神奈川工科大学.
- 納富 昭弘, 佐藤絢香, 豊福 不可依, 長峰周治, 若林源一郎: ポリエチレン内張型反跳陽子比例計数管のパルス波形解析による n/γ 弁別についての検討, 第 27 回 研究会「放射線検出器とその応用」, 2013 年 02 月 06 日, つくば市 高エネルギー加速器研究機構.
- 納富 昭弘: 反跳陽子位置分布情報にもとづく中性子エネルギー評価方法, 第 104 回日本医学物理学会, 2012 年 09 月 14 日, 茨城県・つくば市.

- 八尋絵莉子, 中村祐一, 納富 昭弘, 鳥居達男, 若林源一郎, 伊藤哲夫: プラスチック・シンチレーションファイバーを用いた放射性セシウム分布測定に関する基礎的検討, 応用物理学会 放射線分科会 放射線夏の学校, 2012年08月07日, 茨城県・つくば市.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- Arimura H, Tokunaga C, Yamashita Y, Kuwazuru K.: (共著) "Magnetic Resonance Image Analysis for Brain CAD Systems with Machine Learning" in Machine Learning in Computer-Aided Diagnosis: Medical Imaging Intelligence and Analysis Edited by Kenji Suzuki (The University of Chicago), 2013年02月, IGI Global.
- 有村秀孝(分担執筆): (共著) 実践医用画像解析ハンドブック(監修:藤田広志, 石田隆行, 桂川茂彦)6.4.6.3 脳 MR 画像における認知症と多発性硬化症の CAD, pp.701-707, 2012年11月, オーム社.
- 有村秀孝(分担執筆): (共著) 実践医用画像解析ハンドブック(監修:藤田広志, 石田隆行, 桂川茂彦)5.5.6 放射線治療における自動領域抽出法, pp.505-512, 2012年11月, オーム社.

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- 有村秀孝: 第103回日本医学物理学会(JSMP)学術大会レポート, INNERVISION, 2012年06月, .
- 有村秀孝: JRC 2012 キーワードから診断しよう!, Ran Fan, 2012年06月, .
- Kakiuchi G, Arimura H, Shioyama Y, Minohara S, Mizoguchi A, Honda H, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Automated determination of robust beam directions against patient setup errors based on electron density spatial distribution in hadron particle therapy, World Congress Medical Physics and Biomedical Engineering (WC2012), 2012年05月, .
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Mizoguchi A, Tokunaga C, Nakamura K, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Computer-assisted radiation treatment planning system for determination of beam directions based on similar cases in a database for stereotactic body radiotherapy, Proc. of SPIE Vol.8319, 83190O(8 pages), 2012年06月, .
- Jin Ze, Arimura H, Shioyama Y, Fukuta M, Magome T, Kakiuchi G, Nakamura K, Honda H, Hirata H, Toyofuku F.: Computer-aided radiotherapy: extraction of bronchial regions in treatment planning CT images, World Congress Medical Physics and Biomedical Engineering (WC2012, Beijing), 2012年05月, .
- 有村秀孝: 画像工学から見た放射線治療における画像融合と検証の可能性, 日本放射線技術学会 放射線治療分科会誌, 2012年10月, .
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Mizoguchi A, Tokunaga C, Nakamura K, Nakamura Y, Honda H, Ohki, Toyofuku F, Hirata H: Computer-assisted determination of the usable beam arrangement from similar treatment plans in stereotactic body radiotherapy, Proceedings of Workshop of Image-Guidance and Multimodal Dose Planning in Radiation Therapy, MICCAI 2012(p.101-107), 2012年10月, .
- Arimura H, Kakiuchi G, Shioyama Y, Minohara S, Mizoguchi A, Nakamura K, Nakamura Y, Honda H, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Computerized determination of robust beam directions against patient setup errors in hadron particle therapy, Proceedings of Workshop of Image-Guidance and Multimodal Dose Planning in Radiation Therapy, MICCAI 2012(p.82-87), 2012年10月, .

- Jin Z, Arimura H, Shioyama Y, Kuwazuru J, Magome T, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Hirata H, Sasaki M.: Computer-aided Delineation of Lung Tumor Regions in Treatment Planning CT Images and PET/CT Images Using Localized Level Set Approach, IEICE Technical Report Vol. 112, No.411, pp.49-51, 2013年01月, .
- Nakamoto T, Arimura H, Shioyama Y, Mizoguchi A, Nakamura K, Yoshidome Y, Hirose T, Anai S, Honda H, Umezu Y, Nakamura Y, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Computerized monitoring of a lung tumor motion in four-dimensional dose distribution in stereotactic body radiation, Proceedings of International Forum on Medical Imaging in Asia 2012, Vol.38, pp.1-3, 2012年11月, .
- Arimura H, Kakiuchi G, Jin Z, Shioyama Y, Minohara S, Nakamura K, Honda H, Hirata H.: Computer-Assisted Particle Therapy System Based on Computational Anatomy Models for Treatment Planning, Proceedings of The Fourth International Symposium on the Project "Computational Anatomy"(p.101-102), 2013年02月, .

受賞

- 有村, 「Automated segmentation method of white matter and gray matter regions with multiple sclerosis lesions in MR images, Radiol Phys Technol 4 (1), 61-72, 2011」, Radiological Physics and Technology 2011年度土井賞(核医学/MR/Informatics分野)(Magome T, Arimura H, et al.) "Automated segmentation method of white matter and gray matter regions with multiple sclerosis lesions in MR images", Radiol Phys Technol 4 (1), 61-72, 2011, Radiological Physics and Technology, 2012年04月.
- 有村, 「MR脳血流マップ画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, Vol.28(2011), No.3, pp.72-78」, 平成23年度内田論文賞(山下泰生, 有村秀孝他) MR脳血流マップ画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, 医用画像情報学会(MII)平成24年度年次(第163回)大会, 金沢, 2012年06月.
- 納富, 「ポリエチレン内張型反跳陽子比例計数管のパルス立上がり時間によるn/γ弁別」, 第104回日本医学物理学会学術大会 大会長賞, 日本医学物理学会, 2012年09月.

報道

- 有村, INNERVISION27巻, 6号, 27-29,(2012.06), 「第103回日本医学物理学会(JSMP)学術大会レポート」, 2012年06月.
- 有村, Ran Fan,10巻, 7号, 61-63,(2012.06), 「JRC 2012 キーワードから診断しよう!」, 2012年06月.
- 有村, Radiological Technology VOL68. NO. 1, p139, (2013.01), 「日本放射線技術学会(JSRT)誌バーチャルインタビュー大学院・研究室紹介第8回九州大学」, 2013年01月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 高橋, レーザー生成プラズマからの極端紫外線による無機材料の微細加工に関する研究, 筑波大学大学院, 2008年04月~, 公開.

○

2. 受託研究

- 有村, 次世代医用クラウドシステムによる脳卒中に関する統合診断支援プラットフォームの構築, 株式会社NTTデータ <http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2012/102600.html>, 2012年11月~2014年02月, 公開.

3. 取得特許

- HIGH-SENSITIVE NEUTRON-DETECTION METHOD BASED ON THE SELF-ACTIVATION OF SCINTILLATION MATERIALS, AKIHIRO NOHTOMI, GENICHIRO WAKABAYASHI, TETSUO ITO, QP120305-US, 米国仮出願済 61/774768, 出願日 2013/3/8.

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談

- 従来から開発してきた、長尺シンチレーションファイバー検出器を用いた線量位置分布測定システムを福島県内の原発事故被災地に持ち込み、放射性物質の表面汚染分布測定が迅速に可能であることを実証した。九州大学、近畿大学、日本原子力開発機構。

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 有村, Beijing International Convention Center (China), 国際会議, 2012年05月～2012年05月(2週間未満) .
- 有村, Charlotte Convention Center(United States of America), 国際会議, 2012年07月～2012年08月(2週間未満) .
- 有村, the Acropolis Convention and Exhibition Centre(France), 国際会議, 2012年10月～2012年10月(2週間未満) .
- 有村, Korea Advanced Institute of Science and Technology (KAIST), Daejeon(Korea), 国際会議, 2012年11月～2012年11月(2週間未満) , .

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ

靳 沢 (Jin Ze, キン タク) G30	修士課程	受入れ教員:有村秀孝
Soufi Mazen (from Syria) G30	修士課程	受入れ教員:有村秀孝

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当 なし

1. 全学委員

- 大喜, 認証評価部会委員.
- 大喜, 全学教育企画委員会(基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目].
- 大喜, 保健学科支線 LAN 管理者.
- 大喜, 情報通信基盤連絡会議.
- 高橋, 入学者選抜研究委員会 .
- 有村, 病院地区 総合研究棟 支線LAN管理者.

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

- 納富, 地域国際連携推進委員会・FD 委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大喜, 九州大学歯学部, 非常勤講師.
- 大喜, 福岡医健専門学校, 非常勤講師.
- 大喜, 長崎大学歯学部, 非常勤講師.
- 納富, 近畿大学, 原子力研究所客員准教授.

2. 学協会

- 有村, 応用物理学会放射線分科会, 幹事, 国内.
- 有村, 電子情報通信学会 医用画像研究専門委員, その他(医用画像研究専門委員), 国内.
- 有村, 医用画像情報学会 MII, 理事(庶務担当理事), 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP) 教育委員,用語委員,代議員, その他(教育委員,用語委員,代議員), 国内.
- 有村, 電子情報通信学会 和英医用画像特集号, 編集委員, 国内.

- 納富, 日本医学物理学会, その他(医学物理学 教科書 ad hoc 委員会 委員), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会, その他(第 103 回 学術大会 プログラム委員), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会 医学物理学教科書シリーズ「放射線計測学」, 編集委員(執筆医院、教科書 ad hoc 委員会 委員), 国内.
- 納富, Proceedings of ICRS12 & RPSD 2012(published as Progress of Nuclear Science and Technology), 編集委員, 国内.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 納富, 「従来から開発してきた、長尺シンチレーションファイバー検出器を用いた線量位置分布測定システムを福島県内の原発事故被災地に持ち込み、放射性物質の表面汚染分布測定が迅速に可能であることを実証した。」, 九州大学、近畿大学、日本原子力開発機構, (技術相談), .

5. 公開講座・公開講演会

- 大喜, 「第 13 回(平成 24 年度)認定看護管理制度セカンドレベル教育「情報テクノロジー」の講義を行った」, 福岡県看護協会・認定看護管理教育運営委員会. 福岡市, セミナー・研修会.
- 有村, 「サマーセミナー、医学物理に関する講義(8/31) 1:Mathematical Methods for Imaging in Medicine, Fusion Registration Deformation 2:Special Topics (Computational Skills, Professional Ethics…)」, 日本医学物理学会. リゾートホテル阿蘇いこいの村, セミナー・研修会.
- 有村, 「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「画像支援高精度放射線治療システムの開発」」, 群馬大学がんプロ・リーディングプログラム. 群馬大学重粒子線医学センター(3/29), セミナー・研修会.
- 納富, 「サマーセミナー、医学物理に関する講義(8/31) 1:「Basic Radiation Physics」 2:「Dosimetric Principles, Quantities and Units」, 日本医学物理学会. リゾートホテル阿蘇いこいの村, セミナー・研修会
- 納富, 「2012 年 医学物理ミニマム講習会」での講義(7/20) 「放射線基礎物理」, 日本医学物理士会, 秋葉原ダイビル, セミナー・研修会
- 納富, 「『放射線』を考えるヒント」講演」, 九州大学医学部保健学科. コラボステーション I, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

教授	小坂 克子
教授	佐々木 雅之
教授	平田 秀紀
教授	杜下 淳次
准教授	藪内 英剛
講師	熊澤 誠志
助教	赤坂 勉

1. 教育活動

1. 大学院講義

佐々木 雅之		
分子機能画像科学論 (分担)		後期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
ヘルスサイエンス論 (分担)		前期
小坂 克子		
分子機能基礎科学論		後期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
平田 秀紀		
国際社会とチーム医療 (分担)		前期
量子線治療科学論 (分担)		後期
アジアの保健学 (分担)		前期
がん病態治療論 (分担)		前期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
杜下 淳次		
保健学研究論 (分担)		前期
医用画像科学論		後期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
藪内 英剛		
分子機能画像科学論 (分担)		後期
臨床量子線科学 I (分担)		前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

佐々木 雅之		
分子機能画像科学演習 (分担)		前期
臨床量子線科学 II (分担)		前期
平田 秀紀		
臨床量子線科学 II (分担)		前期

杜下 淳次		
	臨床量子線科学Ⅱ (分担)	前期
藪内 英剛		
	分子機能画像科学演習 (分担)	前期
	臨床量子線科学Ⅱ (分担)	前期

4. 大学院修士課程修了者

赤松 剛	PET/CT 検査の定量性向上に関する研究～PSF 補正と TOF 補正の画質改善効果～
矢野 佑季	胸部単純 X 線画像における模擬病変の検出能: Irradiation Side Sampling 方式間接変換型 FPD と CR の比較
幾嶋洋一郎	医用液晶ディスプレイ装置の視野角特性の視覚評価と画像読影による疲労に関する研究
實部 真也	医用液晶ディスプレイに必要な輝度比とマモグラムの定量的な分類に関する研究
津田 規吏	コンピューテッドラジオグラフィによる γ 線検出特性と被ばく低減を目的とした両面集光方式の画質に関する研究
峠 理沙	胸部単純 X 線画像における画像情報を用いた患者自動探索法の改良に関する研究
徳禮 将吾	デジタルカメラを用いた医用液晶ディスプレイの輝度に基づく定量評価法に関する基礎的研究

5. 大学院博士課程修了者

田中 延和	Studies on image quality and patient exposure for a digital radiographic system employing a new technology
-------	--

6. 学部講義

佐々木 雅之		
	放射化学・実験 (分担)	後期
	核医学検査学Ⅰ	通年
	核医学検査学Ⅱ	通年
	放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	前期
	放射線医学技術学概論 (分担)	後期
	コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
	医学総論Ⅰ (分担)	前期
平田 秀紀		
	放射線生物学 (分担)	前期
	放射線治療技術学 (分担)	前期
	放射線治療技術学Ⅱ (分担)	後期
	放射線治療機器学 (分担)	前期
	コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
	放射線機器学 (分担)	前期
	放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	前期
	臨床概説 (分担)	前期
	医学総論Ⅰ (分担)	前期
	放射線医学技術学概論 (分担)	後期

杜下 淳次	
医用画像評価学 (分担)	後期
放射線画像技術学 I (分担)	後期
コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
放射線医学技術学概論 (分担)	後期
藪内 英剛	
画像検査学 (分担)	前期
放射線画像技術学実習 (分担)	後期
コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
放射性同位元素検査学 (分担)	前期
放射線診断学特論	後期
画像解剖学	後期
MR 超音波画像技術学	前期
医療系統合教育	前期
熊澤 誠志	
品質管理論	後期
医用画像処理学 II	後期
放射線画像技術学 II	前期
コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
赤坂 勉	
放射線管理学	前期
写真工学	前期
コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期

7. 学部の実験・実習・演習

佐々木 雅之	
放射化学・実験 (分担)	後期
放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	前期
臨地実習 (分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年
医療系統合教育・インフォームドコンセント	前期
平田 秀紀	
放射線治療技術学実習 (分担)	後期
臨地実習 (分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年
杜下 淳次	
卒業研究 (分担)	通年
臨地実習 (分担)	通年
放射線画像技術学実習 (分担)	前期
放射線機器学実験 (分担)	前期
藪内 英剛	
放射化学・実習 (分担)	後期
放射線画像技術学実習 (分担)	後期
医療系統合教育・インフォームドコンセント	前期

臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
熊澤 誠志	
放射線画像技術学実習 (分担)	通年
放射化学・実験(分担)	後期
医用画像処理学演習	前期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
赤坂 勉	
写真工学実験	後期
放射線管理学実験	後期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年

8. 卒業論文作成者

三笠 翔平	異なる PET 装置を用いた乳癌 FDG 二相検査への部分容積効果補正の効果
木寺 大輔	振幅同期を用いた呼吸同期 PET の有用性の検討
木原 謙	PSF 補正 PET/CT 画像における edge artifact の評価
露口 智絵	医療被ばくにおける診療放射線技師の意識および診療行為に関する調査
前之園康太	子宮頸癌 RALS における ^{60}Co と ^{192}Ir (二次元・三次元) の線量分布の違い
境 紀行	CT 肺癌検診における逐次近似画像再構成法を用いた低線量撮影:他疾患の画質への影響の検討
小野 有加	非浸潤性乳管癌の ADC、FA に対する背景乳腺脂肪の影響
平山 智香	デジタルマンモグラフィ上の微小石灰化の形状診断:円形度表示の影響
酒匂 俊平	MRI における磁化率効果に起因した磁場不均一の可視化
西懸 大介	ボクセル内のプロトンのランダムウォークに基づく拡散 MRI シミュレータの開発
竹下 利貴	脂肪抑制 MR 画像における乳腺領域自動抽出手法の開発
松熊 紋未	生殖腺被ばく線量の検証(2)骨盤系一般撮影
池田 健人	生殖腺被ばく線量の検証(1)腹部系一般撮影
酒井 友貴	胸部単純 X 線画像の撮影条件が画像の類似度の評価に及ぼす影響
汐月 剣志	空間周波数成分の違いによるデジタルマンモグラムの類似度の定量評価
松延 佑将	CT 画像から単純 X 線画像を作成する手法に関する研究

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

平田	学科長として参加	平成 24 年度新入生合宿研修
----	----------	-----------------

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断
---	--------------------------------------

佐々木

2	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断	佐々木
3	悪性腫瘍および正常組織に対する放射線の効果	平田
4	デジタル X 線画像の画質評価法の開発	杜下
5	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下
6	乳腺腫瘍の MRI による診断、頭頸部腫瘍の MRI による診断、造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究、肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメーターの研究	藪内
7	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内
8	functional MRI における脳機能部位の高精度抽出	熊澤
9	EPI 撮像法におけるゴーストアーチファクトの低減	熊澤
10	MRI 画像におけるインタラクティブな領域抽出	熊澤
11	拡散テンソル MR 画像における脳の機能・形態情報抽出および可視化手法の開発	熊澤
12	患者被ばく線量の測定	赤坂

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

佐々木 雅之

- 「基盤研究(C)」 TOF方式PET装置を用いた分子イメージングの放射線治療計画への応用，佐々木(代表)，90 千円.

藪内 英剛

- 「基盤研究(C)」 3T-MRI を用いた乳腺拡散テンソル画像の乳がん診療への応用，藪内(代表)，1300 千円.

熊澤 誠志

- 「基盤研究(C)」 拡散テンソル MR 画像における脳の機能・形態情報抽出および可視化手法の開発，熊澤(代表)，1400 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

佐々木 雅之

- 「PET による腫瘍診断の研究」日本メジフィジックス.
- 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」フジRIファーマ.

5. その他の外部研究資金の受入れ

杜下 淳次

- 「株式会社ナナオ 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Go Akamatsu, Kaori Ishikawa, Katsuhiko Mitsumoto, Takafumi Taniguchi, Nobuyoshi Oya, Shingo Baba, Koichiro Abe, Masayuki Sasaki: Improvement in PET/CT image quality with a combination of the point-spread-function and time-of-flight in relation to the reconstruction parameters., *J Nucl Med*, , 2012 年 11 月. (査読あり)
- Yasuhiro Maruoka, Koichiro Abe, Shingo Baba, Takuro Isoda, Hirofumi Sawamoto, Tanabe Y, Masayuki Sasaki, Hiroshi Honda: Incremental Diagnostic Value of SPECT/CT with ¹³¹I Scintigraphy after Radioiodine Therapy in Patients with Well-differentiated Thyroid Carcinoma., *Radiology*, Radiology. 2012 Dec;265(3):902-9. doi: 10.1148/radiol.12112108. Epub 2012 Sep 25., 2012 年 12 月. (査読あり)
- Tanaka N, Yano Y, Hidetake Yabuuchi, Akasaka Tsutomu, Masayuki Sasaki, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Basic imaging properties of an indirect flat-panel detector system employing irradiation side sampling (ISS) technology for chest radiography: comparison with a computed radiographic system. , *Radiol Phys Technol*. , Radiol Phys Technol. 2013 Jan;6(1):162-9. doi: 10.1007/s12194-012-0184-z. Epub 2012 Nov 10., 2013 年 01 月. (査読あり)
- Shinmura A, Koichiro Abe, Shingo Baba, Takuro Isoda, Yasuhiro Maruoka, Yasukawa F, Kiryu H, Masayuki Sasaki, Hiroshi Honda, Masutaka Furue: FDG PET/CT Findings in Acquired Perforating Dermatitis., *Clin Nucl Med*. , Clin Nucl Med. 2012 Oct;37(10):997-1000. doi: 10.1097/PCR.0b013e3182675159., 2012 年 10 月. (査読あり)
- Yasuhiro Maruoka, Koichiro Abe, Shingo Baba, Takuro Isoda, Yoshio Matsuo, Kubo Y, Ogawa S, Yano T, Masayuki Sasaki, Hiroshi Honda: A case of pulmonary choriocarcinoma metastasis with unusual FDG-PET and CT findings: correlation with pathology., *Ann Nucl Med*. , Ann Nucl Med. 2012 Dec;26(10):835-9. doi: 10.1007/s12149-012-0644-x. Epub 2012 Aug 15., 2012 年 12 月. (査読あり)
- Yoshiyuki Kitamura, Koichiro Abe, Akio Sakamoto, Shingo Baba, Takuro Isoda, Yasuhiro Maruoka, Yoshio Matsuo, Kubo Y, Hiroshi Nishimura, Masayuki Sasaki, Hiroshi Honda: Malignant triton tumor in the abdominal wall: a case report, *Advances in Molecular Imaging (AMI)* ., Advances in Molecular Imaging (AMI) . 2013; 3(2): 9-13. DOI: 10.4236/ami.2013.32002,, 2013 年 02 月. (査読あり)
- 松尾 悟, 杜下淳次, 片渕哲朗, 藤田広志: 新しい輝尽性蛍光板を用いた位相イメージングによるエッジ強調効果の評価, *日本放射線技術学会雑誌*, , 2012 年 05 月. (査読あり)
- Hiroshi Akamine, Junji Morishita, Michinobu Matsuyama, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Fukai Toyofuku: Chromaticity and correlated color temperature of the white point in medical-liquid-crystal display, *Medical Physics*, , 2012 年 08 月. (査読あり)
- Nobukazu Tanaka, Kentaro Naka, Aya Saito, Junji Morishita, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Yoshiharu Higashida: Investigation of optimum anti-scatter grid selection for digital radiography: physical imaging properties and detectability of simulated low-contrast signals, *Radiological Physics and Technology*, In press, 2013 年 01 月. (査読あり)
- Hiroshi Akamine, Junji Morishita, Michinobu Matsuyama, Noriyuki Hashimoto, Yasuhiko Nakamura, Hidetake Yabuuchi: Effect of angular performance in the chromaticity of grayscale images displayed on medical liquid-crystal displays, *Radiological Physics and Technology*, In Press, 2013 年 01 月. (査読あり)
- 杜下 淳次: 画像の仲間の大切さ, , , 2013 年 03 月. ()

- Michinobu Matsuyama, Junji Morishita, Hiroshi Akamine, Shogo Tokurei, Hidetake Yabuuchi, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Masafumi Ohki: Effect of ambient lighting on liquid-crystal displays with different types of surface treatment, *Radiological Physics and Technology*, , 2013年01月. (査読あり)
- Nobukazu Tanaka, Yuki Yano, Hidetake Yabuuchi, Akasaka Tsutomu, Masayuki Sasaki, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Basic imaging properties of an indirect flat-panel detector system employing irradiation side sampling (ISS) technology for chest radiography: comparison with a computed radiographic system, *Radiological Physics and Technology*, , 2013年01月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- 赤松 剛, 光元 勝彦, 谷口 隆文, 小宮 勲, 大屋 信義, Koichiro Abe, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: The influences of point-spread-function and time-of-flight on SUV of lymph node metastasis in FDG-PET, 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月10日, United States of America.
- Akamatsu G, Mitsumoto K, Kasahara Y, Taniguchi T, Komiya I, Ohya N, Tsutsui Y, Sasaki M: Effect of PSF and TOF on the PET/CT image quality at various noise levels , 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月10日, United States of America.
- Taniguchi T, Kasahara Y, Mitsumoto K, Akamatsu G, Himuro K, Komiya I, Ohya N, Sasaki M: Improvement in PET/CT image quality in a 40 cm-large phantom with PSF and TOF, 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月10日, United States of America.
- Taniguchi T, Kasahara Y, Mitsumoto K, Akamatsu G, Himuro K, Komiya I, Ohya N, Sasaki M: Improvement in the recovery coefficient of PET/CT images with PSF and TOF, 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月10日, United States of America.
- Enomoto M, Yamashita Y, Tsutsui Y, Komiya I, Ohya N, Nakamura Y, Honda H, Sasaki M.: Development of a 3D digital brain phantom from CT images for evaluation of different brain SPECT/CT images , 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月11日, United States of America.
- Miwa K, Wagatsuma K, Sasaki M, Takiguchi T, Osawa A, Miyaji N, Akimoto K, Umeda T.: Technical approaches for quantitative response to therapy using 18F-FDG PET: The partial volume effect correction and optimal index , 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月11日, United States of America.
- Masayuki Sasaki: Clinical differentiation between malignant and benign pulmonary nodules using heterogeneity of 18F-FDG uptake distribution, 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月12日, United States of America.
- Abe K, Baba S, Isoda T, Maruoka Y, Sasaki M, Honda H.: The efficacy of FDG-PET/CT for the differentiation of autoimmune pancreatitis from pancreatic cancer. , 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月10日, United States of America.
- Isoda T, Abe K, Baba S, Maruoka Y, Yoshitake T, Nakamura K, Sasaki M, Honda H.: Prediction of tumor response to chemoradiation with coefficient of variation of FDG uptake in metastatic lymph nodes in the patients with pharyngeal cancer., 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月10日, United States of America.
- Baba S, Abe K, Isoda T, Maruoka Y, Sasaki M, Honda H.: Variability of size-corrected pretreatment FDG uptake predicts prognosis of patients with diffuse large cell lymphoma., 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月10日, United States of America.

- Maruoka Y, Baba S, Abe K, Isoda T, Sasaki M, Honda H.: The clinical usefulness of partial volume effect corrected FDG-PET/CT for the prediction of I-131 accumulation in metastatic lymph nodes during I-131 therapy for patients with papillary thyroid carcinoma. , 59th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2012年06月10日, United States of America.
- Yoichiro Ikushima, Yasuhiko Nakamura, Junji Morishita: A visual method for evaluating the angular performance of liquid-crystal displays with the ANG test pattern, Japanese Society of Radiological Technology the 68th Annual Scientific Congress, 2012年04月15日, Japan.
- Shinya Takarabe, Hidetake Yabuuchi, Junji Morishita: Investigation of the luminance ratio of liquid-crystal displays required for displaying radiographs, Japanese Society of Radiological Technology the 68th Annual Scientific Congress, 2012年04月15日, Japan.
- Shogo Tokurei, Masaki Asahara, Fukai Toyofuku, Junji Morishita: Analysis method of liquid-crystal display devices by use of commercially available digital cameras, Japanese Society of Radiological Technology the 68th Annual Scientific Congress, 2012年04月15日, Japan.
- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Seiji Kumazawa, Akiko Suyama Chishaki, Hiroshi Honda, Junji Morishita: Evaluation of cardiac mechanical dyssynchrony with longitudinal strain analysis in 4-chamber cine magnetic resonance imaging, International Society for Magnetic Resonance in Medicine (ISMRM) 20th annual meeting and exhibition, 2012年05月07日, Australia.
- Yoichiro Ikushima, Hidetake Yabuuchi, Hiroshi Honda, Junji Morishita: Investigation of dominant factors affecting fatigue in image reading of radiologists, American Association of Physicists in Medicine 54th Annual Meeting, 2012年07月29日, United States of America.
- Shinya Takarabe, Hidetake Yabuuchi, Junji Morishita: Investigation of the usefulness of a standard deviation and mammary gland density as indexes for mammogram classification, American Association of Physicists in Medicine 54th Annual Meeting, 2012年07月29日, United States of America.
- Yudai Yano, Hiroshi Akamine, Shinichi Awamoto, Yasuhiko Nakamura, Junji Morishita: Effect of different fluorescent lights with various colors of a reading room on chromaticity of LCD, American Association of Physicists in Medicine 54th Annual Meeting, 2012年07月29日, United States of America.
- Risa Toge, Junji Morishita, Yasuo Sasaki, Kunio Doi: Investigation of effective biological fingerprints in chest radiographs for finding misfiled patient's images, Japanese Society of Radiological Technology the 40th Autumn Scientific Congress, 2012年10月04日, Japan.
- Shogo Tokurei, Junji Morishita, Masaki Asahara, Fukai Toyofuku: Development of a consistent method for evaluating color and monochrome displays based on luminance by using commercially available cameras, Radiological Society of North America (RSNA) 98th Scientific Assembly and Annual Meeting, 2012年11月25日, United States of America.
- Nobukazu Tanaka, Noriko Mizoguchi, Saki Yamaguchi, Akiko Hattori, Hidetake Yabuuchi, Junji Morishita, Toyoyuki Kato, Yuki Yano, Kiyo Iwakiri, Chihiro Matsuo, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura: Imaging properties of a new direct conversion type flat panel detector system employing optical switching technology, Radiological Society of North America (RSNA) 98th Scientific Assembly and Annual Meeting, 2012年11月28日, United States of America.

- Takuro Shiiba, Masaji Maeda, Yasushi Kihara, Masayuki Sasaki, Junji Morishita: Evaluation of early phase washout rate of ¹²³I-MIBG for detecting abnormalities in cardiac sympathetic nervous system: comparison with conventional method, 25th European Congress of Radiology, 2013年03月01日, Austria.
- Daigo Ushijima, Seiji Kumazawa, Hidetake Yabuuchi, and Masafumi Ohki: An investigation of the influence of image distortion on the measurement of apparent diffusion coefficient (ADC) values in the cerebral cortex using diffusion MRI simulator, European congress of radiology, 2013年03月07日, Austria.
- Tsukasa Kojima, Hidetake Yabuuchi, Hiroshi Narita, Seiji Kumazawa, Yuzo Yamasaki, Yuki Yano, Youichi Kurihara, Masahumi Masaki, Hiroshi Kimura: Evaluation of the efficacy of RADial Acquisition Regime (RADAR) acquisition method in the head and neck MR images, European congress of radiology, 2013年03月07日, Austria.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 平田 秀紀, 大野和子, 齊藤勉, 古井滋, 緒方裕光, 酒井一夫: 日本放射線科専門医・医会アンケート報告—医療にかかわる放射線被曝についての専門医の意識・行動アンケート調査報告, 臨床放射線, 2013年03月.
- 平田 秀紀: 夏季セミナー2012, JASTRO NEWSLETTER, 2013年01月.
- 平田 秀紀: 放射線治療におけるチーム医療, JASTRO NEWSLETTER, 2013年03月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 赤松 剛, 光元勝彦, 笠原有紀子, 谷口隆文, 大屋信義, 佐々木雅之: FDGのリンパ節集積に対するTOF補正の影響, 第68回日本放射線技術学会総会学術大会, 2012年04月14日, 横浜市.
- 谷口隆文, 笠原有紀子, 光元勝彦, 赤松 剛, 大屋信義, 佐々木雅之: TOF補正による大口径ファントムのPET/CT画像の画質改善, 第68回日本放射線技術学会総会学術大会, 2012年04月14日, 横浜市.
- 三輪建太, 我妻慧, 小山眞道, 早坂和正, 大澤敦, 長尾充展, 佐々木雅之: 肺結節病変の¹⁸F-FDG集積分布の不均一性による良悪性鑑別, 第68回日本放射線技術学会総会学術大会, 2012年04月14日, 横浜市.
- 丸岡保博, 阿部光一郎, 馬場眞吾, 磯田拓郎, 佐々木雅之, 本田浩: 分化型甲状腺癌ヨード治療の治療効果判定: 部分容積効果補正 FDG-PET/CTによる転移リンパ節の解析, 第71回日本医学放射線学会総会, 2012年04月12日, 横浜市.
- 阿部光一郎, 馬場眞吾, 磯田拓郎, 丸岡保博, 小川伸二, 佐々木雅之, 本田浩: 子宮頸癌センチネルリンパ節シンチにおけるSPECT/CTの有用性, 第71回日本医学放射線学会総会, 2012年04月12日, 横浜市.
- 佐々木雅之: PET研修セミナー・医師歯科医師コース 臨床編③「悪性リンパ腫・原発不明癌・炎症その他」, 第12回日本核医学会春季大会, 2012年04月28日, 東京都.
- 佐々木 雅之: 核医学専門医教育セミナー・核医学指導者コース「PET/CT」, 第12回日本核医学会春季大会, 2012年04月28日, 東京都.
- 北村宜之, 阿部光一郎, 馬場眞吾, 磯田拓郎, 丸岡保博, 坂本昭夫, 佐々木雅之, 本田浩: 腹壁悪性tritonの一例, 第175回日本医学放射線学会九州地方会, 2012年06月09日, 鹿児島市.
- 姥 浩二, 赤松 剛, 成末 彰博, 松本 絵里, 平井 徹良, 大塚 貴輝, 谷口 隆文, 光元勝彦, 筒井 悠治, 佐々木 雅之: TOF-PET/CT装置の検出器リング数の違いに関する検討(1) -39リング装置と52リング装置の基本性能の違い-, 第32回日本核医学技術学会総会学術大会, 2012年10月13日, 札幌市.
- 谷口 隆文, 成末 彰博, 赤松 剛, 光元 勝彦, 姥 浩二, 松本 絵里, 筒井 悠治, 佐々木 雅之: TOF-PET/CT装置の検出器リング数の違いに関する検討(2) -PSF補正・TOF

補正効果の違い-, 第 32 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2012 年 10 月 13 日, 札幌市.

- 赤松 剛, 姥 浩二, 谷口 隆文, 光元 勝彦, 成末 彰博, 松本 絵里, 筒井 悠治, 佐々木 雅之: TOF-PET/CT 装置の検出器リング数の違いに関する検討(3) -収集時間と放射能濃度の影響-, 第 32 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2012 年 10 月 13 日, 札幌市.
- 小島 宰, 藪内 英剛, 佐々木 雅之, 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 矢野 佑季, 小宮 勲, 本田 浩: 原発性肺癌における肺葉切除術後の肺機能予測: 肺換気・血流シンチグラフィと肺換気・血流 SPECT/CT との比較, 第 32 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2012 年 10 月 12 日, 札幌市.
- 北村 宜之, 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 丸岡 保博, 佐々木 雅之, 本田 浩: 肺病変の FDG 集積における呼吸同期 PET/CT の有用性の検討, 第 52 回 日本核医学会総会学術大会, 2012 年 10 月 11 日, 札幌市.
- 丸岡 保博, 長尾 充展, 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 北村 宜之, 肥後 太基, 砂川 賢二, 佐々木 雅之, 本田 浩: 非虚血性心筋症における心臓交感神経機能と左室同期性障害の関連: 123I-MIBG/201Tl 2核種同時収集による評価, 第 52 回 日本核医学会総会学術大会, 2012 年 10 月 12 日, 札幌市.
- 磯田 拓郎, 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 丸岡 保博, 北村 宜之, 佐々木 雅之, 本田 浩: 初回放射性ヨード内用療法施行時のサイログロブリン値: 臨床データおよび画像所見との比較, 第 52 回 日本核医学会総会学術大会, 2012 年 10 月 12 日, 札幌市.
- 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 丸岡 保博, 北村 宜之, 佐々木 雅之, 本田 浩: 自己免疫性膵炎と水癌の鑑別における FDG-PET/CT の有用性, 第 52 回 日本核医学会総会学術大会, 2012 年 10 月 13 日, 札幌市.
- 木寺 大輔, 筒井 悠治, 赤松 剛, 谷口 隆文, 木原 謙, 三笠 翔平, 田仲 由香, 佐々木 雅之: 振幅同期を用いた呼吸同期 PET の有用性の検討, 第 7 回 九州放射線医療技術学術大会、第 61 回(社)日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 58 回九州放射線技師学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎市.
- 木原 謙, 赤松 剛, 谷口 隆文, 木寺 大輔, 三笠 翔平, 田仲 由香, 小宮 勲, 筒井 悠治, 中村 泰彦, 佐々木 雅之: PSF 補正 PET/CT 画像における edge artifact の評価, 第 7 回 九州放射線医療技術学術大会、第 61 回(社)日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 58 回九州放射線技師学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎市.
- 三笠 翔平, 赤松 剛, 谷口 隆文, 木寺 大輔, 木原 謙, 松岡 光貴, 甘舛 慎史, 吉田 毅, 佐々木 雅之: 異なる PET 装置を用いた乳癌 FDG 二相検査への部分容積効果補正の効果, 第 7 回 九州放射線医療技術学術大会、第 61 回(社)日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 58 回九州放射線技師学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎市.
- 白石 仁志, 中島 彰吾, 鬼塚 泰裕, 高橋 昭彦, 木原 謙, 山下 泰生, 佐々木 雅之: PET スキャナのモンテカルロシミュレーションコードの開発, 第 7 回 九州放射線医療技術学術大会、第 61 回(社)日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 58 回九州放射線技師学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎市.
- 中島 彰吾, 白石 仁志, 鬼塚 泰裕, 高橋 昭彦, 木原 謙, 山下 泰生, 佐々木 雅之: 90Y-PET 画像のモンテカルロシミュレーション, 第 7 回 九州放射線医療技術学術大会、第 61 回(社)日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 58 回九州放射線技師学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎市.
- 丸岡 保博, 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 北村 宜之, 松尾 芳雄, 神谷 武志, 藤 賢史, 佐々木 雅之, 本田 浩: FDG-PET/CT にて診断困難であった上咽頭発生 hyalinizing clear cell carcinoma の一例, 第 48 回 日本核医学会九州地方会, 2013 年 01 月 26 日, 熊本市.

- 磯田 拓郎, 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 丸岡 保博, 佐々木 雅之, 本田 浩: BONENAVI の領域別の精度評価, 第 48 回 日本核医学会九州地方会, 2013 年 01 月 26 日, 熊本市.
- 佐々木 雅之: 核医学治療(RI 内用療法)の基礎知識, 第 20 回 核医学技術セミナー, 2013 年 03 月 02 日, 熊本市.
- 平田秀紀: 画像診断から見た胃腸疾患と全身の相関, 第 36 回大分臨床消化器研究会, 2012 年 04 月 03 日, .
- 平田 秀紀: 温度域別にみた細胞応答と臨床応用についての私見, 第 25 回九州・山口地区ハイパーサーミア研究会, 2012 年 08 月 11 日, .
- 杜下淳次: 技術活用セミナー3, 日本放射線技術学会, 2012 年 04 月 13 日, .
- 河窪正照, 長尾充展, 熊澤誠志, 樗木晶子, 本田浩, 杜下淳次: 四腔断像シネ MRI を用いた心臓の機械的同期不全の評価, 日本放射線技術学会第 68 回総会学術大会, 2012 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜.
- 津田規吏, 田中延和, 井手口忠光, 納富昭弘, 大喜雅文, 橋田昌弘, 杜下淳次: 福島第一原子力発電所事故に伴い CR 画像に出現した黒点の分析:福岡での測定, 日本放射線技術学会第 68 回総会学術大会, 2012 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜.
- 幾嶋洋一郎, 杜下淳次, 藪内英剛, 本田浩: 放射線科医の画像読影による疲労度に影響を及ぼす因子の調査, 日本放射線技術学会第 68 回総会学術大会, 2012 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜.
- 矢野雄大, 赤嶺寛地, 栗元伸一, 中村泰彦, 杜下淳次: 蛍光灯の色の違いが LCD の色に与える影響, 日本放射線技術学会第 68 回総会学術大会, 2012 年 04 月 15 日, パシフィコ横浜.
- 矢野佑季, 藪内英剛, 皆良田明美, 赤坂勉, 田中延和, 杜下淳次: 胸部単純 X 線画像における間質性肺炎模擬病変の検出能: Irradiation Side Sampling 方式間接変換型 FPD と CR の比較, 日本放射線技術学会第 68 回総会学術大会, 2012 年 04 月 15 日, パシフィコ横浜.
- 矢野雄大, 杜下淳次, 赤嶺寛地, 橋本憲幸, 中村泰彦: LCD の色の変化に関する研究: 蛍光灯の発光色と LCD の設定色温度の違い, 医用画像情報学会 MII 平成 24 年度年次(第 163 回)大会, 2012 年 06 月 02 日, 金沢大学.
- 甲斐征八, 熊澤誠志, 藪内英剛, 豊福不可依: 混合ガウス分布モデルを用いた MR 画像における局所的な画像信号強度不均一に対する補正法の開発, 第 68 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2012 年 04 月 15 日, パシフィコ横浜.
- 牛島大悟, 熊澤誠志: Echo planar imaging(EPI)画像シミュレータを用いた幾何学的歪みと撮像パラメータの検討, 第 68 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2012 年 04 月 13 日, パシフィコ横浜.
- 熊澤誠志, 吉浦敬, 本田浩, 豊福不可依: 頭部 EPI 画像におけるフィールドマップの画像ベース推定手法, 第 40 回日本磁気共鳴医学会大会, 2012 年 09 月 07 日, 国立京都国際会館.
- 牛島大悟, 熊澤誠志, 藪内英剛, 大喜雅文: シミュレータを用いた EPI 画像における幾何学的歪みと SNR の最適化:バンド幅による検討, 第 40 回日本磁気共鳴医学会大会, 2012 年 09 月 07 日, 国立京都国際会館.
- 甲斐征八, 熊澤誠志, 藪内英剛, 豊福不可依: 混合ガウスモデルを用いた高磁場 MR 画像における局所的な信号強度不均一に対する補正法の開発, 第 40 回日本磁気共鳴医学会大会, 2012 年 09 月 07 日, 国立京都国際会館.
- 西懸大介, 熊澤 誠志: 拡散強調 MR 画像シミュレータの開発, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎大学医学部 記念講堂/良順会館/ボンペ会館.

- 竹下利貴, 熊澤 誠志, 藪内 英剛: 脂肪抑制乳腺 MR 画像における乳腺領域抽出法の開発, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎大学医学部 記念講堂/良順会館/ポンペ会館 .
- 酒匂俊平, 熊澤 誠志: MRI における磁化率効果に起因した磁場不均一の可視化, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 25 日, 長崎大学医学部 記念講堂 /良順会館/ポンペ会館 .
- 西懸大介, 熊澤 誠志: 拡散強調 MR 画像シミュレータの開発, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 24 日, 長崎大学医学部 記念講堂/良順会館/ポンペ会館 .
- 池田健人, 松熊紋未, 赤坂 勉 : 生殖腺被ばく線量の検証(1)腹部系一般撮影, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 25 日, 長崎市.
- 松熊紋未, 池田健人, 赤坂 勉 : 生殖腺被ばく線量の検証(2)骨盤系一般撮影, 第 7 回九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 25 日, 長崎市.
- 境紀行、藪内英剛、近藤雅敏、松尾芳雄、矢野佑季、小島幸、小野有加、平山智香、本田浩:CT 肺癌検診における逐次近似画像再構成法を用いた低線量撮影- 他疾患の画質への影響の検討 -, 九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 25 日, 長崎市.
- 小野有加、藪内英剛、小林幸次、矢野佑季、松尾芳雄、小島幸、境紀行、平山智香、熊澤誠志、本田浩:非浸潤性乳管癌の ADC、FA に対する背景乳腺脂肪の影響, 九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 25 日, 長崎市.
- 平山智香、藪内英剛、服部昭子、松尾千尋、岩切希代、山口沙希、峠理沙、矢野佑季、小島幸、小野有加、境紀行、加藤豊幸、本田浩:デジタルマンモグラフィ上の微小石灰化の形状診断: 円形度表示の影響, 九州放射線医療技術学術大会, 2012 年 11 月 25 日, 長崎市.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本 なし

b. 総説

- 熊澤誠志: 拡散テンソルMRIとその解析・可視化技術, 医学物理士のための医学物理講習会資料 2012, 2012 年 09 月, .
- 藪内英剛、松尾芳雄、神谷武志、本田 浩:縦隔・胸膜腫瘍の画像診断, 呼吸器内科 21(3):242-253 2012 年 3 月
- 藪内英剛、松尾芳雄、神谷武志、中村和正、塩山善之、本田 浩:定位放射線治療における画像診断:放射線性肺炎の CT 所見、治療前 CT 所見と局所再発の関係, 映像情報メディア 44(1):44-47 2012 年 1 月

c. 解説, 書評など なし

受賞

- 杜下, 「指導する修士学生の徳禮将吾が受賞」, 優秀学生賞, 日本放射線技術学会, 2012 年 04 月.
- 熊澤, 「指導する修士学生の甲斐征八が受賞」, 優秀学生賞, 日本放射線技術学会, 2012 年 04 月.
- 熊澤, 「指導する修士学生の甲斐征八が受賞」, CyPos 賞 銅賞, 日本放射線技術学会, 2012 年 04 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下, 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究, 株式会社ナナオ, 2006 年 05 月~2014 年 03 月.

2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 佐々木, Society of Nuclear Medicine (United States of America), 国際会議, 2012年06月～2012年06月(2週間未満)。
- 佐々木, 高雄医学大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年10月～2012年10月(2週間未満)。
- 杜下, Korea University(Korea), 大学・研究所訪問, 2013年03月～2013年03月(2週間未満)。
- 杜下, The University of Chicago(United States of America), 大学・研究所訪問, 2012年12月～2012年12月(2週間未満)。

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
 - b. 訪問研究者 なし
- 留学生の受入れ なし
学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし

2. 部局委員

- 佐々木, 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員。
- 佐々木, 九州大学病院サイクロトン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会 委員。

3. 部門・コース内委員

- 佐々木, 医用量子線科学分野 分野長。
- 佐々木, 保健学部門 副部門長。
- 平田, 部門長。
- 熊澤, 地域国際連携推進・FD 委員。
- 熊澤, 学生委員。
- 熊澤, 放射線安全委員会。
- 赤坂, 広報委員。

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木, 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師。
- 平田, 久留米大学認定看護師教育センター, 非常勤講師。
- 平田, 福岡県立大学, 非常勤講師。

2. 学協会

- 佐々木, 日本核医学会, 理事, 国内。
- 佐々木, 日本核医学会, 評議員, 国内。
- 佐々木, 日本医学放射線学会, 代議員, 国内。
- 平田, 日本医学放射線学会, 評議員, 国内。
- 平田, 国際癌治療増感剤研究会, 理事, 国内。
- 平田, 日本放射線医学会生物部会, 理事, 国内。
- 平田, 日本放射線腫瘍学会, 理事, 国内。
- 杜下, 日本放射線技術学会, 理事(英語論文誌編集委員および担当理事), 国内。

- 杜下, 日本放射線技術学会, その他(第 69 回総会学術大会大会長, 大会開催委員会委員, 倫理審査委員会委員), 国内.
- 杜下, 日本ラジオロジー協会, 理事, 国内.
- 杜下, 医用画像情報学会、総務理事、国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 平田, 「男と女の腫瘍学」, ライオンズクラブ. 福岡, 講演会・公開討論.

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

教授	藤本 秀士
教授	栢森 裕三
准教授	水上 令子
講師	田代 洋行
講師	小島 夫美子
助教	井形 幸代

1. 教育活動

1. 大学院講義

アジアにおける保健学	藤本	前期
生体情報解析学 I	藤本	前期
病原情報解析学論	藤本	後期
ヘルスサイエンス論(分担)	栢森	前期
臨床化学分析学論	栢森	前期
生体情報解析学 I (分担)	栢森	前期
生体情報解析学 II (分担)	栢森	後期
分子生物化学検査学論 (分担)	水上	後期
生体情報解析学 II (分担)	水上	前期
臨床化学分析学論 (分担)	水上	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

分子生物化学検査学論 (分担)	水上	後期
生体情報解析学 II (分担)	水上	前期
臨床化学分析学論 (分担)	水上	後期

4. 大学院修士課程修了者

太田 英理 血清エタノールアミンの酵素的測定法の開発とその臨床的意義の有用性の検討
瀬戸真奈美 尿中サルコシンの高感度測定法に関する研究

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

臨床微生物学および実習	藤本	前期
病原体学	藤本	前期
コアゼミナール	藤本	前期
臨床微生物学特論	藤本	前期
環境保健学(分担)	藤本	前期

病原体学特論	藤本	後期
医療法律学Ⅱ(分担)	藤本	後期
公衆衛生学Ⅱ(分担)	藤本	後期
コアセミナー	栢森	前期
精度管理特論	栢森	前期
医用分析装置学	栢森	前期
臨床化学Ⅰ	栢森	前期
臨床化学Ⅱ	栢森	後期
検査管理総論	栢森	前期
遺伝子検査学(分担)	水上	前期
コアゼミナール(分担)	水上	前期
医用安全管理学(分担)	田代	後期
医用工学・情報概論(分担)	田代	後期
生体情報計測学(分担)	田代	前期
生理機能検査学総論Ⅰ(分担)	田代	前期
生理機能検査学総論Ⅱ(分担)	田代	後期
医用安全管理学特論(分担)	田代	後期
医用超音波工学(分担)	田代	前期
医療情報システム(分担)	田代	後期
生体医工学(分担)	田代	前期
呼吸機能検査学(分担)	田代	前期
生理機能検査学特論(分担)	田代	後期
画像検査学(分担)	田代	前期
循環機能検査学(分担)	田代	前期
神経・筋機能検査学(分担)	田代	後期
国際感染症学	小島	前期
臨床検査総論(旧カリ)	小島	後期
人体の構造と機能Ⅰ(分担)	小島	通年
検査基礎技術Ⅰ(分担)	小島	後期
医療法律学(分担)	小島	後期
臨床検査総論(新カリ)	小島	後期
コアセミナー	小島	前期

7. 学部の実験・実習・演習

臨床微生物学および実習	藤本	前期
コアゼミナール	藤本	前期
臨床化学実習	栢森	後期
遺伝子検査学実習(分担)	栢森	後期
卒業研究(分担)	水上	通年
自然科学総合実験(分担)	水上	後期
遺伝子検査学実習(分担)	水上	後期
コアゼミナール(分担)	水上	前期
医用工学・情報概論実習(分担)	田代	前期
生理機能検査学実習(分担)	田代	後期

超音波検査実習 (分担)	田代	後期
臨床検査総論実習	小島	前期
国際感染症学実習	小島	後期
検査基礎技術 I (分担)	小島	後期
臨床検査総論	小島	後期
コアセミナー	小島	前期
臨床検査総論実習	井形	前期
公衆衛生学実習	井形	前期
臨床化学実習	井形	後期
生理機能検査学実習	井形	後期

8. 卒業論文作成者

堤 文香	福岡県における <i>Campylobacter</i> 胃腸炎散発事例の分子生物学的菌株識別について
久山 麻美	ギラン・バレー症候群と関連性が疑われる <i>Campylobacter jejuni</i> O19 型菌株の MLST による分析
中村 恵海	<i>Campylobacter</i> による集団食中毒由来菌株の Multilocus Sequence Typing 法を用いた分子生物学的分析
古庄 紗己	Multilocus Sequence Typing 法を用いた <i>Campylobacter</i> による食中毒散発事例の分子疫学的解析
堤 文香	福岡県における <i>Campylobacter</i> 胃腸炎散発事例の分子生物学的菌株識別について
桂木 愛美	生体試料中の還元物質の影響を受けにくい超微量高感度検出法の開発における基礎的検討
江口 梨絵	p47 ^{phox} のヒト好中球膜移行における p67 ^{phox} との結合の必要性
三隅 綾乃	p47 ^{phox} の PX ドメインのヒト好中球における機能
押川 千紗	p67 ^{phox} の好中球食胞膜移行における p47 ^{phox} との結合の意義
深町 圭司	in vitro における人工視覚システム刺激電極の局所 pH 測定用電極の作成
船越 駿介	ICP 発光分析装置を用いたエッチング加工電極の溶出量測定による人工視覚システムの耐久性評価
江口 奈津希	济州島近海のマサバに寄生するアニサキス種の病原性
吉田 みずほ	長崎県五島産のマサバに寄生する <i>Anisakis pegreffii</i> の寒天侵入性

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

栢森	引率	保健学科新入生合宿研修
----	----	-------------

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	感染症の遺伝子診断と分子疫学	藤本
2	病原細菌の感染機構の解明	藤本
3	バイオリスク管理教育の方法および教材の開発	藤本
4	生体試料バイオマーカーの分析法開発・改良と臨床応用	栢森
5	標準化と検査データの共有化・精度管理	栢森

6	トロポニン遺伝子の変異と家族性心筋肥大症	水上
7	食細胞 NADPH oxidase の食作用にともなう活性化機構	水上
8	人工視覚システムの開発	田代
9	超音波検査室の適切照明に関する研究	田代
10	アニサキスに関する研究	小島

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」カンピロバクター腸炎の実態解明(臨床情報・菌株情報の連結による調査研究), 藤本(代表), 1,200 千円.
- 「基盤研究(C)」カンピロバクター腸炎の実態解明(臨床情報・菌株情報の連結による調査研究), 小島(分担), 100 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「九州大学教育の質向上支援プログラム(EEP)」国際化と学祭化に対応する教育・教材の開発, 藤本(分担), 0 千円.

4. その他の外部研究資金の受入れ

- 「厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症研究推進事業)国際的なバイオリスク管理の基準に基づく病原体取扱いと管理のモデル総合システムの構築と検証に関する研究」藤本(分担), 24,015 千円(研究代表者一括計上).
- 「(株)ニデック 人工視覚システムの開発-in vivo 動物実験による生体安全性の追求 STS方式人工視覚システムの刺激電極の性能改善及び, 次世代の人工視覚システムに適用する電気刺激デバイスと生体とのインターフェースに関する基礎研究」田代, 3,675 千円.
- 「(株)ニデック 人工視覚システムの開発 -in vivo 動物実験による生体安全性の追求」田代, 3,996 千円.

5. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Takashi Miida, Kunihiko Nishimura, Tomonori Okamura, Satoshi Hirayama, Hirotohi Ohmura, Hiroshi Yoshida, Yoh Miyashita, Masumi Ai, Akira Tanaka, Hiroyuki Sumino, Masami Murakami, Ikuo Inoue, Yuzo Kayamori, Masakazu Nakamura, Tsutomu Nobori, Yukihisa Miyazawa, Tamio Teramoto, Shinji Yokoyama: A multicenter study on the precision and accuracy of homogeneous assays for LDL-cholesterol: Comparison with a beta-quantification method using fresh serum obtained from non-diseased and diseased subjects, *Atherosclerosis*, 2012 年 08 月. (査読あり)
- Toshihiko Noda, Kiyotaka Sasagawa, Takashi Tokuda, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Hiroyuki Kanda, Takashi Fujikado, Jun Ohta: Smart electrode array device with CMOS multi-chip architecture for neural interface, *Electronics Letters*, 2012 年 10 月. (査読あり)
- 小島 夫美子, 藤本 秀士, 上田かさね: アニサキス幼虫の侵入能力判定法, *Clinical Parasitology*, 23 巻, 1 号, p64-66, 2012 年 12 月. (査読あり)
- 野原正一郎, 草場 健, 工藤博司, 佐々木雅浩, 兼行雅司, 井形幸代, 平方佐季, 本田亮博, 上野高史, 今泉 : 運動負荷試験により心室頻拍を起こした 1 症例, , 2012 年 09 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Shigematsu Mika, Fujimoto Shuji, Ando Shuji: Total approach of the training for graduate and undergraduate students in medical related area in Japan., 55th Annual Biological Safety Conference, 2012 年 10 月 23 日, United States of America.
- E. Ohta, E. Hokazono, M. Ono, T. Hotta, S. Osawa, Y. Kayamori. Development of the enzymatic method of serum ethanolamine and examination of its clinical utility Asian Society of Clinical Pathology and Laboratory Medicine 12th Meeting of the Asian Society of Clinical Pathology and Laboratory Medicine (ASCPaLM KYOTO 2012). 29 November . 1 December 2012 Kyoto International Conference Center.

- Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Kouji Osawa, Motoki Ozawa, Toshihiko Noda, Jun Ohta, Takashi Fujikado: In vivo Characterization of Electrochemically-Treated Platinum Bulk Electrodes for Retinal Prostheses, The 2012 Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting (ARVO2012 Annual Meeting), 2012年05月09日, United States of America.
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Kouji Osawa, Motoki Ozawa, Toshihiko Noda, Jun Ohta, Takashi Fujikado: Porous Platinum Electrodes for Retinal Prostheses, The 2012 Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting (ARVO2012 Annual Meeting), 2012年05月09日, United States of America.
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Kouji Osawa, Motoki Ozawa, Toshihiko Noda, Jun Ohta: In vivo charge injection capacity of platinum bulk electrode with laser-formed porous surface, The 40th Neural Interfaces Conference (NIC 2012), 2012年06月18日, United States of America.
- Y. TERASAWA, H. KANDA, K. OSAWA, H. TASHIRO, H. KISHIMA, M. KAMEI, T. NODA, J. OHTA, T. FUJIKADO: The Development of Chronically Implantable Visual Prosthesis with Suprachoroidal-Transretinal Stimulation, The Eye and The Chip, The 7th Biennial Congress on Artificial Vision, 2012年09月09日, United States of America.
- Sachiyo Igata, Masaru Ishimatsu, Masayuki Itoh, Makoto Takano: An $\alpha 1$ adrenergic receptor (AR) stimulation compensates $\alpha 2$ -AR induced outward current in locus coeruleus neurons from spontaneous hypertensive rats, ADHD model animal. NEUROSCIENCE 2012, 2012年10月15日, United States of America.

c. 調査研究報告

- 藤本 秀士, 重松 美加, 小島 夫美子: 既存の実験室を用いた病原体取扱い実験室基本モデルの試作 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2013年03月.
- 藤本 秀士, 小島 夫美子: 大学院におけるバイオリスク管理教育コースの学習効果 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2013年03月.
- 藤本 秀士, 重松 美加, 小島 夫美子: 病原体等の輸送における保冷方法の検証 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2013年03月.
- 藤本 秀士, 重松美加, 小島 夫美子: 国際的なバイオリスク管理基準に基づく病原体取扱いと管理のモデル総合システムの構築と検証に関する研究 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2013年03月.

d. 国内学会での講演, 発表

- 藤本 秀士, 小島 夫美子, 重松 美加: Molecular biological analysis on Campylobacter isolates associated with food poisoning., 第35回日本分子生物学会年会, 2012年12月11日, 福岡.
- 藤本 秀士, 重松 美加: Molecular epidemiological analysis on Campylobacter isolates associated with food poisoning., 第85回日本細菌学会総会, 2013年03月27日, 千葉.
- 太田 英里, 秋本 卓, 立石 多貴子, 瀬戸 眞奈美, 外園 栄作, 大澤 進, 栢森 裕三: 血清 Etanolamine の酵素的測定法の開発, 第23回生物試料分析科学会, 2013年02月10日, 大阪市.
- 秋本 卓, 立石 多貴子, 太田 英里, 瀬戸 眞奈美, 外園 栄作, 大澤 進, 栢森 裕三: Acid Red 94 を用いた尿中 Tamm-Horsfall protein (THP) 測定法の開発, 第23回生物試料分析科学会, 2013年02月10日, 大阪市.
- 立石 多貴子, 瀬戸 眞奈美, 太田 英里, 秋本 卓, 外園 栄作, 栢森 裕三: 尿中超微量サルコシンの高感度酵素的測定法の開発とその臨床的有用性の検討, 第23回生物試料分析科学会, 2013年02月10日, 大阪市.
- 田代洋行, 寺澤靖雄, 大澤孝治, 神田寛行, 野田俊彦, 太田淳, 不二門尚: STS 方式人工視覚システムの安全性評価と開発ガイドライン, 日本生体医工学会 専門別研究会 第4

回医療機器に関するレギュラトリーサイエンス研究会，2012年09月29日，TWIns(東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設)。

- 中野由香梨，寺澤靖雄，田代洋行，大澤孝治，小澤素生：生体内での電荷注入能力評価，第50回日本人工臓器学会大会，2012年11月23日，アクロス福岡。
- 小島夫美子，上田かさね，藤本秀士：アニサキス幼虫の侵入能力判定法，第23回日本臨床寄生虫学会大会，2012年06月23日，東京女子医科大学。
- 小島夫美子，土岐学司，藤本秀士：糞便内虫卵の検出・鑑別における染色法の応用，第6回蠕虫研究会，2012年07月27日，宮崎サンクマール。
- 小島夫美子，藤本秀士：アニサキスI型幼虫の寒天侵入性の検討，第81回日本寄生虫学会，2013年03月31日，東京医科歯科大学。

e. 学会以外での講演，発表

栢森裕三，特別講演「知っておきたい脂質検査の標準化～HDL および LDL-コレステロール測定法に関する最近の話題～」平成24年度 鹿児島県医師会精度管理報告会
2013年3月9日 鹿児島県医師会館

著作

a. 単行本

- 藤本秀士：(単著)カンピロバクター感染症，2012年06月，医薬ジャーナル社。
- 藤本秀士：(共著)レビンソン微生物学・免疫学[原書11版]，2012年08月，丸善出版。
- 栢森 裕三：(共著)新臨床検査技術学 検査機器総論・検査管理総論，検査管理総論；横田浩充，大久保滋夫(編)第4章 検査部門の管理と運営，2013年02月，医学書院。
- Yuzo Kayamori, Miyuki Ono, Dongchon Kang. .Effects of Penicillin on Clinical Tests with Special Reference to Serum Albumin Measured by a Modified BCP Method. In: Penicillin: Biosynthesis, Applications and Adverse Effects. (Ed) Genevieve Barresi and Pere Komulainen, pp. 113-126, Nova Science Publishers Inc., New York. 2012.
- 水上 令子：(共著)メディカルサイエンス 遺伝子検査学，2012年12月，近代出版。
- 田代洋行：(共著)実践 医用画像解析ハンドブック，2012年11月，オーム社。

b. 総説

- 栢森 裕三：ミニレビュー 分析にかかわる資格「臨床検査技師」，ぶんせき，2012年07月。
- 栢森 裕三：教科書には載っていない臨床検査 Q&A Question 23『総コレステロールの基準測定法アベル・ケンダル法の利用法と問題点，および JSCC 基準法について教えて下さい。』，臨床検査(医学書院)，2012年11月。

c. 解説，書評など

- 栢森 裕三：ジャーナルトピックス「Reliability of low-density lipoprotein cholesterol, non-high-density lipoprotein cholesterol, and apolipoprotein B measurement Contois JH, Warnick GR, Sniderman AD: J Clin Lipidol, 5: 264-272, 2011.」，臨床化学，2012年04月。

報道

- 田代，日本経済新聞，「人工網膜で視力回復 阪大，14年度にも臨床試験」，2012年08月。
- 田代，週間ダイヤモンド，「失明した目に光を取り戻す 映像を受信する人工網膜(2013.3.16号 P61)」，2013年03月。

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 田代，人工視覚システムの開発—in vivo 動物実験による生体安全性の追求 STS方式人工視覚システムの刺激電極の性能改善及び，次世代の人工視覚システムに適用する電気刺激デバイスと生体とのインターフェースに関する基礎研究，(株)ニデック，2012年03月～2013年02月。

- 田代, 人工視覚システムの開発 -in vivo 動物実験による生体安全性の追求, (株)ニデック, 2013年03月~2014年02月.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 藤本, American Biosafety Association Preconference & Conference (United States of America), 国際会議, 2012年10月~2012年10月(2週間未満).
- 小島, American Biosafety Association Preconference & Conference (United States of America), 国際会議, 2012年10月~2012年10月(2週間未満).
- 小島, ケニア 長崎大学熱帯医学研究所ケニア拠点(Kenya), 大学・研究所訪問, 2012年08月~2012年08月(2週間未満).
- 井形, The George Washington University (United States of America), 大学・研究所訪問, 2012年10月~2012年10月.
- 井形, Johns Hopkins University School of Medicine (United States of America), 大学・研究所訪問, 2012年10月~2012年10月(2週間未満).

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 藤本, 研究用微生物安全管理委員会 委員.
- 藤本, 医療系統合教育研究センター 副センター長.

2. 部門・コース内委員

- 藤本, 教務委員会 委員.
- 藤本, 広報委員会 副委員長.
- 栢森, 大学院委員会副委員長.
- 栢森, 入学試験実施委員会委員.
- 小島, 地域国際連携推進・FD委員会委員.
- 井形, 広報委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 藤本, 第一薬科大学, 非常勤講師.
- 水上, 福岡教育大学教育学部, 非常勤講師.
- 小島, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師.
- 小島, 福岡県私設病院協会専門学校看護科, 非常勤講師.
- 井形, 久留米大学医学部附属臨床検査専門学校, 非常勤講師.

2. 学協会

- 藤本, 日本感染症学会, 評議員, 国内.
- 藤本, 日本細菌学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 日本臨床化学会の集会・広報委員会(常置委員会)委員長, 日本臨床化学会, 学術団体, 国内.
- 栢森, 日本臨床検査自動化学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 日本臨床検査医学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 生物試料分析科学会, 理事, 国内.
- 栢森, 日本臨床化学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 生物試料分析科学会, 九州支部長, 国内.
- 栢森, 学会誌「臨床病理」, 査読委員, 国内.
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内.

3. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 藤本, 「コンサルタント(株)日立ハイテクノロジーズ 研究開発本部」, 2012-08-01.
- 小島, 「大学内保育園における評議委員」, , 2012-01-01.

- 小島,「福岡県臨床検査技師会福岡市支部主催一般検査勉強会の講師として講演 テーマ:寄生虫虫卵の検出と鑑別(鏡検実習)」, 2012-01-01 .

4. 公開講座・公開講演会

- 藤本,「平成 24 年度遺伝子組換え実験従事者, 研究用微生物取扱者及び家畜伝染病病原体取扱者に対する教育訓練. /「病原性微生物取扱い法の基礎」, 九州大学. 九州大学創立五十周年記念講堂・大講堂, セミナー・研修会.
- 藤本,「平成 24 年度遺伝子組換え実験従事者, 研究用微生物取扱者及び家畜伝染病病原体取扱者に対する教育訓練. /「病原性微生物取扱い法の基礎」, 九州大学. 九州大学医学部百年講堂・大ホール, セミナー・研修会.
- 井形,「セーフティライフ」, 九州大学医学部保健学科. コラボ・ステーション, 公開講座.

検査技術科学分野

《病態情報学》

教授	梅村 創
教授	永淵 正法
教授	杉島 節夫
講師	勝田 仁
講師	大石 善丈
講師	外園 栄作
助教	栗崎 宏憲
助教	渡邊 壽美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

ヘルスサイエンス論(分担)	梅村	前期
血液機能検査学論	梅村	前期
保健学研究論(分担)	永淵	前期
免疫機能検査学論	永淵	後期
病理細胞検査学論(分担)	杉島	後期
国際社会とチーム医療(分担)	杉島	前期
代謝内分泌病態検査学論	勝田	後期

2. 大学院演習

病態情報免疫代謝検査学演習	梅村	通年
免疫機能検査学論	永淵	後期
病態情報病理細胞検査学演習(分担)	杉島	通年

3. 大学院修士課程修了者

手嶋 美穂	インターフェロン刺激による ISGs 誘導における Tyk2 遺伝子の影響 (Effect of Tyk2 gene in ISGs induction by TFN stimulation in mice)
中島 紫	マウス ES 細胞のフィーダー細胞フリー多能性維持培養法の開発 (Development of feeder free culture method to maintain mouse embryonic stem cells)
西野 彩	HSB 色空間を用いた口腔細胞診における細胞質の色調の検討 (The analysis of staining color of cytoplasm in oral cytology with HSB color space)
山口 将太	BCG 曝露による細胞変化の効果判定 (Evaluation of Cellular Change related to the Cell Cycle by BCG exposure)

4. 学部講義

医学総論 I・II	梅村	前期
血液検査学	梅村	後期
輸血検査学	梅村	前期

遺伝子工学	梅村	後期
臨床免疫学Ⅱ(分担)	永淵	後期
生体防御学(分担)	永淵	前期
臨床病理学総論(分担)	永淵	前期
臨床免疫学Ⅰ(分担)	永淵	前期
臨床病理学特論(分担)	永淵	前期
免疫細胞解析学(分担)	永淵	後期
医学総論(分担)	永淵	前期
医療法律検査学特論(分担)	杉島	後期
コアセミナー(分担)	杉島	前期
病理組織細胞学	杉島	後期
遺伝子検査学(分担)	勝田	前期
コアセミナー(臨床検査概論)(分担)	勝田	前期
医学総論Ⅰ(分担)	勝田	前期
医学総論Ⅱ(分担)	勝田	前期
検査情報管理学	勝田	後期
生化学	勝田	前期
病理学総論	大石	前期
病理学各論	大石	後期
公衆衛生学Ⅰ	外園	前期
環境保健学	外園	前期
公衆衛生学Ⅱ	外園	後期
医療法律検査学特論	外園	後期

5. 学部の実験・実習・演習

血液検査学実習	梅村	後期
遺伝子検査学実習(分担)	梅村	後期
臨床免疫学実習(分担)	永淵	後期
病理組織細胞学実習Ⅱ	杉島	前期
病理組織細胞学実習Ⅰ	杉島	後期
検査基礎技術Ⅰ(分担)	勝田	後期
生化学実習	勝田	前期
検査情報管理学演習	勝田	後期
病理組織細胞学実習Ⅰ	大石	後期
病理組織細胞学実習Ⅱ	大石	前期
病理学	大石	後期
公衆衛生学実習	外園	前期
生化学実習	栗崎	前期
臨床微生物学および実習	栗崎	前期
臨床免疫学実習	栗崎	後期
遺伝子検査学実習	栗崎	後期
国際感染症学実習	栗崎	後期
解剖学実習	渡邊	前期
病理組織細胞学実習Ⅱ	渡邊	前期

血液学実習	渡邊	後期
病理学実習	渡邊	後期
病理組織学実習 I	渡邊	後期

6. 卒業論文作成者

平川 加寿美	塗抹標本からの miRNA 解析法に関する基礎的検討
金光 瞳	血漿 miR-451 の定量的測定法に関する基礎的検討
弘津 真由子	赤血球内 exosome の miRNA 解析
白濱 早紀	血球由来 microRNA の分解機構に関する基礎的検討
立石 ユミ	DBA/2 マウスプロモーター領域遺伝子解析および前糖尿病段階マウスモデルの作成
平川 可南子	EMC-D ウイルス誘発糖尿病高度感受性候補遺伝子の DBA/2 マウスプロモーター領域の変異の探索／ヒト 2 型糖尿病患者における TYK2 遺伝子プロモーター領域の多型の意義」
松尾 咲紀	DBA/2 マウスの <i>Irf1</i> , <i>Irf3</i> 遺伝子におけるプロモーター領域の解析およびヒト胸腺における AIRE 発現の検討
矢野 莉菜	DBA/2 マウスにおける <i>RIG-I</i> , <i>MDA5</i> 遺伝子のプロモーター領域の解析および健常者 <i>TYK2</i> 遺伝子変異と血清 IgE 高値の関連性についての検討
浦塚 祐希	細胞診における原発性肺腺癌と転移性肺腺癌の鑑別
権藤 圭	胆汁細胞診における胆道系腫瘍の良悪性の鑑別
佐谷 純一	甲状腺穿刺吸引細胞診による濾胞腺腫と腺腫様甲状腺腫の鑑別
長井 綾香	乳腺の良性・悪性腫瘍における細胞学的特徴の比較検討
松尾 結唯	膵 β 前駆細胞の分化に伴う膵組織の形態変化
松元 彩香	膵 β 前駆細胞の同定
平 麻子	微小乳頭状漿液性腺癌の研究
宿利 淳	膵癌マーカーとしての TDGA 測定法の開発とその臨床的有用性の検討
田淵 こずえ	DBA/2 マウスにおける Bad, Bag 遺伝子のプロモーター解析および PDIA2 タンパク質発現誘導条件の検討
金井 志歩	子宮頸部細胞診における非定型的腺異型細胞の形態学的測定および検討

7. 研究生

Walaah Hassan

Supat Chamnanchanunt

訪問研究員（受け入れ教員：梅村 創）

2. 学生支援活動

学部 8 回生クラス担任 梅村 創

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1 microRNA による造血制御機構の解析	梅村
2 バイオマーカーとしての microRNA 研究	梅村
3 サラセミアの病態解析	梅村
4 ウイルス誘発糖尿病	永淵

5	AIRE 遺伝子の発現調節と機能	永淵
6	1 型糖尿病感受性遺伝子研究	永淵
7	膵島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立	勝田
8	卵巣癌の臨床病理学的研究	大石
9	生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発	外園
10	生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園
11	自己免疫調節遺伝子の機能解析	栗崎
12	癌細胞における細胞形態学	渡邊
13	細胞形態の客観的評価のためのソフト開発	渡邊

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「若手研究(B)」 卵巣明細胞腺癌の生物学的特性の解明, 大石(代表), 1,800 千円.
- 「研究成果公開促進費」生体試料中の酸化・還元物質の影響を受けにくい超微量高感度検出法の開発, 外園(分担), 457.7 千円.
- 「若手研究(B)」 自己免疫性膵炎・胃炎における新しい疾患マーカー自己抗体の探索同定と検査法の開発, 栗崎(代表), 1,800 千円.
- 「基盤研究(C)」 子宮頸部扁平上皮癌およびLSIL・HSIL・ASCの核クロマチン分布の定量的解析, 渡邊(分担), 4,993 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「九州大学研究教育プログラム・研究拠点形成プロジェクト特別枠」 ウイルス糖尿病の発症機構, 永淵(代表), 2,000 千円.

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「奨学寄付金」 MSD 株式会社, 永淵, 500 千円.
- 「奨学寄付金」 エーザイ株式会社, 永淵, 500 千円.
- 「奨学寄付金」 第一三共製薬株式会社, 永淵, 500 千円.

5. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Mitsuru Watanabe, Jun-ichi Kira, Seiho Nagafuchi: Myopathy in autoimmune polyendocrinopathy-candidiasis-ectodermal dystrophy, 2012 年 07 月. (査読あり)
- Hitoshi KATSUTA: Subpopulations of GFP-Marked Mouse Pancreatic beta-Cells Differ in Size, Granularity, and Insulin Secretion, *ENDOCRINOLOGY*, 2012 年 11 月. (査読あり)
- Hitoshi KATSUTA: Birth and death of human β -cells in pancreas from cadaver donors, autopsies, surgical specimens, and islets transplanted into mice. *Cell Transplant.* 2013 Jan 2. [Epub ahead of print], 2013 年 01 月. (査読あり) (公開)
- Yoshihiro Ohishi, Yoshinao Oda, etc: E-cadherin nuclear staining is useful for the diagnosis of adult granulosa cell tumor, *Human Pathology*, 2012 年 06 月.
- 大澤 進, 石橋郁佳, 木内幸子, 外園 栄作, 栢森 裕三: 糖負荷試験の検体を利用した胃粘膜検査法の開発, *日本臨床自動化学会誌*, 2013.Vol 38-No.3, 270-277, 2013 年 03 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Eri Ohta, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori: Development of the enzymatic method of serum ethanolamine and examination of its clinical utility, the Asian Society of Clinical Pathology and Laboratory Medicine, 2012 年 11 月 30 日, Japan.

c. 国内学会での講演, 発表

- Tatsuki Shibuta, Hiromichi Shiotsu, Yuka Tanaka, Shalini Vellasamy, Motoaki Shiratsuchi, Tsukuru Umemura: MiRNAs and demethylation regulating proliferation of CML cells. 第 74 回日本血液学会総会, 2012 年 10 月 19-21, 京都国際会議場

- 黒木千恵理, 田島将太郎, 田中 由香, 澁田 樹, 梅村 創. 溶血のバイオマーカーとしての血漿 miR-451 解析に関する基礎的検討. 第 59 回日本臨床検査医学会総会, 2012 年 11 月 29-12 月 2 日, 京都国際会議場
- 榎本 麻里, Svasti Saovaras, 田中 由香, 澁田 樹, 戸塚 由希, Suthat Fucharoen, 梅村 創. β -サラセミアにおける赤芽球系細胞 miRNA のアレイ解析. 第 59 回日本臨床検査医学会総会, 2012 年 11 月 29-12 月 2 日, 京都国際会議場
- Tsukuru Umemura, Yuka Tanaka, Chieri Kuroki, Chihiro Yamakawa, Tatsuki Shibuta. オーガナイズドセッション: Circulating miR-451 as a new biomarker for hemolytic anemias. 第 51 回日本生体医工学会大会, 2012 年 5 月 10 日~12 日, 福岡国際会議場
- 手嶋美穂, 甲斐裕次, 甲斐克也, 三根敬一朗, 和泉賢一, 栗崎宏憲, 勝田仁, 永淵正法: ウイルス誘発糖尿病における Tyk2 遺伝子の意義, 第 53 回日本臨床ウイルス学会, 2012 年 06 月 17 日, 豊中市.
- 松尾友仁, 永淵 正法: MicroRNA によるヒト自己免疫調節遺伝子(AIRE)の翻訳制御, 第 77 回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 2012 年 04 月 25 日, 長崎市.
- 大久保文彦, 野上美和子, 仲 正喜, 杉島節夫, 相島慎一, 伊藤鉄英, 田中雅夫, 小田義直: IPMN の細胞像の特徴 軽度・中等度異型と高度異型, および高度異型と非浸潤癌の鑑別, 第 53 回日本臨床細胞学会総会, 2012 年 06 月 02 日, 幕張メッセ(千葉県).
- 遠峰由希恵, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 杉島節夫, 小林裕明, 小田義直, 加来恒寿: 子宮内膜癌症例に出現した扁平上皮への分化を示した細胞の細胞像と病理学所見の検討, 第 53 回日本臨床細胞学会総会, 2012 年 06 月 02 日, 幕張メッセ(千葉県).
- 勝田 仁, 中島 紫: ナノコートディッシュ培養マウス由来 ES 細胞の未分化能の検討, 第 55 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2012 年 05 月 19 日, パシフィコ横浜, 横浜市.
- 勝田 仁: 短期間に血中甲状腺ホルモン値の変動を繰り返した多腺性自己免疫症候群 3 型の 1 例, 第 50 回日本糖尿病学会九州地方会, 2012 年 10 月 20 日, ホテルマリタール 創世久留米, 久留米市.
- 大澤 進, 栢森 裕三, 外園 栄作: 糖負荷試験糖負荷試験の残余試料を用いた胃粘膜検査法の開発, 日本臨床検査自動化学会, 2012 年 10 月 12 日, 横浜.
- 秋本 卓, 立石 多貴子, 太田 英里, 瀬戸 眞奈美, 外園 栄作, 大澤 進, 栢森 裕三: Acid Red94 を用いた尿中 Tamm-Horsfall protein(THP)測定法の開発, 生物試料分析科学会, 2013 年 02 月 10 日, 大阪(新梅田研修生ター).
- 立石 多貴子, 瀬戸 眞奈美, 太田 英里, 秋本 卓, 外園 栄作, 栢森 裕三: 尿中超微量サルコシンの高感度酵素的測定法の開発とその臨床的有用性の検討, 生物試料分析科学会, 2013 年 02 月 10 日, 大阪(新梅田研修生ター).
- 太田 英里, 秋本 卓, 立石 多貴子, 瀬戸 眞奈美, 外園 栄作, 大澤 進, 栢森 裕三: 血清 Ethanolamine の酵素的測定法の開発, 生物試料分析科学会, 2013 年 02 月 10 日, 大阪(新梅田研修生ター).
- 栗崎宏憲, 松尾友仁, 小田淑恵, 勝田仁, 光山正雄, 永淵正法: *Listeria monocytogenes* 感染マウスにおける免疫応答への Aire の関与, 第 86 回日本感染症学会総会, 2012 年 04 月 26 日, 長崎ブリックホール.
- 松尾友仁, 小田淑恵, 栗崎宏憲, 永淵正法: MicroRNA による Autoimmune regulator(AIRE)遺伝子の翻訳制御, 第 86 回日本感染症学会総会, 2012 年 04 月 25 日, 長崎ブリックホール.
- 松尾友仁, 野口由樹子, 栗崎宏憲, 勝田仁, 梅村創, 永淵正法: ヒト胸腺および末梢免疫細胞における自己免疫調節(AIRE)遺伝子・蛋白・microRNA の発現とその意義, 第 10 回 1 型糖尿病研究会, 2012 年 11 月 03 日, 唐津市文化体育館文化ホール.
- 三根敬一朗, 手嶋美穂, 和泉賢一, 栗崎宏憲, 勝田仁, 永淵正法: ウイルス誘発糖尿病におけるインターフェロンレセプターシグナル関連分子の意義, 第 82 回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 2012 年 11 月 07 日, アクロス福岡. (公開)

- 西野彩, 大久保文彦, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 中村誠司, 山元英崇, 小田義直, 杉島節夫: 口腔扁平上皮癌の細胞形態学的特徴の検討, 第53回日本臨床細胞学会(春期大会), 2012年06月02日, 幕張メッセ国際会議場.
- 渡邊寿美子, 加未恒壽, 田宮貞史, 杉島節夫, 大喜雅文, 坂梨史典, 山口将太, 鷺山和幸, 金城満, 岩坂剛: 膀胱注入療法に伴う核クロマチン分布の経時的变化-RD値とPMC分類の比較-, 第53回日本臨床細胞学会(春期大会), 2012年06月03日, 幕張メッセ国際会議場.

著作

a. 解説, 書評など

- 外園 栄作: 第22回生物試料分析科学学会年次学術集会レビュー, Medical Technology (医歯薬出版), 2012年07月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 梅村, アジア諸国における貧血診断ネットワーク構築を目指す研究, 株式会社堀場製作所
- 外園, エタノールアミンの酵素的測定法の確立, 旭化成ファーマ株式会社, 2006年04月～.
- 外園, 遊離コリンの酵素的測定法の確立, 旭化成ファーマ株式会社, 2006年04月～.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

杉島, 勝田, 外園「平成24年度保健学部門(検査技術科学分野)EEPによる, 台湾高雄医学大学派遣」<概要>平成24年10月14日から10月17日の日程で台湾・高雄市にあるKaohsiung Medical Universityを訪問し, 本学における教育・研究概要について説明をおこない, 双方の現状を踏まえ今後の保健学部門としての部局間交流協定に向け検査技術科学分野の立場として協議を行った. また, Kaohsiung Medical University (KUM) の教育・研究施設の見学に加え, Kaohsiung Medical University Chung-Ho Memorial Hospitalの施設見学も合わせて行った.

梅村, 勝田「国際化拠点整備事業(グローバル30)プログラムによる留学生リクルートを目的としたタイ王国派遣」<概要>平成25年3月6日から3月9日の日程で, 国際化拠点整備事業(グローバル30)プログラムによる留学生をリクルートするため, 九州大学が受入重点国に指定しているタイ王国を訪問し, マヒドン大学にて九州大学大学院医学系学府保健学専攻のにおけるグローバル30プログラムの紹介のためセミナーを開催した. また, 日本学術振興会(JSPS)バンコク研究連絡センターを訪問し, グローバル30プログラムによる留学生に対する助成, マヒドン大学サラセミア研究センターおよび同熱帯医学部との今後の研究交流の推進について情報交換を行った. また, 梅村は, "microRNA as a biomarker for Erythropoiesis", 勝田は, "Conquering Diabetes: Regenerative Medicine for Diabetes"と題して講演を行った.

2. 留学生の受け入れ

Walaa Hassan 研究生 留学生
Supat Chamnanchanunt 訪問研究員 (受け入れ教員: 梅村 創)

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 外園, 環境安全センター, 委員.

2. 部局委員

梅村, 医学研究院任期制委員

3. 部門・コース内委員

- 梅村, 施設・環境委員委員会, 委員長
- 勝田, 学生委員会, 委員.
- 外園, 将来計画・点検・評価委員会, 委員.
- 栗崎, 広報委員会, 委員.
- 渡邊, 広報委員会, 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 栗崎, 純真学園大学保健医療学部看護学科, 非常勤講師.
- 渡邊, 福岡県立大学 看護学部, 非常勤講師.
- 渡邊, 純真学園大学 保健医療学部看護学科, 非常勤講師.

2. 学協会

- 梅村, 日本血液学会, 代議員, 国内
- 永淵, 日本臨床ウイルス学会, 幹事(常任幹事), 国内.
- 永淵, 日本感染症学会西日本地方会, 理事(監事), 国内.
- 永淵, 第10回1型糖尿病研究会, 会長, 国内.
- 杉島, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員, 国内.
- 外園, 健康食品管理士会九州支部, 幹事, 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 評議員, 国内.
- 外園, 日本臨床検査自動化学会, 運営委員, 国内.

3. 公開講座・公開講演会

- 勝田, 「福岡市医師会急患センター救急部会勉強会／糖尿病治療のエッセンスとトピックス」, 福岡市医師会急患センター救急部会. 九州大学総合研究棟, セミナー・研修会.
- 勝田, 「九州大学医学部保健学科市民公開講座／糖尿病にならないために, 上手に付き合っていくために」, 九州大学医学部保健学科. 九州大学, 公開講座.

4. 教員組織および委員会一覧

❖ 教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門

平成24年度

分野・領域	教授	准教授	講師	助教(准助教)	その他
看護学					
臨床健康支援看護学	大池美也子 樗木 晶子 川本利恵子 中尾 久子	長家 智子 平成25年3月31日退職 原田 博子 橋口 暢子 平成24年4月 1日採用	丸山マサ美 宮園 真美	道面千恵子 金岡 麻希 木下由美子 富岡 明子 孫田 千恵 潮 みゆき 中島 充代 梶原 弘平 平成24年4月 1日採用	※有期教員 H23.5.1-26.4.30 (富岡助教の休業支援教員) ※有期教員 H23.5.1-26.4.30 (金岡助教の休業支援教員)
広域生涯発達看護学	加来 恒壽 鳩野 洋子 小野 ミツ 谷口 初美 平成25年3月 1日採用	新小田春美 濱田 裕子 木下 義晶	野口ゆかり 藤野 成美 平成25年3月31日 任期满了退職 寺岡 佐和 前野有佳里	藤田 紋佳 末次 美子 仲道 由紀 木原 深雪 木村 一絵 重松由佳子	
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜 雅文 豊福不可依	高橋 昭彦 有村 秀孝 納富 昭弘		小段 謙一 平成25年3月31日定年退職	
医用放射線科学	平田 秀紀 小坂 克子 平成25年3月31日退職 佐々木雅之 杜下 淳次	藪内 英剛	熊澤 誠志	赤坂 勉	
検査技術科学					
生体情報学	藤本 秀士 栢森 裕三 平成24年4月 1日採用 (配置換)	水上 令子	田代 洋行 小島夫美子	井形 幸代 平成24年4月 1日採用	
病態情報学	梅村 創 永淵 正法 杉島 節夫		勝田 仁 大石 善丈 平成24年4月 1日採用 (昇任) 外園 栄作 平成24年4月 1日昇任	栗崎 宏憲 渡邊壽美子	
国際教育センター (兼 医学系学府担当・医学 部勤務)			CONNOR SUZANNE MARIE		

【専門内洲知会】

No.	委員会名	1	2	3	17	7	16
委員長	総務委員会	部門長	部門長	研究推進委員会	年報委員会	地域・国際連携推進委員会	FD実行委員会
副委員長	委員長指名 佐々木	委員長指名 川本	委員長指名 川本	委員長指名 川本	委員長指名 川本	前年度副委員長 永淵	7.に同じ 永淵
分野から選出する委員	看護学	教授 (23.4~25.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 (23.4~25.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 准教授 講師 助教 (2)
	医用量子線科学	教授 (24.4~26.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 (24.4~26.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 (24.4~26.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 (24.4~26.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 (24.4~26.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 准教授 講師 助教 (2)
	検査技術科学	教授 (23.4~25.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 (23.4~25.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 (23.4~25.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 (23.4~25.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 (23.4~25.3) 教授 准教授 講師 助教 (2)	教授 准教授 講師 助教 (2)
聯指定の委員	部門長(平田(秀)) 副部門長(川本、佐々木、杉島) (各分野長)	部門長 副部門長 (各分野長) (部内) 研究推進委員会委員長 (部内) 学生委員会委員長 (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長	副部門長 (各分野長) (部内) 財務委員会委員長 (部内) 学生委員会委員長 (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長) (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長	副部門長 (各分野長) (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長	副部門長 (各分野長) (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長

※「2. 将来計画、点検・評価委員会」「3. 研究推進委員会」は同一の委員とする。

※「17. 年報委員会」の委員は、「2. 将来計画、点検・評価委員会」の委員の内から構成する。

※「7. 地域・国際連携推進委員会」と「16. FD委員会」の教授委員は同一の委員とする。

※「7. 地域・国際連携推進委員会」の副委員長が「16. FD委員会」の委員長となる。

※(部内)教務委員会、大学院委員会副委員長が交互に委員長、副委員長に就任。

No.	4		5		6		8		9		10		
委員会名	人事委員会		教員業績評価委員会		再任審査委員会		財務委員会		施設・環境委員会		学生委員会		
委員長	部門長		部門長		部門長		部門長		部門長指名		前年度副委員長		
副委員長	委員長指名	杉島	委員長指名	杉島	委員長指名	杉島	施設・環境委員長	委員長指名	大喜	総務委員会で検討、部門会議で選出	小坂		
看護学	教授	(24.4~26.3)	小野	教授	4. に同じ	教授	4. に同じ	教授	(23.4~25.3)	中尾(久)	教授	(24.4~26.3)	
	准教授		准教授			(24.4~26.3)		原田	准教授	(23.4~25.3)	金岡	准教授	(23.4~25.3)
	講師			講師			講師			講師		講師	
医用量子線科学	教授	(23.4~25.3)	杜下	教授	4. に同じ	教授	4. に同じ	教授	(24.4~26.3)	大喜	教授	(24.4~26.3)	
	准教授					准教授			有村	准教授		有村	准教授
検査技術科学	教授	(24.4~26.3)	永淵	教授	4. に同じ	教授	4. に同じ	教授	(23.4~25.3)	梅村	教授	(23.4~25.3)	
	准教授					准教授			田代	准教授		田代	准教授
講師				講師			講師			講師		講師	
助教				助教			助教			助教		助教	
職指定の委員	部門長	副部門長	部門長	副部門長	部門長	副部門長	部門長	副部門長	部門長	副部門長	部門長	副部門長	
	(各分野長)	(各分野長)	(各分野長)	(各分野長)	(各分野長)	(各分野長)	部門長	副部門長	(各分野長)	(各分野長)	(各分野長)	(各分野長)	
							(部内)研究推進委員会委員長	(部内)地域・国際連携推進委員会委員長	(部内)施設・環境委員会委員長	(部内)学生委員会委員長	(部内)教務委員会委員長	(部内)大学院委員会委員長	
							(部内)広報委員会委員長	(部内)環境保全委員会委員長	(部内)学生関係委員	(部内)学生関係委員	(部内)学生関係委員	(部内)学生関係委員	

※「4. 人事委員会」「5. 教員業績評価委員会」「6. 再任審査委員会」の教授委員は同一の委員とする。

No.	委員会名	11	12	13	14	15
委員長	教務委員会	大学院委員会	入学試験実施委員会	広報委員会	放射線安全委員会	
副委員長	前年度副委員長 中尾(久)	前年度副委員長 鳩野	前年度副委員長 小坂	前年度副委員長 小野	医学研究院長 片野	
委員	総務委員会で検討、部門会議で選出	総務委員会で検討、部門会議で選出	委員長指名 杉島	委員会で選出 藤本	放射線取扱主任者 豊福	
分野から選出する委員	教授 (24.4~26.3) 中尾(久)	教授 (23.4~25.3) 鳩野	教授 (23.4~25.3) 大池	教授 (23.4~25.3) 小野		
	准教授 (23.4~25.3) 藤野	教授 (3) 加来	教授 (24.4~26.3) 小坂	准教授 (23.4~25.3) 新小田		
	講師 (24.4~26.3) 豊福	教授 (2) 梅村	教授 (24.4~26.3) 栢森	講師 (25.3) 宮園		
	教授 (23.4~25.3) 豊福	教授 (2) 杜下	教授 (24.4~26.3) 栢森	助教 (2) 赤坂	教授 (23.4~25.3) 納富 熊澤	
	准教授 (23.4~25.3) 藪内	教授 (2) 梅村	教授 (24.4~26.3) 栢森	助教 (2) 赤坂	准教授 (24.4~26.3) 佐々木 杜下	
	講師 (23.4~25.3) 藪内	教授 (2) 梅村	教授 (24.4~26.3) 栢森	助教 (2) 赤坂		
	教授 (23.4~25.3) 藤本	教授 (2) 梅村	教授 (24.4~26.3) 栢森	助教 (2) 赤坂		
	准教授 (24.4~26.3) 水上	教授 (2) 栢森	教授 (24.4~26.3) 栢森	助教 (2) 赤坂		
職指定の委員	(全学)教務関係委員		部門長 副部門長 (各分野長)	※委員に看護学分野助教2名追加。(木下、重松) ※検査技術科学分野助教1名追加。(今年度は2名選出)(栗崎、井形) ※次年度は医用量子線分野から選出する。(医用量子線・検査技術科学の2分野で交互に選出。)	部門長 放射線取扱主任者(豊福) 放射線取扱副主任者(赤坂) 事務部長	

※(部内)教務委員会委員長・副委員長が附属図書館医学図書館運営委員を兼ねる。

※(全学)教務委員会委員は、(部内)大学院委員会委員長と(部内)教務委員会委員長が就任する。

【病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	アイトープ総合センター病院地区学生実習室運営委員会		佐々木	2年	H24.4.1	H26.3.31	教授1名	
2	アイトープ総合センター病院地区実験室及び病院地区学生実習室放射線安全委員会		豊福	2年	H22.4.1	H24.3.31	教授1名	
3	アイトープ病院地区実験及び病院地区学生実習室放射線取扱副主任者		佐々木	2年	H22.4.1	H24.3.31		
4	附属図書館医学図書館運営委員会	(教務委員会委員から選出)	中尾(久)	2年	H23.4.1	H25.3.31	教授2名	〔部門内〕図書委員会は教務委員会と統合→教務委員会委員長・副委員長が兼ね
		(教務委員会委員から選出)	豊福		H24.4.1	H26.3.31		
5	医療系統合教育研究センター委員会		藤本《副センター長》	2年	H23.4.1	H25.3.31	医・歯・薬・保の輪番で教授1名(副センター長から1名)	・副センター長 ・〔部門内〕教務委員長 →実質的な任期は1年 ※センター長は各部署選出の副センター長4名から1名が輪番で選出(原則、副センター長経験者から) ★H21-H22年度は(保)からセンター長を選出
		部門内教務委員長(実質的な任期は1年)	中尾(久)		H24.4.1	H25.3.31	保健学部門教授から1名	
			中尾(久)		H24.4.1	H26.3.31	保健学部門の教員から1名	
5-2	医療系統合教育研究センター兼任教員		中尾(久)		H24.4.1	H26.3.31		
6	病院地区協議会	(職指定:部門長)	部門長				部門長	医学・歯学・薬学研究院長、生体防御医学研究所長、病院長、保健学部門長、医系学部等事務部長、病院事務部長、医療系統合教育研究センター長及び(オブザーバーとして)副病院長(歯科部門)
		(職指定:医療系統合教育研究センター長)	(薬)					
7	病院地区学生感染対策委員会	(職指定:学生委員会副委員長)	小坂	2年	H24.4.1	H25.3.31	保健学部門の学府の学生の教育または感染対策に責任を持つ組織に所属する教員のうちから選出された者1名	学生委員会副委員長が兼ねる →実質的な任期は1年

番号	委員会名	役職指定等	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
8	病院地区教育情報委員会	(職指定:保健学部門副部門長(教育担当))	?		H24.4.1	H25.3.31	・保健学部門の副部門長のうち主として教育を担当する者1名 ・学部教育を担当する委員会の委員長 ・学府教育を担当する委員会の委員長 →実質的な任期は1年	
		(職指定:部内教務委員会委員長)	中尾(久)					
		(職指定:部内大学院委員会委員長)	鳩野					
9	九州大学医の倫理に関する協議会	(職指定:部門長)	部門長				保健学部門長	部局長・保健学部門長・各倫理審査委員会委員長・人文・社会科学の有識者・その他協議会が必要と認められた者
10	総合研究棟管理運営委員会		大喜	2年	H22.8.1	H24.7.31		教授1名
			加来(平田(伸)先生の残任期間)		H22.8.1(H24.4.1)	H24.7.31		部局管理運用部分の許可を受けている者
11	職員等用駐車区域運営委員会幹事会		杉島、外園				教授1名、准教授以下1名	
12	病院地区特許・技術移転相談室協力教員		永淵					
13	病院サイクロトン生産放射性同位元素の医学的利用に関する委員会		佐々木	2年	H24.4.1	H26.3.31	病院地区所属物理学専攻の教員	保健学部門から2名選出していたが、H22年度は1名のみ選出
14	病院放射性医薬品委員会		佐々木					
15	病院地区教育情報委員会		〇〇 中尾(久) 鳩野 有村				教育を担当する副部門長 学府教育を担当する委員会の委員長 学部教育を担当する委員会の委員長 全学情報環境利用委員会委員	
16	病院先進医療適応評価委員会		金岡	2年	H23.4.1	H25.3.31	保健学部門助教以上、女性教員	
17	アジア遠隔医療開発センター運営委員会		長家	2年	H24.4.1	H26.3.31	病院地区(医学系、歯学系、薬学系、保健学系を含む)の教員の内から選ばれた者	

番号	委員会名	役職指定等	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
18	医系地区部局臨床研究倫理審査委員会		原田	2年	H24.4.1	H26.3.31	保健学部門講師以上2名(1名は教授とする)	委員会の構成上、今回選出する委員は、女性委員が望ましい
			小坂		H23.4.1	H25.3.31		
19	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会		中尾(久)	2年	H24.4.1	H26.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	委員会の構成上、今回選出する委員は、女性委員が望ましい
20	病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会		榑木	2年	H23.4.1	H25.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	
21	医学研究院再任審査委員会		梅村	1年	H24.4.1	H25.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	年1～2回;10分/回程度
22	医学研究院情報公開委員会	(職指定:教育研究評議員)	部門長					年5回程度
			〈必要に応じて選出〉					
23	医学研究院教員業績評価専門部会	部門長、各分野長	部門長、分野長					申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている
24	基礎研究B棟管理運営委員会委員	(職指定:部門長、当該年度及び前年度の施設・環境委員長)	部門長 中尾(久) 梅村				※部門長 当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる →実質的な任期は2年	基礎B棟の改修及び改修後の利用計画等について

【全学委員会】

番号	委員会名	委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	教育研究評議会評議員	学科長	2年	H24.4.1	H26.3.31	九州大学教育研究評議会規則第2条第1項第5号(各学部の教授1名)	医学部の教育研究評議員は、H18年度以降保健学科長が兼ねている。
2	総長特別補佐	樗木	2年	(H24.4.1	H25.3.31)	総長指名	H24年度は、任期1年。
3	学生委員会	加来	(2年)	H24.4.1	H25.3.31		〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
		小坂		H24.4.1	H25.3.31		
4	学生生活・修学相談室相談員	加来	(2年)	H24.4.1	H25.3.31		〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
		小坂		H24.4.1	H25.3.31		
5	入学試験審議会	学科長					保健学科長がオブザーバーとして参加
6	入学試験実施委員会	小坂	(2年)	H24.4.1	H25.3.31		〔部門内〕入学試験実施委員会委員長 →実質的な任期は1年
7	入学者選抜研究委員会	高橋	2年	H22.5.1	H24.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認めた者若干人)	統計のできる准教授クラス
8	教務委員会	中尾(久)	(2年)	H24.4.1	H25.3.31	第6条(9)委員長が必要と認めた教授	〔部門内〕教務委員会委員長、大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年
		鳩野		H24.4.1	H25.3.31		
9	全学教育運営会議	中尾(久)	(2年)	H24.4.1	H25.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
10	全学教育に関する情報処理改訂ワーキンググループ	大喜					H20.6.5全学教育運営会議承認に基づき設置
11	全学教育専門委員会	中尾(久)	(2年)	H24.4.1	H25.3.31	第3条(7)委員長が必要と認めた教授又は准教授	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年 ※開催頻度:低
12	全学教育企画委員会(基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目]	大喜					
13	全学FD委員会	中尾(久)	(2年)	H24.4.1	H25.3.31	第9条(9)委員長が必要と認めた教授	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
14	情報通信基盤連絡会議	大喜				教員1名	元岡キャンパス等におけるネットワーク(KITE)整備のための連絡会議が名称変更
15	伊都キャンパスネットワーク	大喜					
16	総合情報伝達システム委員会	豊福					
17	情報化推進企画小委員会	豊福					

番号	委員会名	委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
18	環境保全管理委員会	外園	2年	H24.4.1	H26.3.31	環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠 (化学物質や健康問題に詳しい教員)	環境安全センター委員会委員 ★〔部門内〕施設・環境委員会構成員となる
19	環境安全センター委員会	外園	2年	H24.4.1	H26.3.31	環境安全センター委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境保全管理委員会委員が兼ねる(H18年度から) 旧:特殊廃液処理施設運営委員会(H22年度改組)
20	放射線障害防止委員会	豊福					放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
21	21世紀プログラム専門委員会	大池	2年	H24.4.1	H26.3.31	各学部から選ばれた教授1名 ※医学として	旧21世紀プログラム実施委員会 看・医・検分野の輪番
22	全学情報環境利用委員会	有村	2年	H24.4.1	H26.3.31	各研究院の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人 ※医学として	(旧:情報基盤センター学内共同利用運営委員会)
23	研究用微生物安全管理委員会	小島	2年	H23.4.1	H25.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名	※医学とは別枠
24	動物実験委員会	永淵	2年	H24.4.1	H26.3.31	その他委員会が必要と認めた者(第3条第1項第7号)	※医学とは別枠
25	ハラスメント等対策委員会	(医・薬)医:萩原教授	2年	H24.4.1	H26.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性)	医・歯・薬・病・生の輪番
26	ハラスメント等相談員	(薬・生)	2年	H24.4.1	H26.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として	医・歯・薬・病・生の輪番
27	人員管理委員会委員	樗木	2年	H24.4.1	H24.9.30	総長指名	
28	男女共同参画室室長	樗木				総長指名	
29	全学教育広報誌「radix」編集委員会	現在選出なし				病院地区学部(医・歯・薬)の教員1名	医・歯・薬の輪番 H19年度:小坂教授
30	キャンパス計画専門委員	(薬)	2年	H22.11.9	H24.11.8	医歯薬生病のうちから選ばれた1名	医・歯・薬・生・保の輪番
31	キャンパス計画及び施設管理委員会	(薬)	2年	H22.11.9	H24.11.8	医歯薬生の教授から1名	キャンパス計画専門委員が兼ねる
32	G30実施調整会議	豊福	2年	H23.9.1	H25.8.31	各部局から選出された教授または准教授	※医学とは別枠
33	国際化100人委員会	平野 杜下 梅村				医学から9名 (内、保健から3名選出)	各分野から1名選出
34	加速器・ビーム応用科学センター複担教員	豊福		H24.2.1	H26.1.1		

平成24年度
年 報

作成日 : 平成25年9月

発行者 : 保健学部門 平成25年度 年報委員会
佐々木雅之・梅村創・中尾久子・小野ミツ
前野有佳里・高橋昭彦・外園栄作・平田秀紀

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL: 092-642-6683